

AnyWireASLINKネットワークモニタ機能

サンプル画面説明書

三菱電機株式会社

サンプルのご利用について

サンプル用の画面データ、取扱説明書などのファイルは、以下の各項に同意の上でご利用いただくものとします。

- (1) 当社製品をご使用中またはご使用検討中のお客様がご利用の対象となります。
- (2) 当社が提供するファイルの知的財産権は、当社に帰属するものとします。
- (3) 当社が提供するファイルは、改竄、転載、譲渡、販売を禁止します。
但し、内容の一部または全てをお客様作成の機器やシステム内の当社製品上でご利用いただく場合はその限りではありません。また、当社製品をご利用いただいたお客様作成の仕様書、設計書、組み込み製品の取扱説明書などへの転載、複製、引用、レイアウトの変更についてもその限りではありません。
- (4) 当社が提供するファイルやそのファイルから抽出されるデータを利用することによって生じた如何なる損害も当社は補償をいたしません。お客様の責任においてご利用ください。
- (5) 当社が提供するファイルに利用条件などが添付されている場合は、その条件にも従ってください。
- (6) 予告なしに当社が提供するファイルの削除や内容の変更を行うことがあります。
- (7) 当社が提供するファイルのご使用に際しては、対応するマニュアルおよびマニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って正しい取扱いをしてください。

目次

目次	3
改訂履歴	5
1. 概要	6
2. システム構成	6
3. GOT について	7
3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション	7
3.2 作画ソフトウェアの接続機器設定	7
3.3 作画ソフトウェアの Ethernet 設定	7
4. AnyWireASLINK マスタユニットについて	8
4.1 ユニットの先頭入出力番号	8
5. 画面仕様	8
5.1 表示言語	8
5.2 画面遷移	8
5.3 画面説明	13
5.3.1 AnyWireASLINK メニュー(B-30001)	13
5.3.2 AnyWireASLINK システムマップ(B-30002)	15
5.3.3 入力信号モニタ(B-30003)	17
5.3.4 出力信号モニタ(B-30004)	19
5.3.5 センサー一覧(B-30005)	21
5.3.6 詳細情報(ケーブル接続タイプ(I/O 非絶縁))(B-30006)	23
5.3.7 詳細情報(ケーブル接続タイプ(I/O 絶縁))(B-30007)	25
5.3.8 詳細情報(I/O 防水コネクタ接続タイプ)(B-30008)	27
5.3.9 詳細情報(伝送・I/O 防水コネクタ接続タイプ)(B-30009)	29
5.3.10 詳細情報(光電アンプユニット(CAM,CAS))(B-30010)	31
5.3.11 詳細情報(近接アンプユニット)(B-30011)	33
5.3.12 詳細情報(ファイバーアンプユニット(CAM,CAS))(B-30012)	35
5.3.13 詳細情報(シリンダスイッチ)(B-30013)	37
5.3.14 詳細情報(光電センサ)(B-30014)	39
5.3.15 詳細情報(光電センサ(透過型受光))(B-30015)	41
5.3.16 詳細情報(光電センサ(透過型投光))(B-30016)	43
5.3.17 詳細情報(近接スイッチ)(B-30017)	45
5.3.18 詳細情報(圧力センサ)(B-30018)	47
5.3.19 詳細情報(アズリンクターミナル(ドライバ部))(B-30019)	49
5.3.20 iQSS メニュー(B-30100)	51
5.3.21 iQSS バックアップ(B-30101)	52
5.3.22 iQSS バックアップ設定(B-30102)	54
5.3.23 iQSS バックアップ進捗(B-30103)	56
5.3.24 iQSS リストア(B-30104)	58
5.3.25 iQSS リストア設定(B-30105)	60
5.3.26 iQSS リストア進捗(B-30106)	61
5.3.27 アラームリセット(W-30001)	62

5.3.28	言語設定(W-30002)	63
5.3.29	時計設定(W-30003)	64
5.3.30	パラメータアクセスエラー(W-30004)	65
5.3.31	データ削除確認ダイアログ(W-30100)	66
5.3.32	通知ダイアログ(W-30101)	67
5.3.33	実行確認ダイアログ(W-30102)	68
5.4	スレーブユニット詳細情報画面对応表	69
5.5	使用デバイス一覧	70
5.6	コメント一覧	76
5.7	デバイスデータ転送一覧	82
5.8	レシピ一覧	87
5.9	スクリプト一覧	89
6.	テンプレート	164
7.	その他	165
7.1	ユーザ定義名称の登録について	165
7.2	システム構成の変更について	165
7.3	CPU の変更について	166
7.4	先頭入出力番号の変更	167
7.5	iQSS バックアップフォルダ構成	172

改訂履歴

サンプル画面説明書

改訂日付	管理番号*	改訂内容
2013/9	BCN-P5999-0099	初版

* 管理番号は、右下に記載しています。

プロジェクトデータ

改訂日付	プロジェクトデータ	GT Designer3*	改訂内容
2013/9	AnyWireASLINK_V_Ver1_J.GTX	1.100E	初版

* プロジェクトデータ作成時に使用した作画ソフトウェアのバージョンです。記載したバージョンと同等、またはそれ以降のバージョンの作画ソフトウェアを使用してください。

1. 概要

GOT2000とMELSEC-QシリーズまたはMELSEC-LシリーズのCPUユニットをEthernetで接続し、AnyWireASLINKマスタユニット(LJ51AW12AL)に接続された、スレーブユニットのステータスやパラメータのモニタ・変更とバックアップ/リストア(MELSEC-Lシリーズのみ対応)を行うサンプル画面の説明書です。

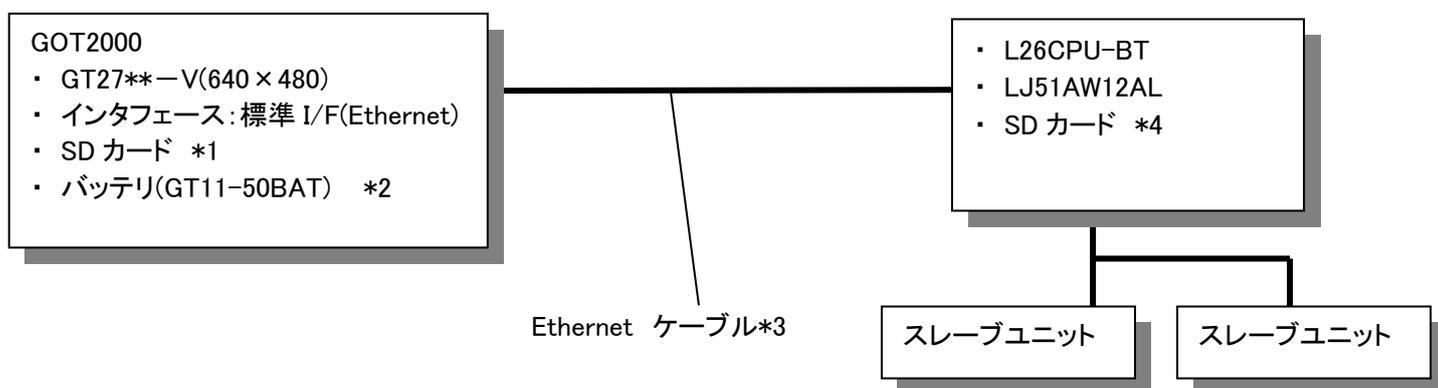
MELSEC-Lシリーズと接続するためのサンプル画面として作成しています。MELSEC-Qシリーズと接続する際にはデータを一部修正する必要があります。修正点については「7.3 CPUの変更について」を参照してください。なお、MELSEC-Qシリーズは、スレーブユニットのパラメータのバックアップ/リストアには非対応です。

<注意事項>

スレーブユニットのパラメータのバックアップ/リストアは、iQSS バックアップ/リストア(シーケンサ⇄センサ)機能で実行します。iQSS バックアップ/リストア(シーケンサ⇄センサ)機能は、シーケンサ側の iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア機能を GOT から実行する機能です。GOT 固有のバックアップ/リストア機能とは、仕様が異なります。

iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア機能は、iQ Sensor Solution 対応センサのパラメータを、シーケンサCPUに装着したSDカードにバックアップ、またはSDカードからリストアする機能です。

2. システム構成



*1:SDカードは、レシピ機能で使用しています。

*2:バッテリーは、時計データの停電保持に使用しています。(バッテリーはGOT本体に標準装備しています。)

*3:ケーブルの詳細については、「GOT2000シリーズ接続マニュアル(三菱電機機器接続編)」を参照してください。

*4:SDカードは、iQSS バックアップ/リストア(シーケンサ⇄センサ)機能で使用しています。

3. GOT について

3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション

種類	システムアプリケーションの名称		
基本機能	基本システムアプリケーション		
	標準フォント	日本語	
通信ドライバ	Ethernet 接続	Ethernet(MELSEC),Q17nNC,CRnD-700,ゲートウェイ	
拡張機能	標準フォント		
	アウトラインフォント	ゴシック	中国語(簡体)
			英数かな
			日本語漢字
		中国(簡体)漢字	
デバイスデータ転送			

3.2 作画ソフトウェアの接続機器設定

詳細設定

項目	設定値	備考
GOT NET No.	1	
GOT 局番	2	
GOT Ethernet 設定	下表を参照	
GOT 機器通信用ポート No.	5001	
リトライ回数(回)	3	
立ち上り時間(秒)	3	
通信タイムアウト時間(秒)	3	
送信ディレイ時間(ms)	0	

GOT Ethernet 設定

項目	設定値	備考
GOT Ethernet 設定を本体に反映する	チェック有り	
GOT IP アドレス	192.168.3.18	
サブネットマスク	255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	
周辺 S/W 通信用ポート No.	5015	
トランスペアレント用ポート No.	5014	

3.3 作画ソフトウェアの Ethernet 設定

	自局	Net No.	局番	機器	IP アドレス	ポート No.	通信方式
1	*	1	1	LCPU	192.168.3.39	5006	UDP

4. AnyWireASLINK マスタユニットについて

4.1 ユニットの先頭入出力番号

ユニットの先頭入出力番号は 30H で設定しています。先頭入出力番号を変更する場合は「7.4 先頭入出力番号の変更」を参照してください。

5. 画面仕様

5.1 表示言語

画面上に表示する文字列は、日本語・英語・中国語(簡体)の3言語で切り換え表示できます。各言語の文字列は、コメントグループ No.250～255 の列 No.1～3 に下記のように登録しています。言語切り換えデバイスに列 No.を格納すると列 No.に対応した言語を表示します。

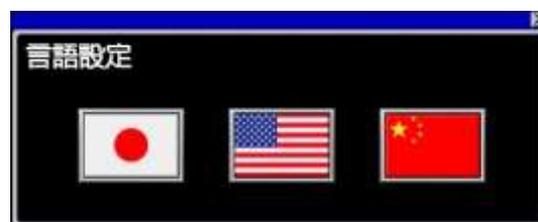
列 No.	言語
1	日本語
2	英語
3	中国語(簡体)

5.2 画面遷移

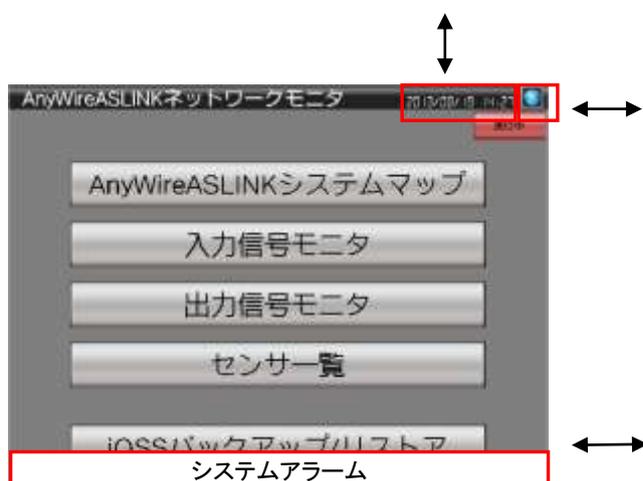
5.2.1 画面遷移(共通)



ウィンドウ画面 W-30003:時計設定



ウィンドウ画面 W-30002:言語設定



ベース画面 B-30001:メニュー他全ベース画面



ウィンドウ画面 W-30001:アラームリセット

5.2.2 画面遷移(個別)



ベース画面 B-30001: AnyWireASLINK メニュー



ベース画面 B-30002: AnyWireASLINK システムマップ



ベース画面 B-30003: 入力信号モニタ

次頁へ



前頁より



ベース画面 B-30004:出力信号モニタ



ベース画面 B-30005:センサー一覧



ベース画面 B-30006~30019:詳細情報
(スレーブユニットのタイプにより、画面が異なる)



ウィンドウ画面 W-30004:パラメータアクセスエラー

次頁へ

前頁より



ベース画面 B-30100:iQSS メニュー



ベース画面 B-30102:iQSS バックアップ設定



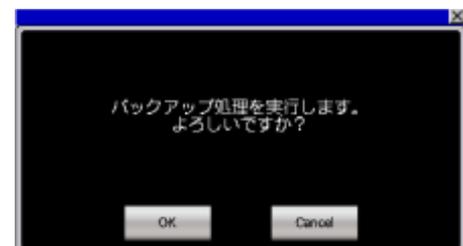
ベース画面 B-30101:iQSS バックアップ



ウィンドウ画面 W-30101:通知ダイアログ (B-30101~30106 共通)



ベース画面 B-30103:iQSS バックアップ進捗



ウィンドウ画面 W-30102:実行確認ダイアログ (B-30101、B-30103、B-30104、B-30106 共通)

次頁へ

前頁より

No.	日時	設定名称	対象機種	フォルダ番号	MD	削除済/未済
1	2013/08/19 10:06	ASLINK4	A	23	03	01-01-00
2	2013/08/19 10:06	ASLINK3	A	22	03	01-01-00
3	2013/08/19 10:06	ASLINK2	A	21	03	01-01-00
4	2013/08/19 10:07	ASLINK1	A	20	03	01-03-00
5	2000/00/00 00:00			00	00	00-00-00
6	2000/00/00 02:00			00	00	00-00-00
7	2000/00/00 00:00			00	00	00-00-00
8	2000/00/00 00:00			00	00	00-00-00
9	2000/00/00 00:00			00	00	00-00-00
10	2000/00/00 00:00			00	00	00-00-00

ベース画面 B-30104:iQSS リストA



ウィンドウ画面 W-30100:データ削除確認ダイアログ(B-30101、B-30104 共通)

リストA対象	
指定名称	ASLINK3
実行単位	10設定
対象機種	14
MD	入力/空白 12

リストA処理	
開始日時	2012/12/12 12:12
進捗	<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: green;"></div>
対象機種総数	1
リストA成功	1
リストA失敗	0

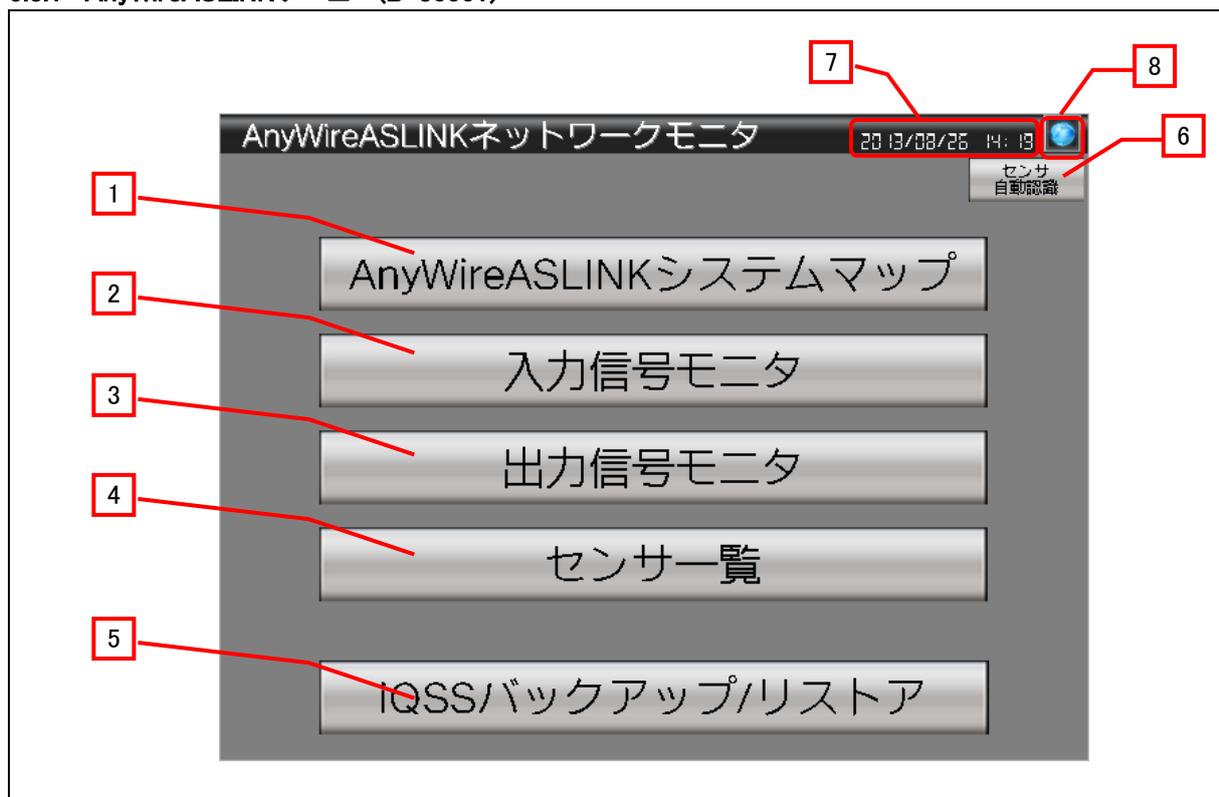
ベース画面 B-30106:iQSS リストア進捗

リストA設定			
No.	7		
設定名称	ASLINK3		
対象機種	AnyWireASLINK		
実行単位	周数	10設定	14
	ユニットタイプ	入力/空白	
フォルダ番号	22		
MD	3		
エラー発生時設定	続行	停止	

ベース画面 B-30105:iQSS リストア設定

5.3 画面説明

5.3.1 AnyWireASLINK メニュー(B-30001)



概要

AnyWireASLINK ネットワークモニタ機能のメニュー画面です。

詳細

1. AnyWireASLINK システムマップ画面に切り換えます。
2. 入力信号モニタ画面に切り換えます。
3. 出力信号モニタ画面に切り換えます。
4. センサー一覧画面に切り換えます。
5. iQSS バックアップ/リストア(シーケンサ⇄センサ)機能のメニュー画面(iQSS メニュー画面)に切り換えます。
6. マスタユニットで認識されている全スレーブユニットのパラメータを読み込みます。1 秒間タッチしてください。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・スレーブユニットのパラメータ読み込みには、デバイスデータ転送機能を使用しています。デバイスデータ転送機能については、「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。
- ・パラメータの読み込み中は画面の切り換えができません。
- ・GOT 起動時に、プロジェクトスクリプトを使用して、iQSS バックアップの対象機器設定・I/O No.を設定します。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。
- ・画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。

- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.2 AnyWireASLINK システムマップ(B-30002)



概要

AnyWireASLINK システムマップ画面です。スレーブユニットの接続状態を表示し、各スレーブユニットをタッチすることで、詳細画面へ切り換えます。

詳細

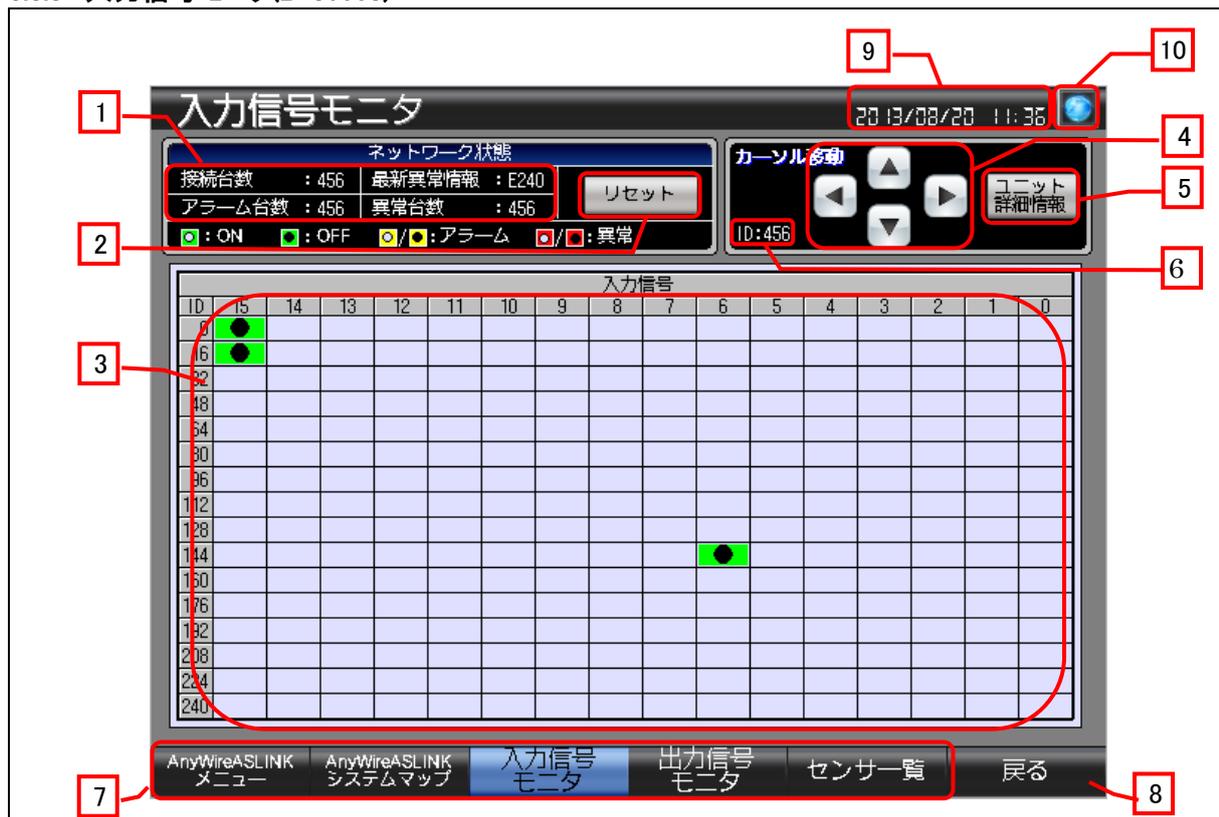
1. 接続台数・アラーム台数・異常台数を表示します。
2. スレーブユニットの接続状態を表示します。ユニットの ID・タイプ・状態(正常・アラーム発生・異常発生)を表示します。ユニットのタイプが表示されたスイッチをタッチすることで、対応するスレーブユニットの詳細画面に切り換えます。
3. 発生中のアラーム、または異常のエラーコードとコードに対応したエラー内容を表示します。複数のアラーム、異常が発生した場合は、最新のエラーコードを表示します。
4. アラーム、および異常をリセットします。リセットを実施すると、アラーム台数・異常台数・最新異常情報は 0 になります。
5. スレーブユニットの表示を上下方向へスクロールします。32 台ごとに表示が切り換わりします。
6. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
7. 前回表示していた画面に切り換えます。
8. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
9. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・スレーブユニットの表示のスクロールは、スクリプトを使用しています。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。
- ・画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。

- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.3 入力信号モニタ(B-30003)



概要

入力信号モニタ画面です。接続されている入力スレーブユニットの信号の状態(ON/OFF・アラーム発生中・異常発生中)を表示します。スレーブユニットの種類により、表示される信号の点数が異なります。

詳細

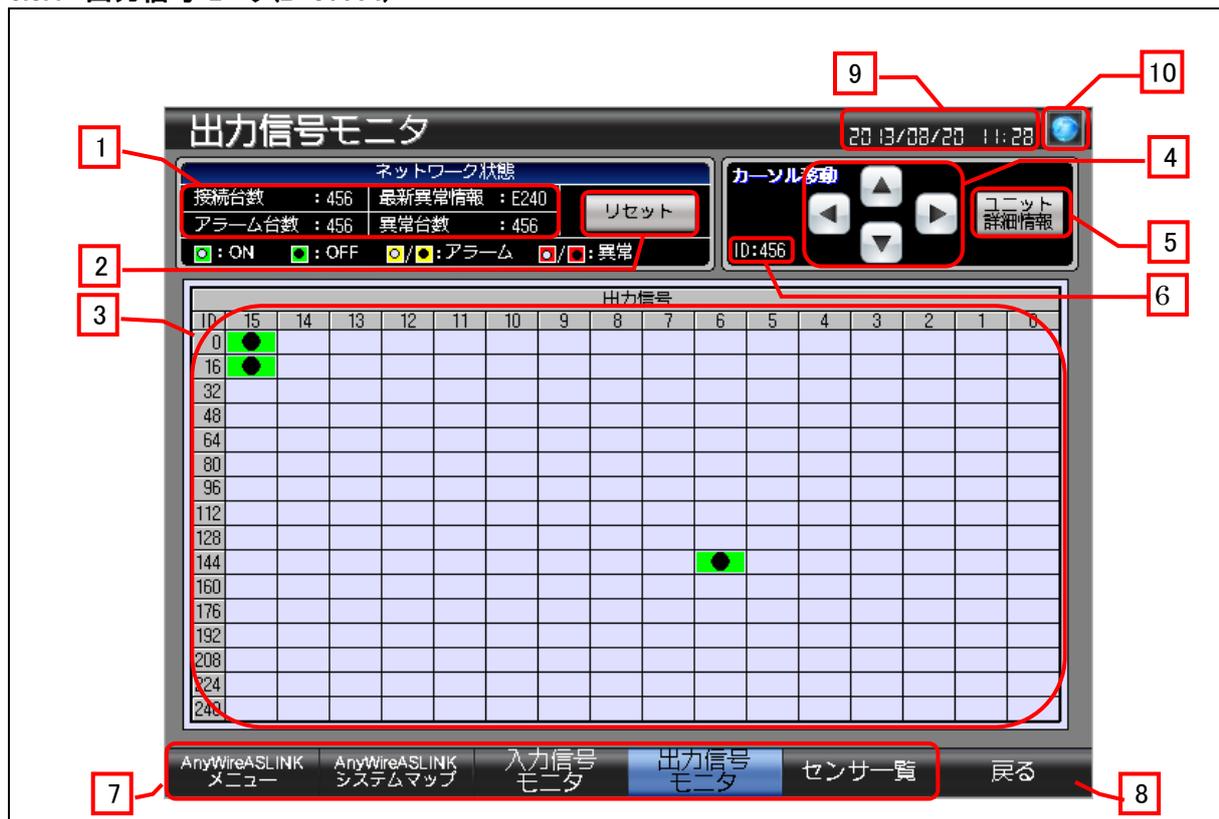
1. 接続台数・最新異常情報・アラーム台数・異常台数を表示します。
2. アラーム、および異常をリセットします。リセットを実施すると、アラーム台数・異常台数・最新異常情報は0になります。
3. 入力スレーブユニットの状態を表示します。セルをタッチすることで、タッチした位置にカーソルが移動します。
4. カーソルを上下左右に移動します。
5. カーソルの表示されている位置のスレーブユニットの詳細画面に切り換えます。ID が認識されていない箇所にカーソルがある場合は、詳細画面に切り換わりません。
6. カーソルの表示されている位置の ID を表示します。
7. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
8. 前回表示していた画面に切り換えます。
9. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
10. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・カーソルの移動は、スクリプトを使用しています。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。
- ・画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。

- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.4 出力信号モニタ(B-30004)



概要

出力信号モニタ画面です。接続されている出力スレーブユニットの信号の状態(ON/OFF・アラーム発生中・異常発生中)を表示します。スレーブユニットの種類により、表示される信号の点数が異なります。

詳細

1. 接続台数・最新異常情報・アラーム台数・異常台数を表示します。
2. アラーム、および異常をリセットします。リセットを実施すると、アラーム台数・異常台数・最新異常情報は0になります。
3. 出力スレーブユニットの状態を表示します。セルをタッチすることで、タッチした位置にカーソルが移動します。
4. カーソルを上下左右に移動します。
5. カーソルの表示されている位置のスレーブユニットの詳細画面に切り換えます。ID が認識されていない箇所にカーソルがある場合は、詳細画面へ切り換わりません。
6. カーソルの表示されている位置の ID を表示します。
7. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
8. 前回表示していた画面に切り換えます。
9. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
10. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・カーソルの移動は、スクリプトを使用しています。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。
- ・画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。

- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.5 センサー一覧(B-30005)



概要

スレーブユニットの情報を表示します。スレーブユニットの情報の表示されている行をタッチすることで、対象のスレーブユニットの詳細画面へ切り換えます。

詳細

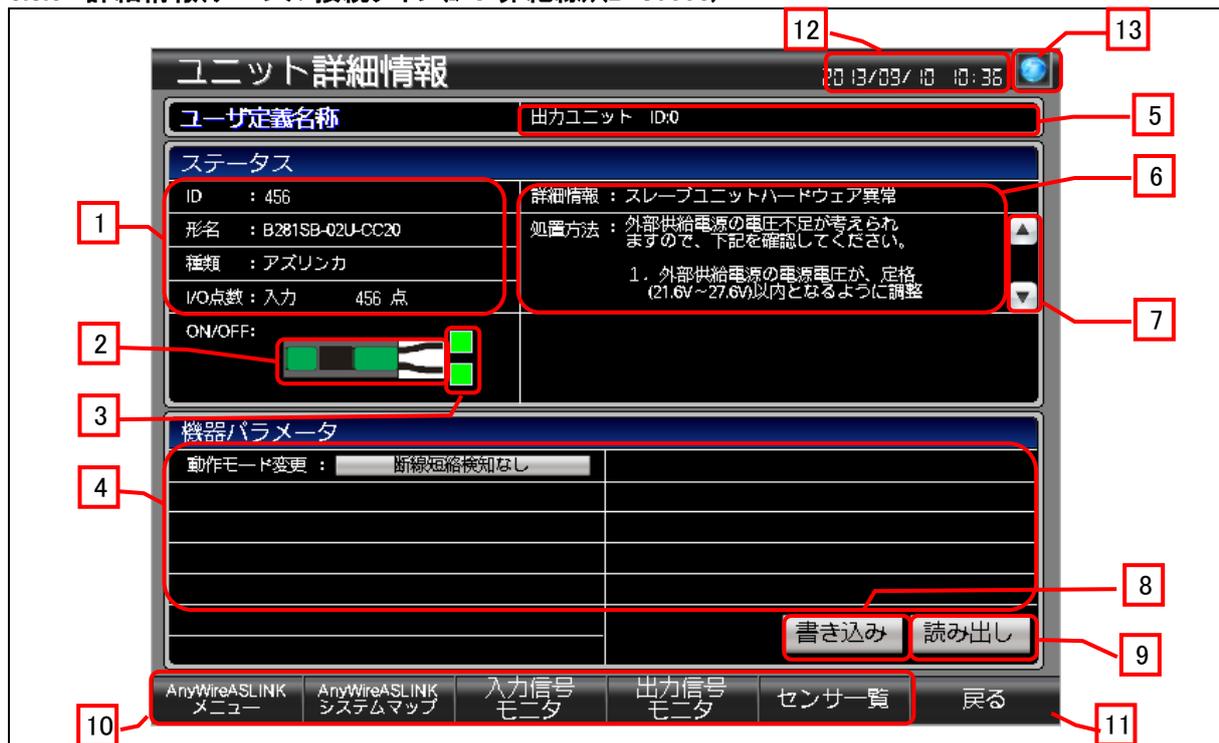
- 発生中のアラーム、または異常のエラーコードとコードに対応したエラー内容を表示します。複数のアラーム、異常が発生した場合は、最新のエラーコードを表示します。
- スレーブユニットの情報を表示します。認識されているスレーブユニットの ID・種別・ステータス詳細情報・ユーザ定義名称を表示します。情報の表示されている行をタッチすることで、スレーブユニットの詳細画面に切り換わります。
- アラーム、および異常をリセットします。リセットを実施すると、最新異常情報は 0 になります。
- スレーブユニットの情報を上下方向にスクロールします。15 台ごとに表示が切り換わります。
- 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
- 前回表示していた画面に切り換えます。
- 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
- 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- スレーブユニットの情報のスクロールは、スクリプトを使用しています。スクリプトについては、「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。
- ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「7.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。
- プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。
- 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。

・システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.6 詳細情報(ケーブル接続タイプ(I/O 非絶縁))(B-30006)



概要

ケーブル接続タイプ(I/O 非絶縁)のスレーブユニットの詳細情報を表示、設定します。

詳細

1. スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
2. スレーブユニットのイメージを表示します。
3. I/O の状態を表示します。
4. スレーブユニットのパラメータを表示、変更します。
5. ユーザ定義名称を表示します。
6. 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
7. 処置方法の表示をスクロールします。
8. 4 で変更したパラメータをスレーブユニットへ書き込みます。書き込み実施後、自動でパラメータの読み出し処理を実施します。
9. スレーブユニットのパラメータを読み出します。
10. 各画面に切り換えます。
11. 前回表示していた画面に切り換えます。
12. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
13. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・システム稼働中のパラメータ変更は、スレーブユニットの動作が変化する可能性があります。安全をご確認の上、実施してください。
- ・ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「7.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。
- ・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

- ・ 画面切り換え時には、表示中のウインドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウインドウが表示されます。

5.3.7 詳細情報(ケーブル接続タイプ(I/O 絶縁))(B-30007)



概要

ケーブル接続タイプ(I/O 絶縁)のスレーブユニットの詳細情報を表示します。

詳細

1. スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
2. スレーブユニットのイメージを表示します。
3. I/O の状態を表示します。
4. ユーザ定義名称を表示します。
5. 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
6. 処置方法の表示をスクロールします。
7. 書き込むパラメータがないため、タッチしても動作しません。
8. 読み出すパラメータがないため、タッチしても動作しません。
9. 各画面に切り換えます。
10. 前回表示していた画面に切り換えます。
11. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
12. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「7.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。
- ・ プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。

・システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.8 詳細情報(I/O 防水コネクタ接続タイプ)(B-30008)



概要

I/O 防水コネクタ接続タイプのスレーブユニットの詳細情報を表示、設定します。

詳細

1. スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
2. スレーブユニットのイメージを表示します。
3. I/O の状態を表示します。
4. スレーブユニットのパラメータを表示、変更します。
5. ユーザ定義名称を表示します。
6. 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
7. 処置方法の表示をスクロールします。
8. 4 で変更したパラメータをスレーブユニットへ書き込みます。書き込み実施後、自動でパラメータの読み出し処理を実施します。
9. スレーブユニットのパラメータを読み出します。
10. 各画面に切り換えます。
11. 前回表示していた画面に切り換えます。
12. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
13. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・システム稼働中のパラメータ変更は、スレーブユニットの動作が変化する可能性があります。安全をご確認の上、実施してください。
- ・ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「7.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。
- ・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

- ・ 画面切り換え時には、表示中のウインドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウインドウが表示されます。

5.3.9 詳細情報(伝送・I/O 防水コネクタ接続タイプ)(B-30009)



概要

伝送・I/O 防水コネクタ接続タイプのスレーブユニットの詳細情報を表示します。

詳細

1. スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
2. スレーブユニットのイメージを表示します。
3. I/O の状態を表示します。
4. スレーブユニットのパラメータを表示、変更します。
5. ユーザ定義名称を表示します。
6. 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
7. 処置方法の表示をスクロールします。
8. 4 で変更したパラメータをスレーブユニットへ書き込みます。書き込み実施後、自動でパラメータの読み出し処理を実施します。
9. スレーブユニットのパラメータを読み出します。
10. 各画面に切り換えます。
11. 前回表示していた画面に切り換えます。
12. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
13. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・システム稼働中のパラメータ変更は、スレーブユニットの動作が変化する可能性があります。安全をご確認の上、実施してください。
- ・ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「7.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。

- ・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。
- ・画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.10 詳細情報(光電アンブユニット(GAM,CAS))(B-30010)

ユニット詳細情報 2013/03/10 10:42

ユーザ定義名称: 出力ユニット ID:0

ステータス

ID : 456
 形名 : B281SB-02U-CC20
 種類 : アズリンクアンブ
 I/O点数 : 入力 456 点

ON/OFF: ON OFF

センシングレベル : 0 ~ 100
 現在値 : 456

機器パラメータ

しきい値 : 456	ライトON/ダークON切 : タークON(強制型)
ヒステリシス : 456	動作モード変更 : 簡易セード
アラーム判定(H) : 456	センサタイプ変更 : センサタイプA
アラーム判定(L) : 456	
アラーム値監視時間 : 456	

書き込み 読み出し

AnyWireASLINKメニュー AnyWireASLINKシステムマップ 入力信号モニタ 出力信号モニタ センサー一覧 戻る

概要

光電アンブユニットのスレーブユニットの詳細情報を表示、設定します。

詳細

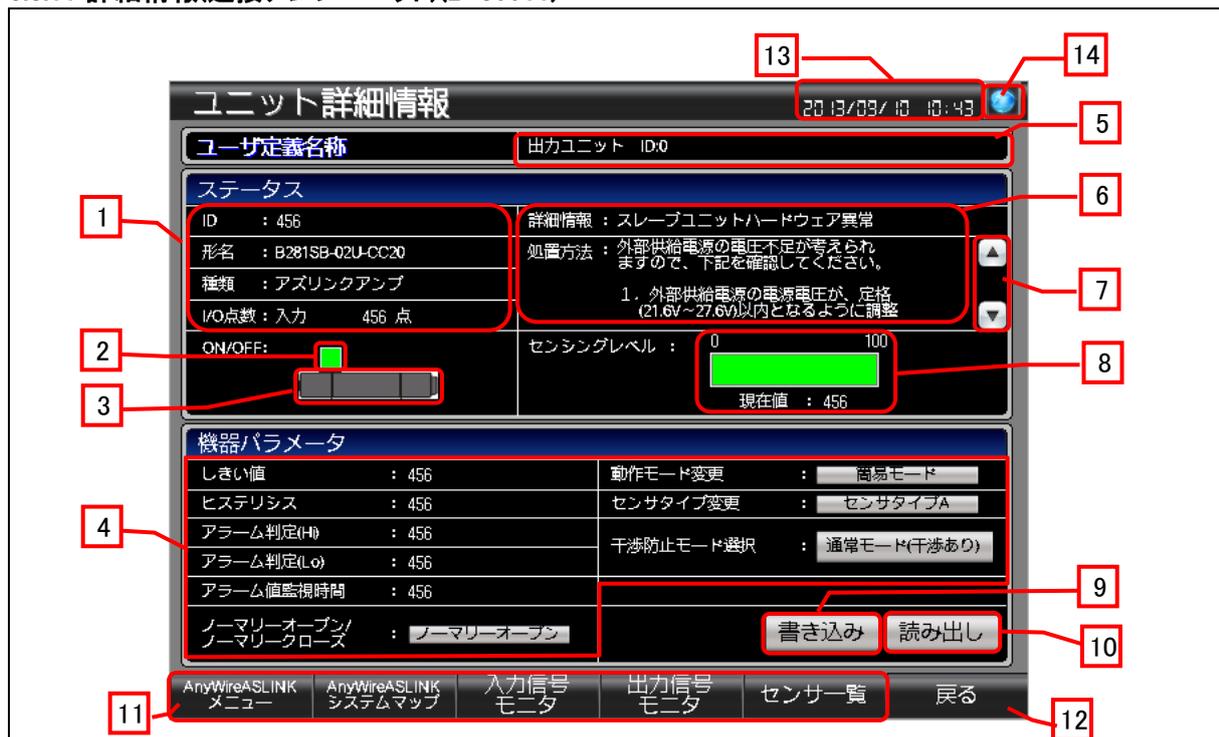
1. スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
2. I/O の状態を表示します。
3. スレーブユニットのイメージを表示します。
4. スレーブユニットのパラメータを表示、変更します。
5. ユーザ定義名称を表示します。
6. 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
7. 処置方法の表示をスクロールします。
8. センシングレベルの現在値を、数値表示とレベルで表示します。
9. 4 で変更したパラメータをスレーブユニットへ書き込みます。書き込み実施後、自動でパラメータの読み出し処理を実施します。
10. スレーブユニットのパラメータを読み出します。
11. 各画面に切り換えます。
12. 前回表示していた画面に切り換えます。
13. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
14. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・システム稼働中のパラメータ変更は、スレーブユニットの動作が変化する可能性があります。安全をご確認の上、実施してください。
- ・「センシングレベル」のレベル、「しきい値」、「アラーム判定(Hi)」、「アラーム判定(Lo)」の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。

- ・ ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「7.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。
- ・ プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.11 詳細情報(近接アンブユニット)(B-30011)



概要

近接アンブユニットのスレーブユニットの詳細情報を表示、設定します。

詳細

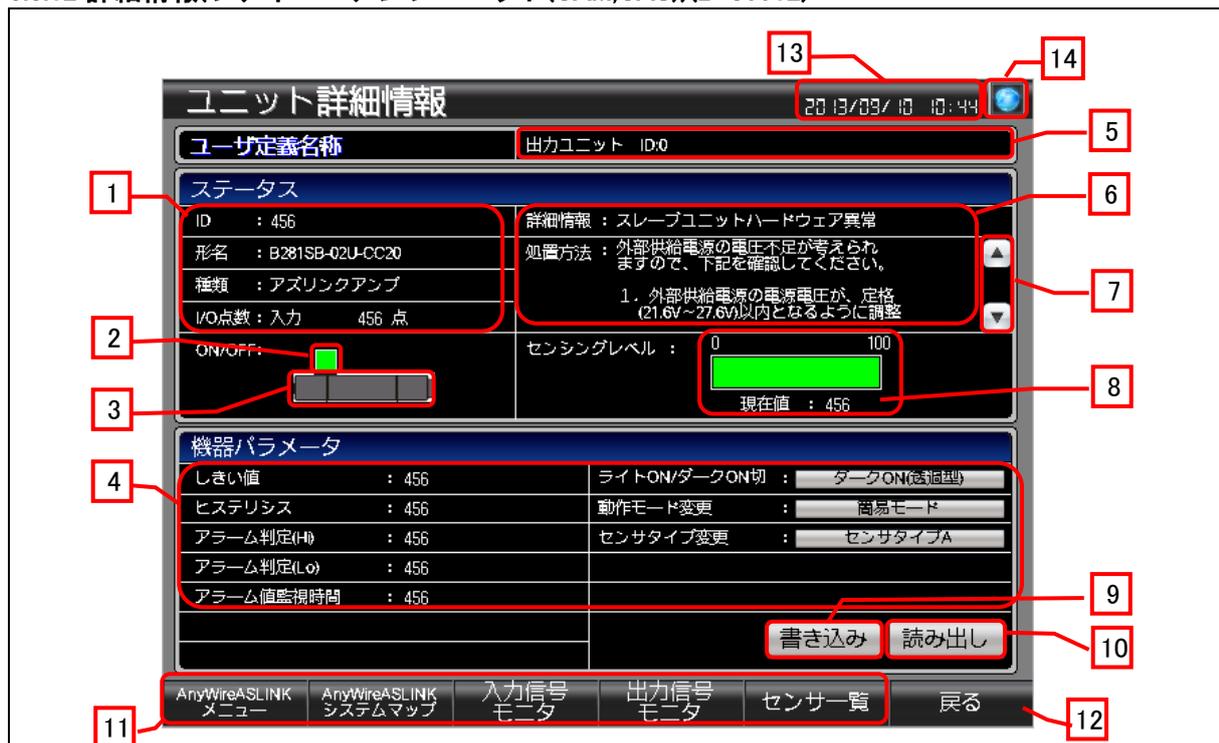
1. スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
2. I/O の状態を表示します。
3. スレーブユニットのイメージを表示します。
4. スレーブユニットのパラメータを表示、変更します。
5. ユーザ定義名称を表示します。
6. 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
7. 処置方法の表示をスクロールします。
8. センシングレベルの現在値を、数値表示とレベルで表示します。
9. 4 で変更したパラメータをスレーブユニットへ書き込みます。書き込み実施後、自動でパラメータの読み出し処理を実施します。
10. スレーブユニットのパラメータを読み出します。
11. 各画面に切り換えます。
12. 前回表示していた画面に切り換えます。
13. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
14. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・システム稼働中のパラメータ変更は、スレーブユニットの動作が変化する可能性があります。安全をご確認の上、実施してください。
- ・「センシングレベル」のレベル、「しきい値」、「アラーム判定(Hi)」、「アラーム判定(Lo)」の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。

- ・ ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できません。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「7.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。
- ・ プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.12 詳細情報(ファイバーアンブユニット(CAM,CAS))(B-30012)



概要

ファイバーアンブユニットのスレーブユニットの詳細情報を表示、設定します。

詳細

1. スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
2. I/O の状態を表示します。
3. スレーブユニットのイメージを表示します。
4. スレーブユニットのパラメータを表示、変更します。
5. ユーザ定義名称を表示します。
6. 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
7. 処置方法の表示をスクロールします。
8. センシングレベルの現在値を、数値表示とレベルで表示します。
9. 4 で変更したパラメータをスレーブユニットへ書き込みます。書き込み実施後、自動でパラメータの読み出し処理を実施します。
10. スレーブユニットのパラメータを読み出します。
11. 各画面に切り換えます。
12. 前回表示していた画面に切り換えます。
13. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
14. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・システム稼働中のパラメータ変更は、スレーブユニットの動作が変化する可能性があります。安全をご確認の上、実施してください。
- ・「センシングレベル」のレベル、「しきい値」、「アラーム判定(Hi)」、「アラーム判定(Lo)」の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。

- ・ ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「7.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。
- ・ プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.13 詳細情報(シリンダスイッチ)(B-30013)



概要

シリンダスイッチのスレーブユニットの詳細情報を表示、設定します。

詳細

1. スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
2. スレーブユニットのイメージを表示します。
3. I/O の状態を表示します。
4. スレーブユニットのパラメータを表示、変更します。
5. ユーザ定義名称を表示します。
6. 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
7. 処置方法の表示をスクロールします。
8. センシングレベルの現在値を、数値表示とレベルで表示します。
9. 4 で変更したパラメータをスレーブユニットへ書き込みます。書き込み実施後、自動でパラメータの読み出し処理を実施します。
10. スレーブユニットのパラメータを読み出します。
11. 各画面に切り換えます。
12. 前回表示していた画面に切り換えます。
13. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
14. 言語設定ウィンドウを表示します。

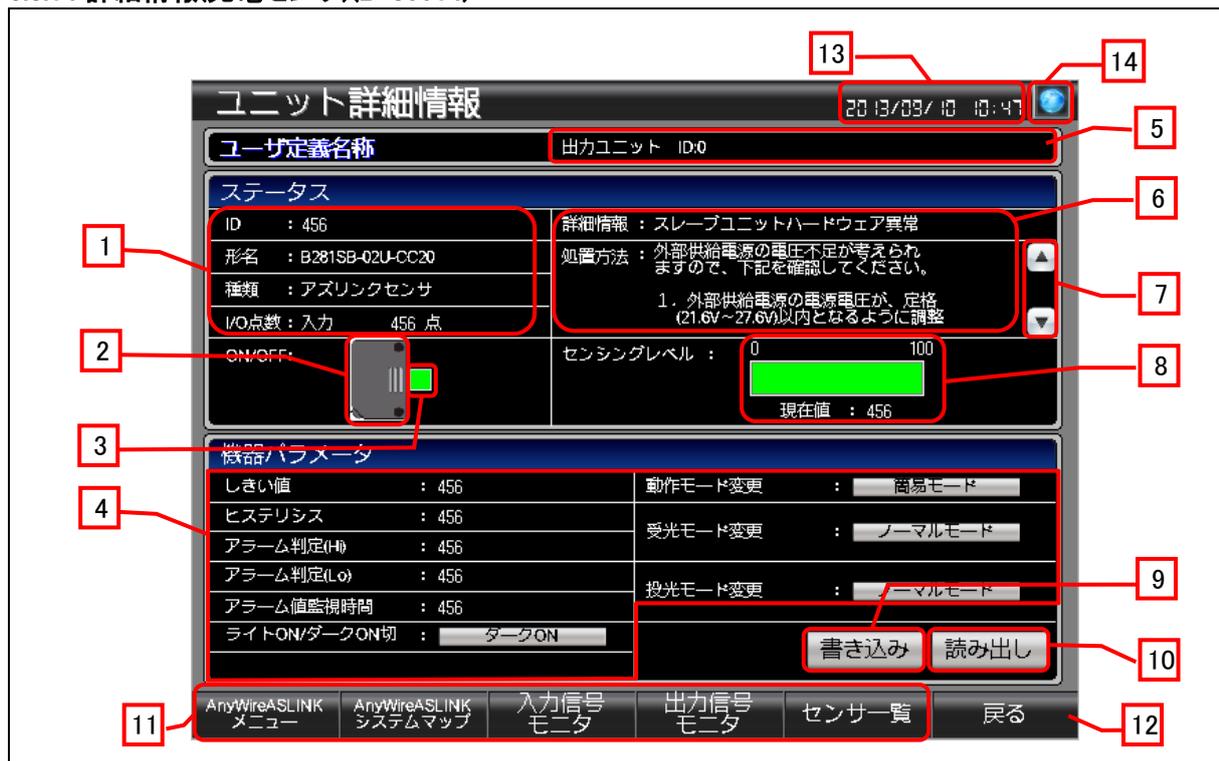
備考

- ・システム稼働中のパラメータ変更は、ユニットの動作が変化する可能性があります。安全をご確認の上、実施してください。
- ・「センシングレベル」のレベル、「OFF→ON のしきい値」、「ON→OFF のしきい値」の数値表示にオブ

プロジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。

- ・ ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「7.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。
- ・ プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.14 詳細情報(光電センサ)(B-30014)



概要

光電センサのスレーブユニットの詳細情報を表示、設定します。

詳細

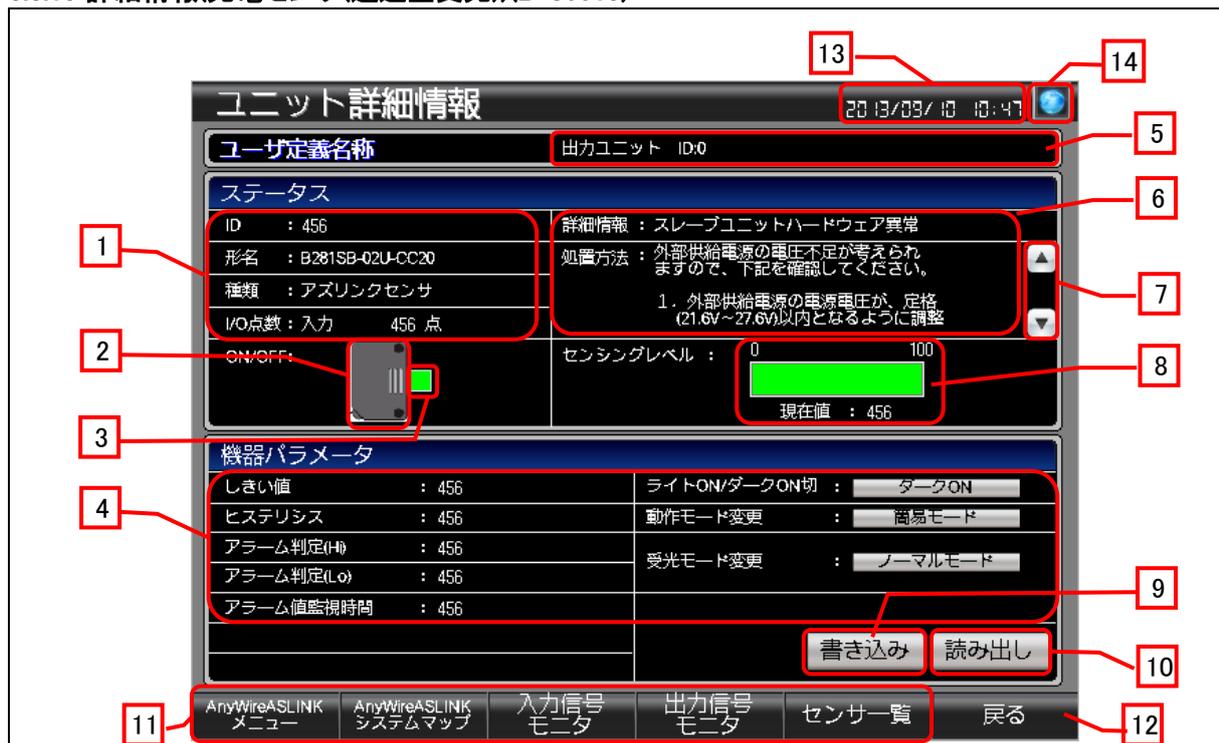
1. スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
2. スレーブユニットのイメージを表示します。
3. I/O の状態を表示します。
4. スレーブユニットのパラメータを表示、変更します。
5. ユーザ定義名称を表示します。
6. 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
7. 処置方法の表示をスクロールします。
8. センシングレベルの現在値を、数値表示とレベルで表示します。
9. 4 で変更したパラメータをスレーブユニットへ書き込みます。書き込み実施後、自動でパラメータの読み出し処理を実施します。
10. スレーブユニットのパラメータを読み出します。
11. 各画面に切り換えます。
12. 前回表示していた画面に切り換えます。
13. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
14. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・システム稼働中のパラメータ変更は、ユニットの動作が変化する可能性があります。安全をご確認の上、実施してください。
- ・「センシングレベル」のレベル、「しきい値」、「アラーム判定(Hi)」、「アラーム判定(Lo)」の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。

- ・ ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「7.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。
- ・ プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.15 詳細情報(光電センサ(透過型受光))(B-30015)



概要

光電センサ(透過型受光)のスレーブユニットの詳細情報を表示、設定します。

詳細

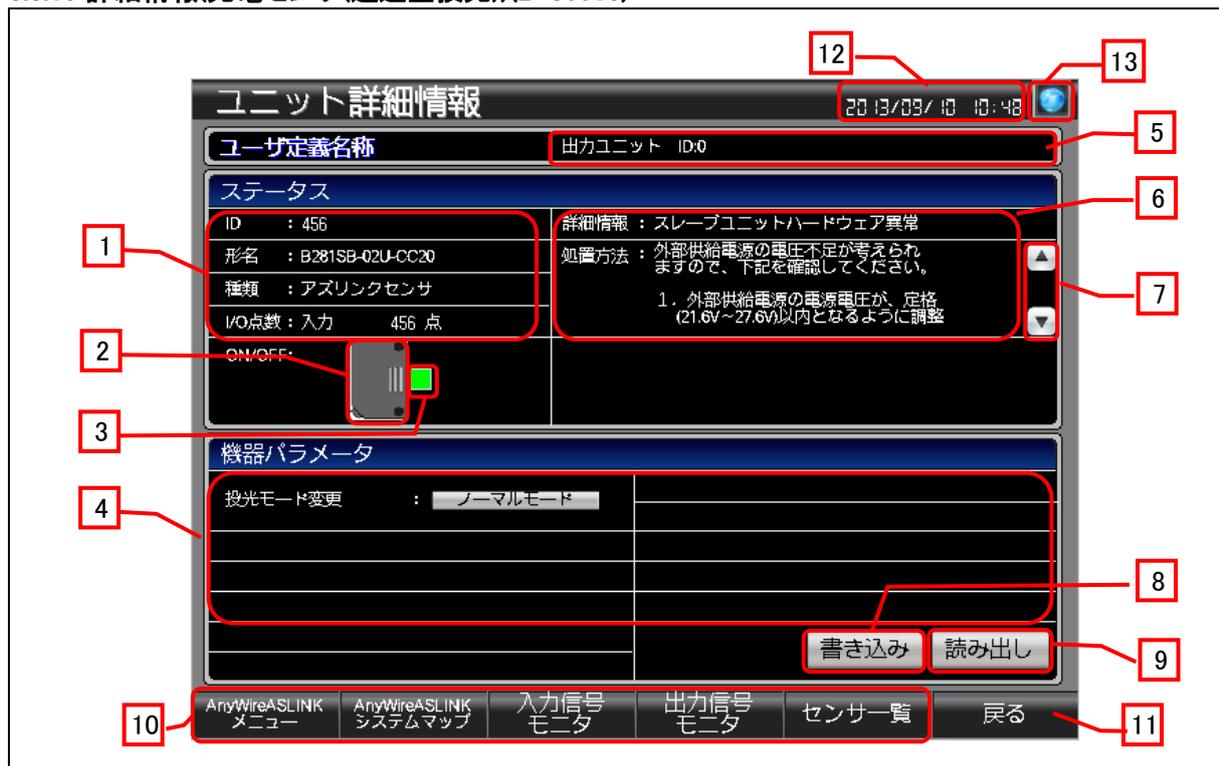
1. スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
2. スレーブユニットのイメージを表示します。
3. I/O の状態を表示します。
4. スレーブユニットのパラメータを表示、変更します。
5. ユーザ定義名称を表示します。
6. 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
7. 処置方法の表示をスクロールします。
8. センシングレベルの現在値を、数値表示とレベルで表示します。
9. 4 で変更したパラメータをスレーブユニットへ書き込みます。書き込み実施後、自動でパラメータの読み出し処理を実施します。
10. スレーブユニットのパラメータを読み出します。
11. 各画面に切り換えます。
12. 前回表示していた画面に切り換えます。
13. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
14. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・システム稼働中のパラメータ変更は、ユニットの動作が変化する可能性があります。安全をご確認の上、実施してください。
- ・「センシングレベル」のレベル、「しきい値」、「アラーム判定(Hi)」、「アラーム判定(Lo)」の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。

- ・ ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「7.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。
- ・ プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.16 詳細情報(光電センサ(透過型投光))(B-30016)



概要

光電センサ(透過型投光)のスレーブユニットの詳細情報を表示、設定します。

詳細

1. スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
2. スレーブユニットのイメージを表示します。
3. I/O の状態を表示します。
4. スレーブユニットのパラメータを表示、変更します。
5. ユーザ定義名称を表示します。
6. 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
7. 処置方法の表示をスクロールします。
8. 4 で変更したパラメータをスレーブユニットへ書き込みます。書き込み実施後、自動でパラメータの読み出し処理を実施します。
9. スレーブユニットのパラメータを読み出します。
10. 各画面に切り換えます。
11. 前回表示していた画面に切り換えます。
12. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
13. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・システム稼働中のパラメータ変更は、ユニットの動作が変化する可能性があります。安全をご確認の上、実施してください。
- ・ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「7.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。

- ・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。
- ・画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.17 詳細情報(近接スイッチ)(B-30017)

ユニット詳細情報 2013/09/10 10:49

ユーザ定義名称: 出力ユニット ID:0

ステータス

ID : 456
 形名 : B281SB-02U-CC20
 種類 : アズリンクセンサ
 I/O点数: 入力 456 点

ON/OFF:

センシングレベル : 0 100
 現在値 : 456

機器パラメータ

しきい値	: 456	ライトON/ダークON切	: <input type="button" value="ダークON"/>
ヒステリシス	: 456	センサ動作モード	: <input type="button" value="ノーマルモード"/>
アラーム判定(Hi)	: 456		
アラーム判定(Lo)	: 456		
アラーム値監視時間	: 456		

詳細情報: スレーブユニットハードウェア異常
 処置方法: 外部供給電源の電圧不足が考えられますので、下記を確認してください。
 1. 外部供給電源の電源電圧が、定格(21.6V~27.6V)以内となるように調整

書き込み 読み出し

AnyWireASLINKメニュー AnyWireASLINKシステムマップ 入力信号モニタ 出力信号モニタ センサー一覧 戻る

概要

近接スイッチのスレーブユニットの詳細情報を表示、設定します。

詳細

- スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
- スレーブユニットのイメージを表示します。
- I/O の状態を表示します。
- スレーブユニットのパラメータを表示、変更します。
- ユーザ定義名称を表示します。
- 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
- 処置方法の表示をスクロールします。
- センシングレベルの現在値を、数値表示とレベルで表示します。
- 4 で変更したパラメータをスレーブユニットへ書き込みます。書き込み実施後、自動でパラメータの読み出し処理を実施します。
- スレーブユニットのパラメータを読み出します。
- 各画面に切り換えます。
- 前回表示していた画面に切り換えます。
- 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
- 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- システム稼働中のパラメータ変更は、ユニットの動作が変化する可能性があります。安全をご確認の上、実施してください。
- 「センシングレベル」のレベル、「しきい値」、「アラーム判定(Hi)」、「アラーム判定(Lo)」の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。

- ・ ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「7.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。
- ・ プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.18 詳細情報(圧力センサ)(B-30018)



概要

圧力センサのスレーブユニットの詳細情報を表示、設定します。

詳細

1. スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
2. スレーブユニットのイメージを表示します。
3. I/O の状態を表示します。
4. スレーブユニットのパラメータを表示、変更します。
5. ユーザ定義名称を表示します。
6. 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
7. 処置方法の表示をスクロールします。
8. センシングレベルの現在値を、数値表示とレベルで表示します。
9. 4 で変更したパラメータをスレーブユニットへ書き込みます。書き込み実施後、自動でパラメータの読み出し処理を実施します。
10. スレーブユニットのパラメータを読み出します。
11. 各画面に切り換えます。
12. 前回表示していた画面に切り換えます。
13. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
14. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・システム稼働中のパラメータ変更は、ユニットの動作が変化する可能性があります。安全をご確認の上、実施してください。
- ・「センシングレベル」のレベル、「OFF→ON のしきい値」、「ON→OFF のしきい値」の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。

- ・ ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「7.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。
- ・ プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.19 詳細情報(アズリンクターミナル(ドライバ部))(B-30019)



概要

アズリンクターミナル(ドライバ部)のスレーブユニットの詳細情報を表示します。

詳細

1. スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
2. スレーブユニットのイメージを表示します。
3. I/O の状態を表示します。
4. ユーザ定義名称を表示します。
5. 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
6. 処置方法の表示をスクロールします。
7. 書き込むパラメータがないため、タッチしても動作しません。
8. 読み出すパラメータがないため、タッチしても動作しません。
9. 各画面に切り換えます。
10. 前回表示していた画面に切り換えます。
11. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
12. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「7.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。
- ・ プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。

・システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。



概要

iQSS バックアップ/リストア(シーケンサ⇄センサ)機能のメニュー画面です。

詳細

1. iQSS バックアップ画面に切り換えます。
2. iQSS リストア画面に切り換えます。
3. AnyWireASLINK ネットワークモニタ機能のメニュー画面(AnyWireASLINK メニュー画面)に切り換えます。
4. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
5. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ iQSS バックアップ設定、iQSS バックアップ履歴をレシピファイルから読み出します。レシピ機能については「5.8 レシピ一覧」を参照してください。
- ・ プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.21 iQSS バックアップ(B-30101)

The screenshot shows the 'iQSSバックアップ(センサ→シーケンサ)' screen. At the top right, there is a date and time display (2013/08/20 15:02) and a language selection icon. The main area contains a table with 10 rows of settings. Below the table are three buttons: '設定削除' (Delete), '設定編集' (Edit), and '実行' (Execute). At the bottom, there is a menu bar with four items: 'iQSS メニュー', 'iQSS バックアップ', 'iQSS リストア', and '戻る'. Red callouts 1 through 10 point to various elements: 1 points to the table, 2 to the '設定削除' button, 3 to the scroll arrows, 4 to the '設定編集' button, 5 to the '実行' button, 6 to the 'iQSS バックアップ' menu item, 7 to the '戻る' button, 8 to the '戻る' button, 9 to the date/time display, and 10 to the language icon.

No.	設定名称	対象機種	実行単位	ID	I/O
1	ASLINK1	A	全ID		03
2				000	00
3				000	00
4	ASLINK2	A	ID指定	OUT 014	03
5				000	00
6				000	00
7	ASLINK3	A	ID指定	IN 014	03
8				000	00
9				000	00
10	ASLINK4	A	ID指定	IN 150	03

概要

選択状態の iQSS バックアップ設定のパラメータに従って iQSS バックアップを実行します。また、iQSS バックアップ設定の編集、削除を実行します。

詳細

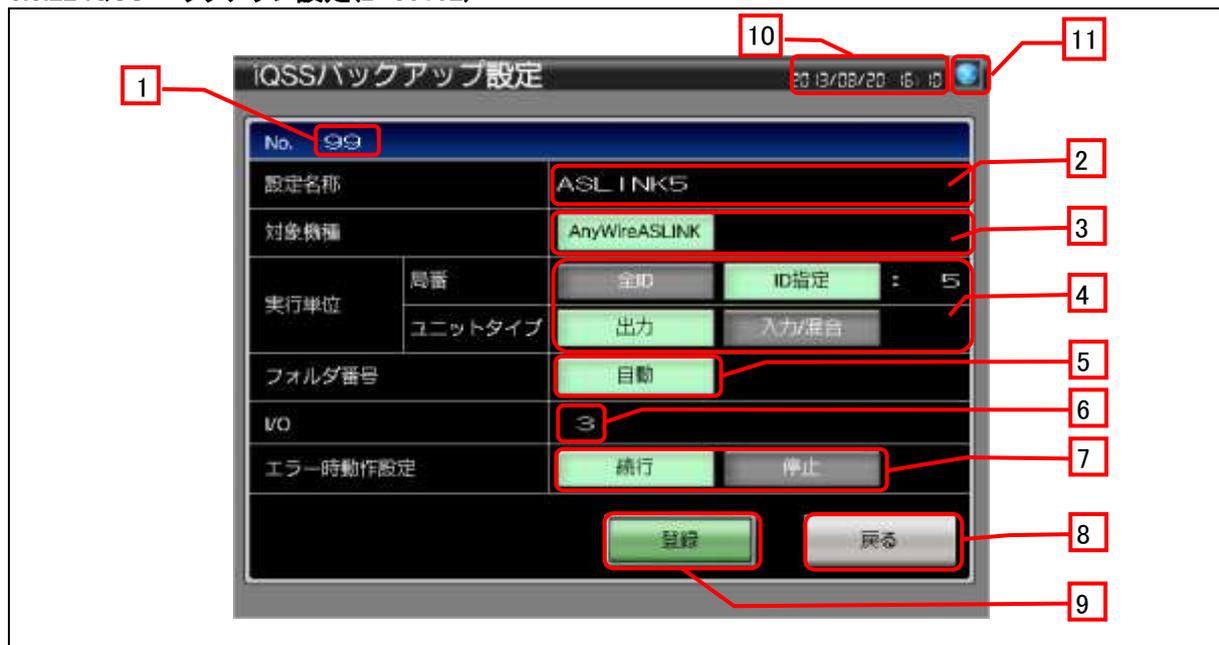
1. iQSS バックアップ設定を 10 件ずつ、最大 100 件まで一覧表示します。iQSS バックアップ設定をタッチするとカーソルが表示され、選択状態になります。
2. 選択状態の iQSS バックアップ設定を削除します。
3. 一覧を上下方向に頁スクロールします。
4. iQSS バックアップ進捗画面に切り換えると同時に、選択状態の iQSS バックアップ設定のパラメータに従って iQSS バックアップを実行します。スイッチのタッチ時に選択状態の iQSS バックアップ設定が未登録の場合は、エラーダイアログを表示します。
5. iQSS バックアップ設定画面に切り換えます。
6. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
7. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
8. 前回表示していた画面に切り換えます。
9. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
10. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ iQSS バックアップ履歴は、最大 100 件まで可能です。101 件目のバックアップを実行する際には、最も古いデータに上書きする旨のメッセージが表示されます。
- ・ 削除操作では、レシピファイルに保存されている iQSS バックアップ設定を削除します。レシピ機能については、「5.8 レシピ一覧」を参照してください。
- ・ 「実行単位」のワードランプにオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。

- ・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。
- ・画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.22 iQSS バックアップ設定(B-30102)



概要

iQSS バックアップ設定を登録します。

詳細

1. 登録番号を表示します。
2. iQSS バックアップ設定の名称を入力します。
3. iQSS バックアップ対象機器が接続されているネットワークユニットの種別を表示します。
4. iQSS バックアップ対象を指定します。
全ID…全ての iQSS 対応センサ
ID 指定…指定した ID の iQSS 対応センサ
出力、入力/混合…指定した iQSS 対応センサのユニットタイプ
5. iQSS バックアップデータの格納先フォルダ名となるフォルダ番号を自動的に割り付ける設定として
います。フォルダ番号には、0～99 の値が自動割り付けされます。
6. iQSS バックアップ対象機器が接続されているネットワークユニットの I/O No.を 16 で割った値を入
力します。
7. iQSS バックアップの実行時に、エラーが発生した際の動作を指定します。
続行…複数の iQSS 対応センサに対してバックアップ実行中に一部の機器のバックアップが失
敗した場合でも、処理を続行します。
停止…複数の iQSS 対応センサに対してバックアップ実行中に一部の機器のバックアップが失
敗した場合、処理を停止します。
8. 前回表示していた画面に切り換えます。
9. 設定内容を保存します。保存完了時には、完了ダイアログを表示します。設定内容に不備があっ
た場合は、エラーダイアログを表示します。
10. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
11. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・iQSS バックアップ設定の登録は画面スクリプトとレシピ機能を使用しています。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」、レシピ機能については「5.8 レシピ一覧」を参照してください。
- ・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が
発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプト
については「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送
一覧」を参照してください。

- ・ 画面切り換え時には、表示中のウインドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウインドウが表示されます。

5.3.23 iQSS バックアップ進捗(B-30103)

概要

iQSS バックアップの進捗状況と結果を表示します。

詳細

1. iQSS メニュー画面へ切り換えます。iQSS バックアップ中は非表示となり、iQSS バックアップ完了後に表示されます。
2. iQSS バックアップの設定を表示します。
3. iQSS バックアップを開始した日時を表示します。
4. iQSS バックアップ対象機器 1 台分のバックアップの進捗を%とバーグラフで表示します。iQSS バックアップ対象機器 1 台分のバックアップが完了すると「100%」を表示し、バーグラフの色が黒色から青色に変わります。iQSS バックアップ対象機器が複数台ある場合は、個々の進捗を表示します。
5. iQSS バックアップ対象機器の総数を表示します。
6. iQSS バックアップが成功、または失敗した機器数を表示します。
7. iQSS バックアップを中止します。iQSS バックアップ中は表示され、iQSS バックアップ完了後に非表示となります。
8. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
9. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ iQSS バックアップの中止は、確認ウィンドウで「OK」をタッチするまで中止されません。
- ・ iQSS バックアップが失敗した場合は、対象機器総数・バックアップ成功・バックアップ失敗がそれぞれ 0 件となる場合があります。
- ・ iQSS バックアップ履歴は、画面スクリプトとレシピ機能を使用して保存します。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」、レシピ機能については「5.8 レシピ一覧」を参照してください。
- ・ プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

- ・ 画面切り換え時には、表示中のウインドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウインドウが表示されます。

5.3.24 iQSS リストア(B-30104)



概要

iQSS バックアップ履歴に対応した iQSS リストア設定のパラメータに従って iQSS リストアを実行します。また、iQSS バックアップ履歴に対応した iQSS リストア設定の確認、iQSS バックアップ履歴の削除を実行します。

詳細

1. iQSS バックアップ履歴を 10 件ずつ、最大 100 件まで一覧表示します。iQSS バックアップ履歴をタッチするとカーソルが表示され、選択状態になります。iQSS バックアップ履歴は、新しい履歴から順に上から表示します。
2. 選択状態の iQSS バックアップ履歴を削除します。iQSS バックアップ履歴を 1 件削除すると、削除した iQSS バックアップ履歴より古い履歴を 1 行ずつ上に繰り上げて表示します。
3. iQSS バックアップ履歴を全て削除します
4. 一覧を上下方向に頁スクロールします。
5. iQSS リストア進捗画面に切り換えると同時に、選択状態の iQSS バックアップ履歴に対応したリストア設定のパラメータに従って iQSS リストアを実行します。また、iQSS バックアップ履歴が表示されていない箇所を選択して iQSS リストアを実行した場合は、エラーダイアログを表示します。
6. iQSS リストア設定画面に切り換えます。
7. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
8. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
9. 前回表示していた画面に切り換えます。
10. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
11. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ iQSS バックアップの実行時に、シーケンサに装着された SD カード内に iQSS バックアップデータが作成された場合のみ iQSS バックアップ履歴を作成します。
- ・ 異常終了や中断した iQSS バックアップの履歴に対応した iQSS リストア設定からはリストアできません。
- ・ 削除操作では、GOT に装着した SD カード内に保存している iQSS バックアップ履歴を削除していま

す。実際の iQSS バックアップデータは、シーケンサ CPU に装着された SD カード内にあり、GOT からは削除できない仕様となっていますのでご注意ください。また、iQSS バックアップデータを SD カードから削除した場合、該当する iQSS バックアップ履歴からリストアできなくなりますのでご注意ください。

- ・シーケンサ CPU に装着された SD カード内のフォルダ構成は、「7.5 iQSS バックアップフォルダ構成」を参照してください。
- ・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。
- ・画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.25 iQSS リストア設定(B-30105)

iQSS リストア設定		2013/08/20 16:26	
No. 7		9	
設定名称		ASL INK3	
対象機種		AnyWireASLINK	
実行単位	局番	全局	ID指定 : 14
	ユニットタイプ	入力混合	
フォルダ番号		22	
I/O		3	
エラー時動作設定		続行 停止	
2 戻る			
		10	

概要

iQSS リストア設定を確認します。iQSS リストア設定の内容は、フォルダ番号を除き、iQSS バックアップを実行した時の設定内容と同一です。

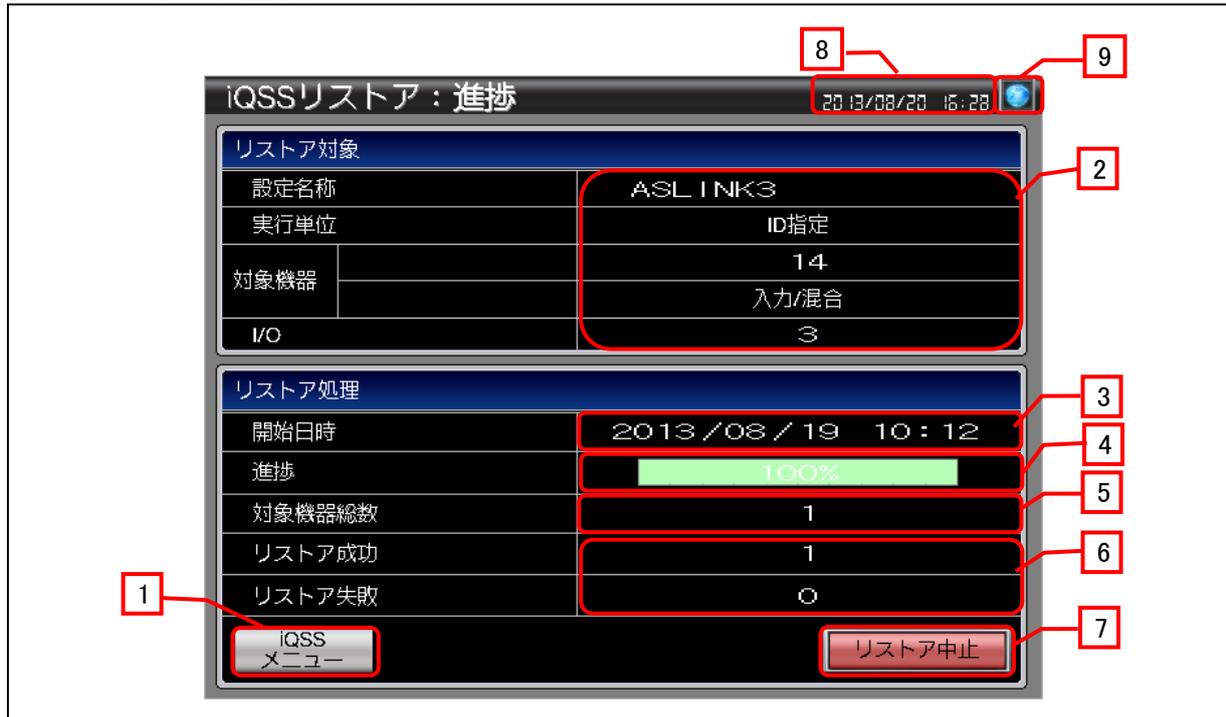
詳細

1. iQSS バックアップ履歴の No.を表示します。
2. 前回表示していた画面に切り換えます。
3. iQSS バックアップ設定の名称を表示します。
4. iQSS バックアップを実行した時の対象機種を表示します。
5. iQSS リストア対象(= iQSS バックアップを実行した時の iQSS バックアップ対象)を表示します。
6. iQSS バックアップを実行した時に iQSS バックアップデータを格納したフォルダ番号を表示します。
7. iQSS バックアップを実行した時に iQSS バックアップ対象機器が接続されていたネットワークユニットの I/O No.を表示します。
8. iQSS リストアの実行時に、エラーが発生した際の動作を表示します。iQSS バックアップを実行した時の設定と同じです。
9. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
10. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・表示は iQSS バックアップ設定画面と同様です。
- ・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。
- ・画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.26 iQSS リストア進捗(B-30106)



概要

iQSS リストアの進捗を表示します。

詳細

1. iQSS メニュー画面へ切り換えます。iQSS リストア中は非表示となり、iQSS リストア完了後に表示されます。
2. iQSS リストアの設定を表示します。iQSS リストア設定の内容は、iQSS バックアップを実行した時の設定内容と同一です。
3. iQSS リストアを開始した日時を表示します。
4. iQSS リストア対象機器 1 台分のリストアの進捗を%とバーグラフで表示します。iQSS リストア対象機器 1 台分のリストアが完了すると「100%」を表示し、バーグラフの色が黒色から青色に変わります。iQSS リストア対象機器が複数台ある場合は、個々の進捗を表示します。
5. iQSS リストア対象機器の総数を表示します。
6. iQSS リストアが成功、または失敗した機器数を表示します。
7. iQSS リストアを中止します。iQSS リストア中は表示され、iQSS リストア完了後に非表示となります。
8. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
9. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ iQSS リストアの中止は、確認ウィンドウで「OK」をタッチするまで中止されません。
- ・ iQSS リストアでエラーが発生した際は、対象機器総数・リストア成功・リストア失敗はそれぞれ 0 件となる場合があります。
- ・ プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.27 アラームリセット(W-30001)



概要

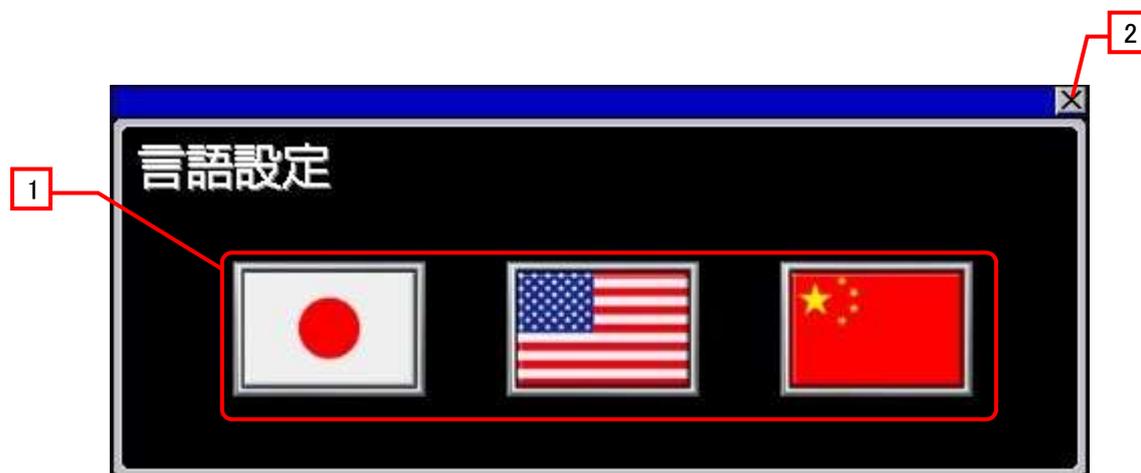
システムアラームをリセットします。

詳細

1. システムアラームをリセットし、1秒後にウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

5.3.28 言語設定(W-30002)



概要

GOT で表示する言語を選択します。

詳細

1. 言語を切り換え、ウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ 表示言語にあわせてシステム言語も切り換える設定をしています。

5.3.29 時計設定(W-30003)



概要

GOT の時計データを変更します。

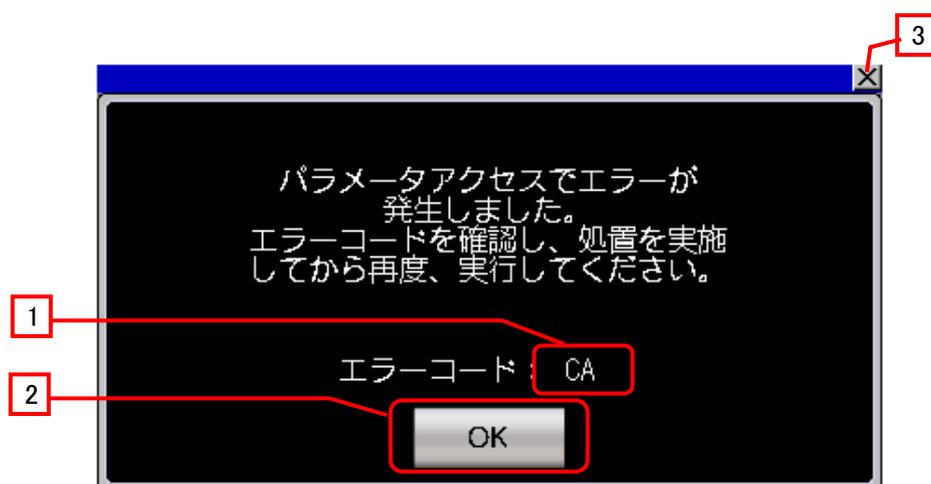
詳細

1. 現在の日時を表示します。
2. 変更したい日時を スイッチで設定します。 スイッチは、長押しすると連続で増減します。リセットスイッチは、秒をリセットします。
3. 設定した日時を GOT の時計データに反映し、1 秒後にウィンドウ画面を閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ 変更する日時の初期値は、ウィンドウ画面を表示した時の日時です。
- ・ 変更する日時の年・月・日・時・分・秒の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。

5.3.30 パラメータアクセスエラー(W-30004)



概要

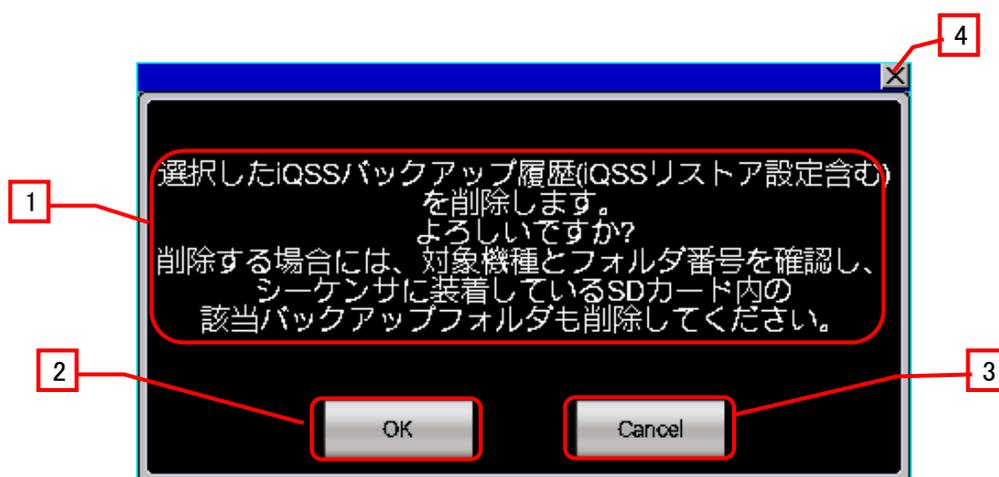
パラメータアクセスでエラーが発生した際に表示します。

詳細

1. 発生中のアラーム、または異常のエラーコードを表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラーコードを表示します。
2. ウィンドウ画面を閉じます。
3. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

5.3.31 データ削除確認ダイアログ(W-30100)



概要

iQSS バックアップ設定、または iQSS バックアップ履歴の削除を確認します。

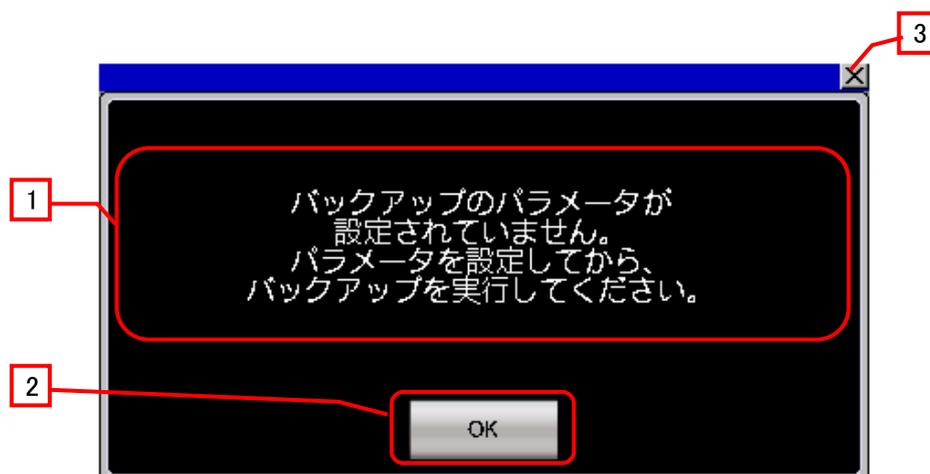
詳細

1. メッセージを表示します。
2. 対象のデータを削除し、ウィンドウ画面を閉じます。
3. ウィンドウ画面を閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ 表示するメッセージは、どのスイッチからウィンドウ画面を開いたかで異なります。

5.3.32 通知ダイアログ(W-30101)



概要

処理結果を通知します。

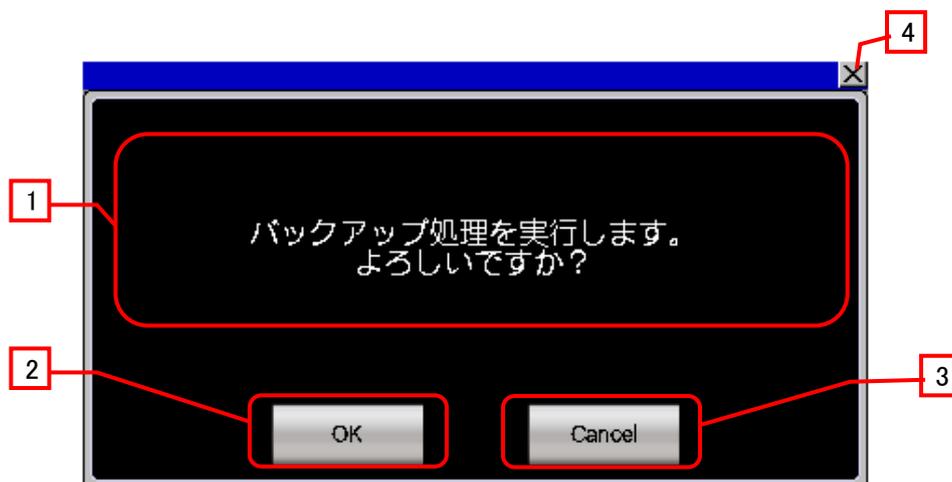
詳細

1. メッセージを表示します。
2. ウィンドウ画面を閉じます。
3. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

・メッセージの内容は、ウィンドウを呼び出したスクリプトによって異なります。スクリプトの詳細は、「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。

5.3.33 実行確認ダイアログ(W-30102)



概要

各種動作をする前に確認をします。

詳細

1. メッセージを表示します。
2. 各種動作を実行し、ウィンドウ画面を閉じます。
3. ウィンドウ画面を閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・メッセージの内容、動作については、表示されるベース画面によって異なります。
 - iQSS バックアップ画面……………iQSS バックアップ実行
 - iQSS バックアップ:進捗画面……………iQSS バックアップ中止
 - iQSS リストア画面……………iQSS リストア実行
 - iQSS リストア:進捗画面……………iQSS リストア中止

5.4 スレーブユニット詳細情報画面对応表

スレーブユニット 形名ナンバー	形名	大分類	ベース画面 No.
100	B281SB-02U-CC20	アズリンカ	B-30006
101	B281SB-02US-CC20	アズリンカ	B-30006
102	B280SB-02U-C1220	アズリンカ	B-30008
103	B280SB-02US-C1220	アズリンカ	B-30008
104	BL287SB-02F-CC20	アズリンカ	B-30007
105	BL287SB-02FS-CC20	アズリンカ	B-30007
106	B298SB-02U-M12	アズリンカ	B-30009
107	B298SB-02US-M12	アズリンカ	B-30009
400	B281PB-02U-CC20	アズリンカ	B-30006
401	B281PB-02US-CC20	アズリンカ	B-30006
402	B280PB-02U-C1220	アズリンカ	B-30008
403	B280PB-02US-C1220	アズリンカ	B-30008
404	BL287PB-02F-CC20	アズリンカ	B-30007
405	BL287PB-02FS-CC20	アズリンカ	B-30007
406	B298PB-02U-M12	アズリンカ	B-30009
407	B298PB-02US-M12	アズリンカ	B-30009
700	B281XB-02U-CC20	アズリンカ	B-30006
701	B281XB-02US-CC20	アズリンカ	B-30006
702	B280XB-02U-C1220	アズリンカ	B-30008
703	B280XB-02US-C1220	アズリンカ	B-30008
704	BL287XB-02F-CC20	アズリンカ	B-30007
705	BL287XB-02FS-CC20	アズリンカ	B-30007
706	B298XB-02U-M12	アズリンカ	B-30009
707	B298XB-02US-M12	アズリンカ	B-30009
1000	B289SB-01AP-CAM20	アズリンクアンプ	B-30010
1050	B289SB-01AP-CAS	アズリンクアンプ	B-30010
1200	B289SB-01AK-CAM20	アズリンクアンプ	B-30011
1250	B289SB-01AK-CAS	アズリンクアンプ	B-30011
1400	B289SB-01AF-CAM20	アズリンクアンプ	B-30012
1450	B289SB-01AF-CAS	アズリンクアンプ	B-30012
2000	B285SB-01-1K1	アズリンクセンサ	B-30013
2300	B283SB-01-1KR	アズリンクセンサ	B-30014
2301	B283SB-01-1KS	アズリンクセンサ	B-30014
2302	B283SB-01-1KC	アズリンクセンサ	B-30015
2303	B283SB-01-1KP	アズリンクセンサ	B-30016
2600	B295SB-01-1K26	アズリンクセンサ	B-30017
2900	B284SB-01-12	アズリンクセンサ	B-30018
A000	BL296SB-08F-3	アズリンクターミナル	B-30019
A001	BL296SB-08FS-3	アズリンクターミナル	B-30019
A300	BL296PB-08F-3	アズリンクターミナル	B-30019
A301	BL296PB-08FS-3	アズリンクターミナル	B-30019
A600	BL296XB-08F-3	アズリンクターミナル	B-30019
A601	BL296XB-08FS-3	アズリンクターミナル	B-30019

5.5 使用デバイス一覧

画面上のスイッチやランプなどに設定されている一部のデバイスは、スクリプトなどの共通設定にも設定されている場合があります。これらのデバイスを一括で変更する場合には[一括変更]の使用を推奨します。[一括変更]の詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。

5.5.1 接続機器のデバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ビット	X0041	パラメータアクセス完了フラグ
	X0042	パラメータアクセス異常
	Y0030	異常フラグクリア指令
	Y0031	アドレス自動認識指令
	Y0040	マスタからスレーブへのパラメータアクセス要求指令
	Y0041	マスタからスレーブへのパラメーター斉読出し指令
	SM1435	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア実行許可ビット
	SM1436	iQ Sensor Solution 対応バックアップ要求ビット
	SM1437	iQ Sensor Solution 対応バックアップ正常完了ビット
	SM1438	iQ Sensor Solution 対応バックアップ異常完了ビット
	SM1439	iQ Sensor Solution 対応リストア要求ビット
	SM1440	iQ Sensor Solution 対応リストア正常完了ビット
	SM1441	iQ Sensor Solution 対応リストア異常完了ビット
	SM1442	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア中止要求ビット
ワード	U03-G0~U03-G15	入力情報エリア(U03-G0 は、デバイスデータ転送の基準デバイスとしても使用)
	U03-G1	デバイスデータ転送の基準デバイスとして使用
	U03-G20	デバイスデータ転送の基準デバイスとして使用
	U03-G40	センシングレベルの基準デバイスとして使用
	U03-G4096 ~ U03-G4111	出力情報エリア
	U03-G8192	異常 ID 個数情報
	U03-G8193 ~ U03-G8320	異常 ID 情報格納エリア
	U03-G8960	接続台数情報
	U03-G9216	接続 ID 個数情報
	U03-G9217 ~ U03-G9344	接続 ID 情報格納エリア
	U03-G9984	アラーム ID 個数情報
	U03-G9985 ~ U03-G10112	アラーム ID 情報格納エリア
	U03-G10256	最新エラーコード格納エリア
	U03-G10320	パラメータアクセス設定
	U03-G10321	パラメータアクセス対象 ID 指定
	U03-G10496 ~ U03-G10751	パラメータ格納先メモリ番号(出力)
	U03-G11008 ~ U03-G11263	パラメータ格納先メモリ番号(入力)
	U03-G12288 ~ U03-G18431	パラメータ格納エリア
	SD1435	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア使用要求デバイス
	SD1436	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア使用権取得状況デバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ワード	SD1437	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア対象機器/実行単位設定デバイス
	SD1438	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア対象フォルダ番号設定デバイス
	SD1439	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア対象設定デバイス(対象ユニット)
	SD1440	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア対象設定デバイス(対象機器 1)
	SD1441	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア対象設定デバイス(対象機器 2)
	SD1444	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア動作設定デバイス
	SD1446	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア状態デバイス
	SD1447	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア実行状況デバイス(総対象機器数)
	SD1448	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア実行状況デバイス(正常完了機器数)
	SD1449	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア実行状況デバイス(異常完了機器数)
	SD1450	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア実行状況デバイス(機器単位進捗)
	SD1451	iQ Sensor Solution 対応バックアップフォルダ番号デバイス
	SD1452	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストアユニットエラー要因
	SD1453	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア対象機器エラー要因

GOT の内部デバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ビット	GB40	スクリプトトリガ(常時 ON)
	GB41	各種ビットデバイスクリア(常時 OFF)
	GB30000	スクリプト No.30005 起動トリガ
	GB30001	スクリプト No.30003 起動トリガ
	GB30002	スクリプト No.30017 起動トリガ
	GB30003	スクリプト No.30004 初回起動スクリプト起動制御フラグ
	GB30004	スクリプト No.30006 起動トリガ
	GB30005	スクリプト No.30007 起動トリガ
	GB30006	スクリプト No.30010 起動トリガ
	GB30007	スクリプト No.30023 初回起動スクリプト起動制御フラグ
	GB30008	スクリプト No.30015 起動トリガ
	GB30009	スクリプト No.30017ID 一致フラグ
	GB30010	スクリプト No.30001 起動トリガ
	GB30011	スクリプト No.30030 起動トリガ
	GB30012	スクリプト No.30031 起動トリガ
	GB30013	スクリプト No.30032 起動トリガ
	GB30014	スクリプト No.30024 起動トリガ
	GB30015	スクリプト No.30025 起動トリガ
	GB30016	OFF 中スクリプト制御フラグ
	GB30017	スクリプト No.30027 初回起動スクリプト起動制御フラグ
	GB30018	スクリプト No.30034 起動トリガ
	GB30019	スクリプト No.30038 起動トリガ
	GB30020	スクリプト No.30017 複合ユニットフラグ
	GB30021	スクリプト No.30026 制御フラグ
	GB30024	パラメータ個別読み出しランプビット
	GB30025	パラメータ個別書き込みランプビット
	GB30026	スクリプト No.30040 起動トリガ
	GB30027	スクリプト No.30041 初回起動スクリプト起動制御フラグ
	GB30028	異常発生フラグ
	GB30029	スクリプト No.30068 起動トリガ
	GB30030	スクリプト No.30069 起動トリガ
	GB30044	パラメーター斉読み出しフラグ
	GB30600	出力判定フラグ
	GB30601	入力判定フラグ
	GB54000	スクリプト No.30046 起動トリガ
	GB54001	スクリプト No.30047 起動トリガ
	GB54002	スクリプト No.30065 起動トリガ
	GB54004	iQSS バックアップ許可フラグ
	GB54005	スクリプト No.30056 起動トリガ
	GB54006	スクリプト No.30058 起動トリガ
	GB54008	スクリプト No.30055 初回起動スクリプト起動制御フラグ
GB54009	スクリプト No.30043、30045 制御フラグ	
GB54010	スクリプト No.30062 起動トリガ	

タイプ	デバイス番号	用途
ビット	GB54011	スクリプト No.30064 起動トリガ
	GB54012	スクリプト No.30058 削除範囲設定フラグ
	GB54013	スクリプト No.30050 起動トリガ
	GB54014	B-30100 画面切替スイッチ動作条件
	GB54016	レシピ No.30001 書き込みトリガ
	GB54017	レシピ No.30001 読み出しトリガ
	GB54018	レシピ No.30002 書き込みトリガ
	GB54019	レシピ No.30002 読み出しトリガ
ワード	GD31000~GD31255	B-30004 スレーブユニット状態表示ランプ
	GD31256~GD31511	B-30003 スレーブユニット状態表示ランプ
	GD31520	B-30003、B-30004 カーソル表示のビットシフト用デバイス
	GD31521	B-30003、B-30004 カーソル表示のオフセット用デバイス
	GD31522	B-30003、B-30004 現在のカーソル位置デバイス
	GD31523	B-30002 オフセット値演算用デバイス
	GD31524	B-30002 入出力チェックデバイス
	GD31525	B-30002 システムマップスクロール用オフセット
	GD31526	B-30002 システムマップ部品表示用オフセット
	GD31528	B-30005 センサー一覧詳細表示用オフセット
	GD31529	B-30005 センサー一覧スクロール用オフセット
	GD31562	デバイスデータ転送 1 外部制御デバイス
	GD31563	デバイスデータ転送 1 外部通知デバイス
	GD31564	デバイスデータ転送 2 外部制御デバイス
	GD31565	デバイスデータ転送 2 外部通知デバイス
	GD31567	デバイスデータ転送 2、デバイスデータ転送 4 のオフセット
	GD31568	デバイスデータ転送 3 外部制御デバイス
	GD31569	デバイスデータ転送 3 外部通知デバイス
	GD31570	デバイスデータ転送 4 外部制御デバイス
	GD31571	デバイスデータ転送 4 外部通知デバイス
	GD31600~GD31606	スクリプト用ワークエリア
	GD31607	B-30006~30019 スレーブユニット形名ナンバー格納デバイス
	GD31608	B-30006~30019 ステータス状態
	GD31609~GD31616	B-30006~30019I/O モニタの部品表示
	GD31617~GD31631	B-30005 ユニットの種類
	GD31633~GD31647	B-30005 ステータス詳細
	GD31649~GD31663	B-30005 ユーザ定義名称
	GD31665~GD31679	B-30005 状態表示ランプ
	GD31681	B-30006~30019 処置方法の表示開始行デバイス
	GD31682~GD31989	B-30006~30019 詳細情報の I/O 用オフセット
	GD31990~GD31997	B-30006~30019 詳細情報の I/O のマスク用デバイス(オブジェクトスクリプト)
	GD32000~GD32007	B-30006~30019 詳細情報の I/O のワードランプステータスデバイス
	GD32008	B-30003、B-30004 カーソル位置表示用デバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ワード	GD33020	スクリプト No.30003 入力/出力エリアチェック用デバイス
	GD35000～GD35127	B-30002 システムマップ表示用デバイス
	GD35128	B-30002 センサタイプ オフセット用デバイス
	GD35130～GD35642	B-30003、B-30004 ユニットタイプ格納用デバイス
	GD35643	B-30005 ユニット情報表示トリガデバイス
	GD40000～GD40015	入力情報エリア
	GD40016～GD40031	出力情報エリア
	GD40032	異常 ID 個数
	GD40033～GD40160	接続 ID 情報格納エリア
	GD40289	接続台数情報
	GD40290	接続 ID 個数
	GD40291～GD40418	接続 ID 情報格納エリア
	GD40547	アラーム個数
	GD40548～GD40675	アラーム ID 情報格納エリア
	GD40804～GD41059	パラメータ格納先メモリ番号(出力)
	GD41060～GD41315	パラメータ格納先メモリ番号(入力)
	GD41316～GD47459	機器パラメータ(一括)
	GD53604～GD53632	機器パラメータ(個別)
	GD54000	B-30101 カーソル表示デバイス
	GD54001	B-30101 データ表示オフセットデバイス
	GD54002	B-30104 カーソル表示デバイス
	GD54003	B-30104 データ表示オフセットデバイス
	GD54004	レシピ動作制御デバイス
	GD54005	B-30101 No.表示デバイス
	GD54006	W-30100～30101 コメント表示デバイス
	GD54007	B-30101 データ移動用オフセットデバイス
	GD54008	B-30104 データ移動用オフセットデバイス
	GD54009	レシピ外部制御デバイス
	GD54010	レシピ No.格納デバイス
	GD54011	レコード No.格納デバイス
	GD54012	レシピ外部通知デバイス
	GD54013	レシピ No.通知デバイス
	GD54014	レコード No.通知デバイス
	GD54015～GD54034	B-30101、B-30102 バックアップ設定ワークエリア
	GD54035～GD54039	B-30102 バックアップ設定コメント表示デバイス
	GD54040～GD54042	B-30103、B-30106 バックアップ/リストア開始時間格納デバイス
	GD54043～GD54062	B-30105 バックアップデータ詳細表示用エリア
	GD54070～GD54074	B-30105 バックアップデータ詳細コメント表示デバイス
	GD54075	スクリプト No.30042 対象機器判定デバイス
	GD54076～GD54085	B-30101 実行単位コメント表示デバイス
	GD54086	B-30101、B-30102 ユニットタイプ選択スイッチ表示フラグ
	GD54087	AnyWireASLINK のバックアップ件数
	GD54088	CC-Link のバックアップ件数

タイプ	デバイス番号	用途
ワード	GD54089	スクリプト No.30042 機器専用画面設定時の I/O No.
	GD54090	レシピ No.30001 レコード No.
	GD54091	レシピ No.30002 レコード No.
	GD54100～GD56199	バックアップ設定格納エリア
	GD56200～GD61599	バックアップ結果格納エリア
	GD62000	ベース画面切換デバイス
	GD62001	オーバーラップウィンドウ 1 画面切換デバイス
	GD62004	オーバーラップウィンドウ 2 画面切換デバイス
	GD62007	オーバーラップウィンドウ 3 画面切換デバイス
	GD62021	言語切り換えデバイス
	GD62022	システム言語切り換えデバイス
	GD62300	時間変更デバイス(年)
	GD62301	時間変更デバイス(月)
	GD62302	時間変更デバイス(日)
	GD62303	時間変更デバイス(時)
	GD62304	時間変更デバイス(分)
	GD62305	時間変更デバイス(秒)
	GS386	プロジェクト/ 画面スクリプト初回動作制御デバイス
	GS513～GSS516	変更時刻デバイス
	GS650～GSS652	現在時刻デバイス
	GS654	タッチ状態外部通知(X 座標)
	GS655	タッチ状態外部通知(Y 座標)
	TMP0 ～ TMP28 、 TMP100 ～ TMP105 、 TMP110 ～ TMP111 、 TMP120 ～ TMP126 、 TMP200 ～ TMP206 、 TMP211 ～ TMP213 、 TMP220 ～ TMP223 、 TMP1000、TMP1001、 TMP1010、TMP1020	スクリプト演算用

5.6 コメント一覧

コメントグループ No.	コメント No.	使用箇所
250	No.1	B-30006～30019
	No.2	B-30006～30019
	No.4	B-30006～30019
	No.8	B-30006～30019
	No.32	B-30006～30019
	No.100	B-30006～30019
	No.101	B-30006～30019
	No.102	B-30006～30019
	No.103	B-30006～30019
	No.104	B-30006～30019
	No.200	B-30006～30019
	No.201	B-30006～30019
	No.202	B-30006～30019
	No.300	B-30006～30019
	No.301	B-30006～30019
	No.302	B-30006～30019
	No.303	B-30006～30019
	No.304	B-30006～30019
	No.305	B-30006～30019
	No.400	B-30006～30019
No.401	B-30006～30019	
No.500	B-30006～30019	
251	「5.4 スレーブユニット詳細情報画面対応表」を参照してください。GOT では、スレーブユニットのユニット形名ナンバーごとにコメント No.や表示するベース画面 No.を設定しています。スレーブユニットのユニット形名ナンバーが A0000 以降については GOT のコメント No.10000 以降に設定しています。(GOT のコメント No.にて、A0000 と設定することはできません。)	
252		
253	No.1～255、512～767	B-30005～30019
254	No.1	B-30002、B-30005～30019
	No.2	B-30002、B-30005～30019
	No.4	B-30002、B-30005～30019
	No.8	B-30002、B-30005～30019
	No.32	B-30002、B-30005～30019
	No.100	B-30002、B-30005～30019、W-30101
	No.101	B-30002、B-30005～30019、W-30101
	No.102	B-30002、B-30005～30019、W-30101
	No.103	B-30002、B-30005～30019、W-30101
	No.104	B-30002、B-30005～30019、W-30101
	No.200	B-30002、B-30005～30019、W-30101
	No.201	B-30002、B-30005～30019、W-30101
	No.202	B-30002、B-30005～30019、W-30101
	No.300	B-30002、B-30005～30019、W-30101
	No.301	B-30002、B-30005～30019、W-30101
	No.302	B-30002、B-30005～30019、W-30101
	No.303	B-30002、B-30005～30019、W-30101
	No.304	B-30002、B-30005～30019、W-30101
	No.305	B-30002、B-30005～30019、W-30101
	No.400	B-30002、B-30005～30019、W-30101

コメントグループ No.	コメント No.	使用箇所
254	No.401	B-30002、B-30005～30019、W-30101
	No.500	B-30002、B-30005～30019、W-30101
	No.18433	W-30101
	No.18434	W-30101
	No.18435	W-30101
	No.18436	W-30101
	No.18437	W-30101
	No.18438	W-30101
	No.18439	W-30101
	No.18440	W-30101
	No.18441	W-30101
	No.32000	W-30101
	No.32001	W-30101
	No.32002	W-30101
	No.32003	W-30101
	No.32004	W-30101
	No.32005	W-30101
	No.32006	W-30101
	No.32007	W-30101
	No.32008	W-30101
	No.32009	W-30101
	No.32010	W-30101
	No.32011	W-30101
	No.32012	W-30101
	No.32013	W-30101
	No.32014	W-30101
	No.32015	W-30101
	No.32016	W-30101
	No.32017	W-30101
	No.32767	B-30002、B-30005～30019
255	No.20	B-30002
	No.22	B-30005
	No.23	B-30005～30019
	No.24	B-30005～30019
	No.25	B-30006～30019
	No.26	B-30002～30019
	No.27	B-30001、B-30002
	No.28	B-30002～30019
	No.29	B-30001～30019
	No.30	B-30001
	No.31	B-30001
	No.32	B-30002～30004
	No.33	B-30002～30004
	No.34	B-30002～30004
	No.35	B-30002～30004
	No.36	B-30002～30005
	No.37	B-30002
	No.38	B-30002～30004、W-30001
	No.39	B-30002～30004
	No.40	B-30002～30005、W-30001、W-30003

コメントグループ No.	コメント No.	使用箇所
255	No.41	B-30002～30019
	No.42	B-30002～30019
	No.43	B-30006～30019
	No.44	-
	No.45	B-30003、B-30004
	No.46	B-30003、B-30004
	No.47	B-30003、B-30004
	No.48	B-30003、B-30004
	No.49	B-30005
	No.50	B-30005
	No.51	B-30005～30019
	No.52	B-30006～30019
	No.53	B-30006～30019
	No.54	B-30006～30019
	No.55	B-30006～30019
	No.56	B-30006～30019
	No.57	B-30006～30019
	No.58	B-30006～30019
	No.59	B-30006、B-30008、B-30009
	No.60	B-30006～30019
	No.61	B-30006～30019
	No.62	B-30010～30015、B-30017、B-30018
	No.63	B-30010～30015、B-30017、B-30018
	No.64	B-30013、B-30018
	No.65	B-30013、B-30018
	No.66	B-30013、B-30018
	No.67	B-30013、B-30018
	No.68	B-30011、B-30013、B-30017、B-30018
	No.69	B-30013、B-30017、B-30018
	No.70	B-30013～30015、B-30017、B-30018
	No.71	B-30013～30015、B-30017、B-30018
	No.72	B-30013、B-30017、B-30018
	No.73	B-30013、B-30017、B-30018
	No.74	B-30013～30015、B-30017、B-30018
	No.75	B-30006～30019
	No.76	B-30006、B-30008、B-30009
	No.77	B-30006、B-30008、B-30009
	No.78	W-30004
	No.79	W-30004
No.80	W-30004	
No.81	W-30003	
No.82	W-30003	
No.83	W-30003	
No.84	W-30003	
No.85	W-30003	
No.86	W-30003	
No.87	W-30003	
No.88	W-30003	
No.89	-	

コメントグループ No.	コメント No.	使用箇所
255	No.90	-
	No.91	B-30003
	No.92	B-30004
	No.93	B-30006~30019
	No.94	B-30001
	No.95	B-30002~30019
	No.96	B-30001、B-30004
	No.97	B-30001、B-30003
	No.98	-
	No.99	B-30100
	No.100	-
	No.101	-
	No.102	-
	No.103	-
	No.104	-
	No.105	-
	No.106	-
	No.107	-
	No.108	-
	No.109	-
	No.110	-
	No.111	-
	No.112	-
	No.113	-
	No.114	-
	No.115	-
	No.116	-
	No.117	B-30010~30012、B-30014、B-30015、B-30017
	No.118	B-30010~30012、B-30014、B-30015、B-30017
	No.119	B-30010~30012、B-30014、B-30015、B-30017
	No.120	B-30010~30012、B-30014、B-30015、B-30017
	No.121	B-30010、B-30012、B-30014、B-30015
	No.122	B-30010、B-30012、B-30014、B-30015
	No.123	B-30010~30012、B-30014、B-30015
	No.124	B-30014、B-30015
	No.125	B-30014、B-30016
	No.126	B-30010~30012、B-30014、B-30015
	No.127	B-30010~30012、B-30014~30016
No.128	W-30002	
No.129	B-30010、B-30012	
No.130	B-30010、B-30012	
No.131	B-30010、B-30012	
No.132	B-30010、B-30012	
No.133	B-30010~30012	
No.134	B-30010~30012	
No.135	B-30010~30012	
No.136	B-30010、B-30012	
No.137	B-30010、B-30012	
No.138	B-30011	

コメントグループ No.	コメント No.	使用箇所
255	No.139	B-30011
	No.140	B-30011
	No.141	B-30011
	No.142	B-30011
	No.143	B-30011
	No.144	B-30014、B-30016
	No.145	B-30006~30019
	No.201	B-30000、B-30100
	No.202	B-30101
	No.203	B-30102
	No.204	B-30103
	No.205	B-30104
	No.206	B-30105
	No.207	B-30106
	No.208	B-30100
	No.209	B-30100
	No.210	B-30101、B-30102、B-30104、B-30105
	No.211	B-30102、B-30103、B-30105、B-30106
	No.212	B-30101~30106
	No.213	B-30103、B-30106
	No.214	B-30101
	No.215	B-30101
	No.216	B-30101
	No.217	B-30101
	No.218	B-30101、B-30104
	No.219	B-30101、B-30103、B-30104、B-30106
	No.220	B-30101、B-30104
	No.221	B-30101、B-30104
	No.222	B-30101、B-30102、B-30104、B-30105
	No.223	B-30102、B-30105
	No.224	B-30102、B-30105
	No.225	B-30101、B-30103、B-30106
	No.226	B-30101、B-30103、B-30106
	No.227	B-30103、B-30106
	No.228	B-30102、B-30105
	No.229	B-30105
	No.230	B-30102、B-30105
	No.231	B-30102
	No.232	B-30103、B-30105
	No.233	B-30103、B-30105
	No.234	B-30102、B-30105
	No.235	B-30102、B-30105
No.236	B-30102	
No.237	B-30103	
No.238	B-30103	
No.239	B-30103、B-30106	
No.240	B-30103、B-30106	
No.241	B-30103、B-30106	
No.242	B-30103、B-30105	

コメントグループ No.	コメント No.	使用箇所
255	No.243	B-30103、B-30105
	No.244	B-30103、B-30105
	No.245	B-30101～30103、B-30105、B-30106
	No.246	B-30103
	No.247	B-30103
	No.248	B-30103
	No.249	B-30104
	No.250	B-30104
	No.251	B-30104
	No.252	B-30106
	No.253	B-30106
	No.254	B-30106
	No.255	B-30106
	No.256	B-30106
	No.257	W-30004、W-30100～30102
	No.258	W-30100、W-30102
	No.259	-
	No.260	-
	No.261	-
	No.262	-
	No.263	-
	No.264	-
	No.265	-
	No.266	-
	No.267	-
	No.268	W-30102
	No.269	W-30102
	No.270	W-30102
	No.271	W-30102
	No.272	W-30100
	No.273	B-30104
	No.274	B-30104
	No.275	B-30101、B-30104
	No.276	B-30101、B-30104
	No.277	B-30101、B-30104
	No.278	B-30104
	No.279	B-30101、B-30104
	No.280	W-30102
	No.281	W-30102
No.282	W-30100	
No.283	B-30102、B-30103、B-30105、B-30106	
No.284	B-30102、B-30103、B-30105、B-30106	
No.285	-	
No.286	B-30103、B-30106	
No.287	B-30101	
No.288	B-30101	
No.289	W-30100	

5.7 デバイスデータ転送一覧

ID:201 転送 1

項目		設定
デバイスデータ転送トリガ	トリガ種別	立上り
	外部制御デバイス	GD31562
	トリガデバイス	GD31562.b0
	転送元先反転フラグ	GD31562.b1
外部通知情報	<input checked="" type="checkbox"/> 外部通知デバイス	GD31563
	デバイスデータ転送処理中通知信号	GD31563.b0
	デバイスデータ転送エラー通知信号	GD31563.b15
デバイス	ブロック数	10
ブロック 1	デバイス形式	符号付き BIN16
	点数	16
	転送元デバイス	U03-G0
	転送先デバイス	GD40000
	オフセット	なし
ブロック 2	デバイス形式	符号付き BIN16
	点数	16
	転送元デバイス	U03-G4096
	転送先デバイス	GD40016
	オフセット	なし
ブロック 3	デバイス形式	符号付き BIN16
	点数	129
	転送元デバイス	U03-G8192
	転送先デバイス	GD40032
	オフセット	なし
ブロック 4	デバイス形式	符号付き BIN16
	点数	1
	転送元デバイス	U03-G8960
	転送先デバイス	GD40289
	オフセット	なし

項目		設定
ブロック 5	デバイス形式	符号付き BIN16
	点数	129
	転送元デバイス	U03-G9216
	転送先デバイス	GD40290
	オフセット	なし
ブロック 6	デバイス形式	符号付き BIN16
	点数	129
	転送元デバイス	U03-G9984
	転送先デバイス	GD40547
	オフセット	なし
ブロック 7	デバイス形式	符号付き BIN16
	点数	256
	転送元デバイス	U03-G10496
	転送先デバイス	GD40804
	オフセット	なし
ブロック 8	デバイス形式	符号付き BIN16
	点数	256
	転送元デバイス	U03-G11008
	転送先デバイス	GD41060
	オフセット	なし
ブロック 9	デバイス形式	ビット
	点数	1
	転送元デバイス	GB41
	転送先デバイス	GD31562.b0
	オフセット	なし
ブロック 10	デバイス形式	ビット
	点数	1
	転送元デバイス	GB41
	転送先デバイス	GB30016
	オフセット	なし

ID:202 転送 2

項 目		設 定
デバイスデータ転送トリガ	トリガ種別	立上り
	外部制御デバイス	GD31564
	トリガデバイス	GD31564.b0
	転送元先反転フラグ	GD31564.b1
外部通知情報	<input checked="" type="checkbox"/> 外部通知デバイス	GD31565
	デバイスデータ転送処理中通知信号	GD31565.b0
	デバイスデータ転送エラー通知信号	GD31565.b15
デバイス	ブロック数	4
ブロック 1	デバイス形式	符号付き BIN16
	点数	1
	転送元デバイス	U03-G0
	転送先デバイス	GD53604
	オフセット	転送元 GD31567
ブロック 2	デバイス形式	符号付き BIN16
	点数	28
	転送元デバイス	U03-G20
	転送先デバイス	GD53605
	オフセット	転送元 GD31567
ブロック 3	デバイス形式	ビット
	点数	1
	転送元デバイス	GB41
	転送先デバイス	GD31564.b0
	オフセット	なし
ブロック 4	デバイス形式	ビット
	点数	1
	転送元デバイス	GB41
	転送先デバイス	GB30021
	オフセット	なし

ID:203 転送 3

項 目		設 定
デバイスデータ転送トリガ	トリガ種別	立上り
	外部制御デバイス	GD31568
	トリガデバイス	GD31568.b0
	転送元先反転フラグ	GD31568.b1
外部通知情報	<input checked="" type="checkbox"/> 外部通知デバイス	GD31569
	デバイスデータ転送処理中通知信号	GD31569.b0
	デバイスデータ転送エラー通知信号	GD31569.b15
デバイス	ブロック数	2
ブロック 1	デバイス形式	符号付き BIN16
	点数	6144
	転送元デバイス	U03-G12288
	転送先デバイス	GD41316
	オフセット	なし
ブロック 2	デバイス形式	ビット
	点数	1
	転送元デバイス	GB41
	転送先デバイス	GD31568.b0
	オフセット	なし

ID:204 転送 4

項 目		設 定
デバイスデータ転送トリガ	トリガ種別	立上り
	外部制御デバイス	GD31570
	トリガデバイス	GD31570.b0
	転送元先反転フラグ	GD31570.b1
外部通知情報	<input checked="" type="checkbox"/> 外部通知デバイス	GD31571
	デバイスデータ転送処理中通知信号	GD31571.b0
	デバイスデータ転送エラー通知信号	GD31571.b15
デバイス	ブロック数	3

項目		設定
ブロック 1	デバイス形式	符号付き BIN16
	点数	19
	転送元デバイス	GD53605
	転送先デバイス	U03-G1
	オフセット	転送先 GD31567
ブロック 2	デバイス形式	ビット
	点数	1
	転送元デバイス	GB40
	転送先デバイス	Y0040
	オフセット	なし
ブロック 3	デバイス形式	ビット
	点数	1
	転送元デバイス	GB41
	転送先デバイス	GD31570.b0
	オフセット	なし

5.8 レシピー一覧

5.8.1 共通設定

外部制御情報	
外部制御デバイス	GD54009
レシピ No.格納デバイス	GD54010
レコード No.格納デバイス	GD54011
外部通知情報	
外部通知デバイス	GD54012
レシピ No.通知デバイス	GD54013
レコード No.通知デバイス	GD54014

5.8.2 個別設定

レシピ No.30001 レシピ 1

項目		設定
レシピファイル	-	使用する
	ドライブ名	A:標準 SD カード
	フォルダ名	Package1
	ファイル名	ARP30001.G2P
トリガデバイス	書き込みトリガデバイス 1	GB54016
	読み出しトリガデバイス 1	GB54017
	レコード No.デバイス	GD54090
ブロック数		1
レコード数		1
ブロック 1	デバイス	GD54100
	デバイス形式	符号付き BIN16
	点数	2100

レシピ No.30002 レシピ 2

項 目		設 定
レシピファイル	-	使用する
	ドライブ名	A:標準 SD カード
	フォルダ名	Package1
	ファイル名	ARP30002.G2P
トリガデバイス	書き込みトリガデバイス 1	GB54018
	読み出しトリガデバイス 1	GB54019
	レコード No.デバイス	GD54091
ブロック数		2
レコード数		1
ブロック 1	デバイス	GD56200
	デバイス形式	符号付き BIN16
	点数	5400
ブロック 2	デバイス	GD54087
	デバイス形式	符号付き BIN16
	点数	2

5.9 スクリプト一覧

項目	設定
プロジェクトスクリプト	有り
画面スクリプト	有り: B-30001~30019、B-30100~30106
オブジェクトスクリプト	有り: B-30006~30019、B-30101、W-30003
スクリプトシンボル	有り
オブジェクトスクリプトシンボル	有り

5.9.1 プロジェクトスクリプト

スクリプト No.	30020	スクリプト名	Script30020
コメント	初回起動制御		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB40
//画面起動時の動作になります。 [w:GS386] = 1; //スクリプト初回動作を抑止します。 set([b:Y41]); //パラメータの一斉読出しを実施します。			
スクリプト No.	30029	スクリプト名	Script30029
コメント	アラーム、エラー情報取得		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	周期 1 秒
//異常、アラームを監視します。 if((([w:GD40032] != [w:U03-G8192]) ([w:GD40547] != [w:U03-G9984])) { set([b:GD31568.b0]); }			
スクリプト No.	30033	スクリプト名	Script30033
コメント	ステータス読み込み		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立下り GD31568.b0
//各種ステータスを読み込みます。 set([b:GD31562.b0]);			
スクリプト No.	30002	スクリプト名	Script30002
コメント	デバイスデータ転送フラグクリア		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中周期 3 秒 GD31562.b0
//デバイスデータ転送のフラグをクリアする処理です。 rst([b:GD31562.b0]);			
スクリプト No.	30011	スクリプト名	Script30011
コメント	デバイスデータ転送フラグクリア		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中周期 3 秒 GD31564.b0
//デバイスデータ転送のフラグをクリアする処理です。 rst([b:GD31564.b0]);			
スクリプト No.	30042	スクリプト名	Script30042
コメント	画面起動時の処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB40
// iQSS バックアップ/リストアサンプル画面の初期化をします。 [w:GS386] = 1; //スクリプト初回起動を抑止します。 [w:GD54005] = 1; //iQSS バックアップの最初の No.を 1 に設定します。			

```

//対象機器を決定します。
[w:GD54075] = 1; //0: 指定なし、1: ASLINK、2: CC-Link
[w:GD54089] = 3; //専用画面として使用する場合は、ここに I/O No.を入力してください。

//iQSS バックアップ画面、iQSS リストア画面の一覧の初回表示時は、
//No.1 にカーソルを表示します。
set([b:GD54000.b0]);
set([b:GD54002.b0]);

//画面起動時、iQSS バックアップ設定、iQSS バックアップ履歴を読み込むための
//スクリプトを起動します。
set([b:GB54010]);

//メニュー画面の画面切換スイッチ動作条件を設定します。
set([b:GB54014]);

```

5.9.2 画面スクリプト

ベース画面 30001

スクリプト No.	30035	スクリプト名	Script30035
コメント	デバイスデータ転送 3 開始		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 Y41
<pre> //デバイスデータ転送でパラメータを内部デバイスに転送します。 if([b:X41] == ON) { set([b:GD31568.b0]); rst([b:Y41]); } </pre>			
スクリプト No.	30041	スクリプト名	Script30041
コメント	ネットワークマップ、センサー一覧表示制御		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB40
<pre> //ネットワークマップとセンサー一覧が初回起動時に表示されないように制御します。 if([b:GB30027] == OFF) { [w:TMP0000] = 0xFFFF; fmov([w:TMP0000],[w:GD35000],128); fmov([w:TMP0000],[w:GD31617],48); set([b:GB30027]); } </pre>			
スクリプト No.	30074	スクリプト名	Script30074
コメント	センサ自動認識		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 Y0031
<pre> //センサ自動認識をします。 if([b:X41] == ON) { //パラメーター斉読み出しのフラグが ON していた場合、自動認識フラグをリセットし、デバイスデータ転送を開始します。 if([b:GB30044] == ON) { rst([b:Y31]); set([b:GD31568.b0]); rst([b:GB30044]); } } }else{ </pre>			

```
//パラメーター斉読み出し開始時にフラグを立てます。
if([b:GB30044] == OFF)
{
    set([b:GB30044]);
}
}
```

ベース画面 30002

スクリプト No.	30023	スクリプト名	Script30023
コメント	B-30002,30005 画面起動時処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB40
<pre>//各種ステータス、またはパラメータを読み出します。 if([b:GB30007] == OFF) { if((([w:U03-G8192] != 0) ([w:U03-G9984] != 0))) { set([b:GD31568.b0]); }else{ set([b:GD31562.b0]); } set([b:GB30007]); } }</pre>			
スクリプト No.	30019	スクリプト名	Script30019
コメント	スクリプト No.30005 起動		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	OFF 中 GD31563.b0
<pre>//各オブジェクトを表示します。 if([b:GB30016] == OFF) { set([b:GB30000]); set([b:GB30016]); } }</pre>			
スクリプト No.	30005	スクリプト名	Script30005
コメント	B-30002 部品表示		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB30000
<pre>//各オブジェクトを表示します。 [w:GD31526] = 0; [w:TMP0001] = 0; [w:TMP0004] = 0; [w:TMP0001] = [w:GD31525]; [w:TMP0009] = 0; //部品表示を言語ごとに切り換えるための設定をします。 if([w:GD62021] > 0) { [w:TMP0009] = [w:GD62021] - 1; } while([w:GD31526] < 32) { //接続状況を確認します。 if((([w:GD40290] != 0) && ([w:TMP0001] < [w:GD40290]))) { [w:GD31600] = [w:GD40291[w:TMP0001]]; //接続 ID } } }</pre>			

セット

```
[w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;

if([w:GD31600] & 0x0200) == 0)
{
    set([b:GB30600]); //出力ビット
    [w:GD31601] = ([w:GD31600] & 0x0200) >> 9;
}
else{
    set([b:GB30601]); //入力ビット
    [w:GD31601] = ([w:GD31600] & 0x0200) >> 9;
}

//機器パラメータ
[w:TMP0004] = [w:GD31600] & 0x00FF; //機器パラメータを取得するためのオフ

if([b:GB30600] == ON)
{
    //出力
    [w:TMP0005] = [w:GD40804[w:TMP0004]];
}
else{
    //入力
    [w:TMP0005] = [w:GD41060[w:TMP0004]];
}
[w:GD31604] = [w:TMP0005] - 12288;

//I/O 点数パターン
[w:TMP0006] = [w:GD31604] + 43; //パラメータのオフセット
[w:TMP0007] = [w:GD41316[w:TMP0006]];
[w:GD31605] = ([w:TMP0007] & 0x00C0) >> 6; //0:入力、1:出力、2:複合
[w:GD31606] = ([w:TMP0007] & 0x003F) + 1; //点数

//ユニット形名ナンバー
[w:TMP0008] = [w:GD31604] + 44; //パラメータのオフセット
[w:GD31607] = [w:GD41316[w:TMP0008]];

//アラーム情報
if([w:GD40547] != 0)
{
    [w:TMP0004] = 0;
    while([w:TMP0004] < [w:GD40547])
    {
        if([w:GD40548[w:TMP0004]] == [w:GD31600])
        {
            [w:GD31602] = 1; //アラーム発生
            break;
        }
        [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
    }
}

//エラー情報
if([w:GD40032] != 0)
{
    [w:TMP0004] = 0;
```

```

while([w:TMP0004] < [w:GD40032])
{
    if([w:GD40033[w:TMP0004]] == [w:GD31600])
    {
        [w:GD31603] = 1; //エラー発生
        break;
    }
    [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
}

//表示します。
if([w:GD31603] == 1)
{
    //エラー発生
    switch([w:GD31605])
    {
        case 0: [w:GD35000[w:GD31526]] = 30030 + [w:TMP0009]; //
                break;
        case 1: [w:GD35000[w:GD31526]] = 30021 + [w:TMP0009]; //
                break;
        case 2: [w:GD35000[w:GD31526]] = 30039 + [w:TMP0009]; //
                break;
    }

    [w:GD35032[w:GD31526]] = 0;
    [w:GD35064[w:GD31526]] = [w:GD31600] & 0x00FF; //ID
    [w:GD35096[w:GD31526]] = [w:GD31607]; //ユニット形名 No.
}

}

//入力
//出力
//複合

```

入力

出力

複合

//入力

//出力

//複合

```

[w:GD35032[w:GD31526]] = 0;
[w:GD35064[w:GD31526]] = [w:GD31600] & 0x00FF; //ID
[w:GD35096[w:GD31526]] = [w:GD31607]; //ユニット形名 No.
}else{
//正常
switch([w:GD31605])
{
case 0: [w:GD35000[w:GD31526]] = 30024 + [w:TMP0009];
//入力
break;

case 1: [w:GD35000[w:GD31526]] = 30015 + [w:TMP0009];
//出力
break;

case 2: [w:GD35000[w:GD31526]] = 30033 + [w:TMP0009];
//複合
break;

}
[w:GD35032[w:GD31526]] = 0;
[w:GD35064[w:GD31526]] = [w:GD31600] & 0x00FF; //ID
[w:GD35096[w:GD31526]] = [w:GD31607]; //ユニット形名 No.
}
}

[w:GD31526] = [w:GD31526] + 1;
rst([b:GB30600]); //出力ビット
rst([b:GB30601]); //入力ビット

//ワークエリアクリア
[w:TMP0004] = 0;
fmov([w:TMP0004],[w:GD31600],5);
}else{
//データがない場合は非表示にします。
[w:GD35000[w:GD31526]] = 0xFFFF;
[w:GD35032[w:GD31526]] = 0xFFFF;
[w:GD35064[w:GD31526]] = 0xFFFF;
[w:GD35096[w:GD31526]] = 0xFFFF;

[w:GD31526] = [w:GD31526] + 1;
rst([b:GB30600]); //出力ビット
rst([b:GB30601]); //入力ビット
}
}

//トリガリセット
rst([b:GB30000]);

```

スクリプト No.	30021	スクリプト名	Script30021
コメント	各種フラグクリア		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	画面を閉じる時

```

//各種フラグをクリアします。
rst([b:GB30006]);
rst([b:GB30007]);

```

rst([b:GB30003]);			
[w:TMP0004] = 0;			
fmov([w:TMP0004],[w:GD31000],512); //各オブジェクトの値を初期化します。(B-30003,4)			
fmov([w:TMP0004],[w:GD31520],3); //カーソルの位置情報をクリアします。(B-30003,4)			
fmov([w:TMP0004],[w:GD31600],8); //ワークエリアをクリアします。			
[w:GD32008] = 0; //カーソル位置情報クリア(B-30003,4)			
//オーバーラップウィンドウを閉じます。			
[w:GD62001] = 0;			
[w:GD62004] = 0;			
[w:GD62007] = 0;			
スクリプト No.	30006	スクリプト名	Script30006
コメント	上スクロール		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB30004
//一覧を上方向にスクロールします。			
if([w:GD31525] != 0)			
{			
[w:GD31525] = [w:GD31525] - 32;			
set([b:GB30000]);			
}			
スクリプト No.	30007	スクリプト名	Script30007
コメント	下スクロール		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB30005
//一覧を下方向にスクロールします。			
if((([w:GD31525] + 32) < [w:U03-G8960]) && ([w:U03-G8960] > 32))			
{			
[w:GD31525] = [w:GD31525] + 32;			
set([b:GB30000]);			
}			
スクリプト No.	30010	スクリプト名	Script30010
コメント	B-30002 詳細画面表示		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	ON 中 GB30006
//表示する詳細画面を決定します。			
[w:TMP0000] = [w:GD31523] & 0x00FF;			
if((([w:GD31524] >= 30015) && ([w:GD31524] <= 30023))			
{			
//出力			
[w:GD31567] = [w:GD40804[w:TMP0000]]; //オフセット			
[w:TMP0001] = [w:TMP0000];			
}else{			
//入力			
[w:GD31567] = [w:GD41060[w:TMP0000]]; //オフセット			
[w:TMP0001] = [w:TMP0000] + 0x0200;			
}			
[w:U03-G10320] = 0; //個別パラメータ読み込み			
[w:U03-G10321] = [w:TMP0001]; //読み込み対象 ID			
//表示するベース画面を選択します。			
switch([w:GD35096[w:GD35128]])			
{			

```
case 0x0100:    [w:GD62000] = 30006;
                break;

case 0x0101:    [w:GD62000] = 30006;
                break;

case 0x0102:    [w:GD62000] = 30008;
                break;

case 0x0103:    [w:GD62000] = 30008;
                break;

case 0x0104:    [w:GD62000] = 30007;
                break;

case 0x0105:    [w:GD62000] = 30007;
                break;

case 0x0106:    [w:GD62000] = 30009;
                break;

case 0x0107:    [w:GD62000] = 30009;
                break;

case 0x0400:    [w:GD62000] = 30006;
                break;

case 0x0401:    [w:GD62000] = 30006;
                break;

case 0x0402:    [w:GD62000] = 30008;
                break;

case 0x0403:    [w:GD62000] = 30008;
                break;

case 0x0404:    [w:GD62000] = 30007;
                break;

case 0x0405:    [w:GD62000] = 30007;
                break;

case 0x0406:    [w:GD62000] = 30009;
                break;

case 0x0407:    [w:GD62000] = 30009;
                break;

case 0x0700:    [w:GD62000] = 30006;
                break;

case 0x0701:    [w:GD62000] = 30006;
                break;
```

```
case 0x0702:    [w:GD62000] = 30008;
                break;

case 0x0703:    [w:GD62000] = 30008;
                break;

case 0x0704:    [w:GD62000] = 30007;
                break;

case 0x0705:    [w:GD62000] = 30007;
                break;

case 0x0706:    [w:GD62000] = 30009;
                break;

case 0x0707:    [w:GD62000] = 30009;
                break;

case 0x1000:    [w:GD62000] = 30010;
                break;

case 0x1050:    [w:GD62000] = 30010;
                break;

case 0x1200:    [w:GD62000] = 30011;
                break;

case 0x1250:    [w:GD62000] = 30011;
                break;

case 0x1400:    [w:GD62000] = 30012;
                break;

case 0x1450:    [w:GD62000] = 30012;
                break;

case 0x2000:    [w:GD62000] = 30013;
                break;

case 0x2300:    [w:GD62000] = 30014;
                break;

case 0x2301:    [w:GD62000] = 30014;
                break;

case 0x2302:    [w:GD62000] = 30015;
                break;

case 0x2303:    [w:GD62000] = 30016;
                break;

case 0x2600:    [w:GD62000] = 30017;
                break;
```

```

case 0x2900:    [w:GD62000] = 30018;
                break;

case 0xA000:    [w:GD62000] = 30019;
                break;

case 0xA001:    [w:GD62000] = 30019;
                break;

case 0xA300:    [w:GD62000] = 30019;
                break;

case 0xA301:    [w:GD62000] = 30019;
                break;

case 0xA600:    [w:GD62000] = 30019;
                break;

case 0xA601:    [w:GD62000] = 30019;
                break;

default:       break;
}

rst([b:GB30006]);

```

ベース画面 30003

スクリプト No.	30004	スクリプト名	Script30004
コメント	B-30003 画面初期化		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB40
<pre> if([b:GB30003] == OFF) { fmov([w:TMP0000],[w:GD31600],10); [w:TMP0110] = 0; //比較用のテンポラリエリアを初期化します。 [w:TMP0111] = 0; //比較用のテンポラリエリアを初期化します。 set([b:GD31562.b0]); //各種パラメータを取得し、部品表示をします。 set([b:GB30003]); //2 回目以降の画面表示時には動作しないようにフラグを立てます。 } </pre>			
スクリプト No.	30008	スクリプト名	Script30008
コメント	スクリプト No.30003 起動		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	OFF 中 GD31563.b0
<pre> //ステータス読み出し後、スクリプト No.30003 を起動します。 if([b:GB30016] == OFF) { set([b:GB30001]); set([b:GB30016]); } </pre>			
スクリプト No.	30003	スクリプト名	Script30003
コメント	B-30003 部品表示		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	ON 中 GB30001

```

//部品の表示をします。
[w:TMP0020] = 0;

while(([w:TMP0020] < [w:GD40289]) && ([w:GD40289] > 0))
{
    //接続 ID 取得
    [w:GD31600] = [w:GD40291[w:TMP0020]];
    [w:TMP0020] = [w:TMP0020] + 1;

    if(([w:GD31600] & 0x0200) == 0)
    {
        set([b:GB30600]); //出力ビット
    }else{
        set([b:GB30601]); //入力ビット
    }

    //アラーム情報
    if([w:GD40547] != 0)
    {
        [w:TMP0004] = 0;
        while([w:TMP0004] < [w:GD40547])
        {
            if([w:GD40548[w:TMP0004]] == [w:GD31600])
            {
                [w:GD31602] = 1; //アラーム発生
                break;
            }
            [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
        }
    }

    //エラー情報
    if([w:GD40032] != 0)
    {
        [w:TMP0004] = 0;
        while([w:TMP0004] < [w:GD40032])
        {
            if([w:GD40033[w:TMP0004]] == [w:GD31600])
            {
                [w:GD31603] = 1; //エラー発生
                break;
            }
            [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
        }
    }

    //機器パラメータ
    [w:TMP0004] = [w:GD31600] & 0x00FF; //機器パラメータを取得するためのオフセット

    if([b:GB30600] == ON)
    {
        //出力
        [w:TMP0005] = [w:GD40804[w:TMP0004]];
        [w:TMP0012] = [w:TMP0004];
    }
}

```

```

}else{
    //入力
    [w:TMP0005] = [w:GD41060[w:TMP0004]];
    [w:TMP0012] = [w:TMP0004] + 0x0100;
}
[w:GD31604] = [w:TMP0005] - 0x3000;

//I/O 点数パターン
[w:TMP0006] = [w:GD31604] + 43;    //パラメータのオフセット
[w:TMP0007] = [w:GD41316[w:TMP0006]];
[w:GD31605] = ([w:TMP0007] & 0x00C0) >> 6; //0:入力、1:出力、2:複合
[w:GD31606] = ([w:TMP0007] & 0x003F) + 1; //点数

//ユニット形名ナンバー
[w:TMP0006] = [w:GD31604] + 44;
[w:GD35130[w:TMP0012]] = [w:GD41316[w:TMP0006]];

//ON/OFF 情報
[w:TMP0008] = [w:GD31600] & 0x00FF;
if([w:GD31605] == 0)    //入力の場合
{
    [w:TMP0004] = 0;

    while([w:TMP0004] < [w:GD31606])
    {
        [w:TMP0009] = [w:TMP0008] / 16;
        [w:TMP0010] = [w:TMP0008] % 16;

        [w:GD33020] = 0x0001;
        [w:GD33020] = [w:GD33020] << [w:TMP0010];

        if([w:GD31603] == 1)    //異常は発生しているかをチェックします。
        {
            [w:GD31256[w:TMP0008]] = 3;    //異常発生&入力 ON
        }
        }else{
            if([w:GD31602] == 1)    //アラームは発生しているかをチェックし
            {
                [w:GD31256[w:TMP0008]] = 2;    //アラーム発生&入力
            }
            }else{
                [w:GD31256[w:TMP0008]] = 1;    //正常
            }
        }
        [w:TMP0008] = [w:TMP0008] + 1;
        [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
    }
}else{
    if([w:GD31605] == 1)    //出力の場合
    {
        [w:TMP0004] = 0;

        while([w:TMP0004] < [w:GD31606])

```

ます。

ON

```

    {
        [w:TMP0009] = [w:TMP0008] / 16;
        [w:TMP0010] = [w:TMP0008] % 16;

        [w:GD33020] = 0x0001;
        [w:GD33020] = [w:GD33020] << [w:TMP0010];

        if([w:GD31603] == 1) //異常は発生しているかをチェックしま
す。
        {
            [w:GD31000[w:TMP0008]] = 3; //異常発生&出力 ON
        }else{
            if([w:GD31602] == 1) //アラームは発生しているかを
チェックします。
            {
                [w:GD31000[w:TMP0008]] = 2; //アラーム
発生&出力 ON
            }else{
                [w:GD31000[w:TMP0008]] = 1; //正常
            }
        }

        [w:TMP0008] = [w:TMP0008] + 1;
        [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
    }
}

}else{
    if([w:GD31605] == 2) //複合の場合
    {
        [w:TMP0004] = 0;
        [w:TMP0011] = [w:GD31606] / 2; //複合は、点数が半分になりま
す。

        while([w:TMP0004] < [w:TMP0011])
        {
            [w:TMP0009] = [w:TMP0008] / 16;
            [w:TMP0010] = [w:TMP0008] % 16;

            [w:GD33020] = 0x0001;
            [w:GD33020] = [w:GD33020] << [w:TMP0010];

            //出力
            if([w:GD31603] == 1) //異常は発生しているかをチェ
ックします。
            {
                [w:GD31000[w:TMP0008]] = 3; //異常発生
&出力 ON
            }else{
                if([w:GD31602] == 1) //アラームは発生して
いるかをチェックします。
                {
                    [w:GD31000[w:TMP0008]] = 2; //
アラーム発生&出力 ON
                }else{
                    [w:GD31000[w:TMP0008]] = 1; //
正常
                }
            }
        }
    }
}

```



```

[w:GD32008] = [w:GD31522] - 256; //カーソル位置表示

if([w:GD31000[w:GD31522]] < 4)
{
    [w:GD31000[w:GD31522]] = [w:GD31000[w:GD31522]] + 4;
}
}

rst([b:GB30001]);

```

スクリプト No.	30021	スクリプト名	Script30021
コメント	各種フラグクリア		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	画面を閉じる時

```

//各種フラグをクリアします。
rst([b:GB30006]);
rst([b:GB30007]);
rst([b:GB30003]);

[w:TMP0004] = 0;
fmov([w:TMP0004],[w:GD31000],512); //各オブジェクトの値を初期化します。(B-30003,4)
fmov([w:TMP0004],[w:GD31520],3); //カーソルの位置情報をクリアします。(B-30003,4)
fmov([w:TMP0004],[w:GD31600],8); //ワークエリアをクリアします。
[w:GD32008] = 0; //カーソル位置情報クリア(B-30003,4)

//オーバーラップウィンドウを閉じます。
[w:GD62001] = 0;
[w:GD62004] = 0;
[w:GD62007] = 0;

```

スクリプト No.	30017	スクリプト名	Script30017
コメント	B-30003 詳細画面表示		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	ON 中 GB30002

```

//カーソル位置の詳細情報画面を表示します。

//仮の ID を求めます。
if([w:GD31522] < 256)
{
    [w:TMP0000] = [w:GD31522]; //出力 ID
}else{
    [w:TMP0000] = [w:GD31522] - 256; //入力 ID
}

if([w:GD31000[w:GD31522]] > 4) //カーソル位置にユニットが存在しているかどうかを判定します。
{
    if([w:GD31522] < 256)
    {
        //出力
        [w:TMP0002] = [w:TMP0000];
        while([w:TMP0002] >= 0)
        {
            if([w:GD31000[w:TMP0002]] != 0)
            {
                //出力
                [w:TMP0001] = 0;
                while([w:TMP0001] < [w:GD40290]) //接続 ID 回数分繰り返します。

```

```

{
    if([w:GD40291[w:TMP0001]] == [w:TMP0002]) //ID の判定
をします。
    {
        set([b:GB30009]); //ID 一致フラグ
        break;
    }else{
        [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
    }
}

//複合の出力側の場合
if([b:GB30009] == OFF)
{
    [w:TMP0001] = 0;
    while([w:TMP0001] < [w:GD40290]) //接続 ID 回数分繰り
返します。
    {
        if([w:GD40291[w:TMP0001]] == ([w:TMP0002] +
0x0200)) //ID を判定します。
        {
            //一致した ID が複合ユニットかどうかを
判定します。
            [w:TMP0010] =
[w:GD41060[w:TMP0002]]; //パラメータ先頭アドレス
            [w:TMP0011] = [w:TMP0010] - 0x3000;
            [w:TMP0012] =
[w:GD41359[w:TMP0011]];
            if((([w:TMP0012] & 0x00C0) >> 6) == 2)
            {
                ラグ
                フラグ
                set([b:GB30009]); //ID 一致フ
                set([b:GB30020]); //複合出力
                break;
            }
            [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
        }else{
            [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
        }
    }
}

if([b:GB30009] == ON) //一致したら、ループを抜けます。
{
    break;
}
}else{
    //接続機器がない場合
    break;
}
}

```

```

        [w:TMP0002] = [w:TMP0002] - 1;
    }

}

}else{
    //入力
    [w:TMP0002] = [w:TMP0000];
    while([w:TMP0002] >= 0)
    {
        [w:GD65535] = [w:TMP0002];
        [w:TMP0001] = 0;
        while([w:TMP0001] < [w:GD40290]) //接続 ID 回数分繰り返します。
        {
            if([w:GD40291[w:TMP0001]] == ([w:TMP0002] + 0x0200)) //ID を判定
            {
                set([b:GB30009]); //ID 一致フラグ
                break;
            }
            }else{
                [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
            }
        }

        if([b:GB30009] == ON) //一致したら、ループを抜けます。
        {
            break;
        }

        [w:TMP0002] = [w:TMP0002] - 1;
    }
}

//一致していた場合、画面表示します。
if([b:GB30009] == ON)
{
    if([w:GD31522] < 256)
    {
        if([b:GB30020] == OFF)
        {
            //出力
            [w:GD31567] = [w:GD40804[w:TMP0002]]; //オフセット
            [w:TMP0003] = [w:TMP0002];
            [w:TMP0004] = [w:TMP0002];
        }
        }else{
            //複合の場合は、入力側を参照します。
            [w:GD31567] = [w:GD41060[w:TMP0002]]; //オフセット
            [w:TMP0003] = [w:TMP0002] + 0x0200;
            [w:TMP0004] = [w:TMP0002] + 0x0100;
        }
    }
}
}else{
    //入力
    [w:GD31567] = [w:GD41060[w:TMP0002]]; //オフセット

```

```

[w:TMP0003] = [w:TMP0002] + 0x0200;
[w:TMP0004] = [w:TMP0002] + 0x0100;
}

[w:U03-G10320] = 0; //個別パラメータ読み込み
[w:U03-G10321] = [w:TMP0003]; //読み込み対象 ID

//表示するベース画面を選択します。
switch([w:GD35130[w:TMP0004]])
{
    case 0x0100: [w:GD62000] = 30006;
                break;

    case 0x0101: [w:GD62000] = 30006;
                break;

    case 0x0102: [w:GD62000] = 30008;
                break;

    case 0x0103: [w:GD62000] = 30008;
                break;

    case 0x0104: [w:GD62000] = 30007;
                break;

    case 0x0105: [w:GD62000] = 30007;
                break;

    case 0x0106: [w:GD62000] = 30009;
                break;

    case 0x0107: [w:GD62000] = 30009;
                break;

    case 0x0400: [w:GD62000] = 30006;
                break;

    case 0x0401: [w:GD62000] = 30006;
                break;

    case 0x0402: [w:GD62000] = 30008;
                break;

    case 0x0403: [w:GD62000] = 30008;
                break;

    case 0x0404: [w:GD62000] = 30007;
                break;

    case 0x0405: [w:GD62000] = 30007;
                break;

    case 0x0406: [w:GD62000] = 30009;
                break;
}

```

```
case 0x0407:    [w:GD62000] = 30009;
                break;

case 0x0700:    [w:GD62000] = 30006;
                break;

case 0x0701:    [w:GD62000] = 30006;
                break;

case 0x0702:    [w:GD62000] = 30008;
                break;

case 0x0703:    [w:GD62000] = 30008;
                break;

case 0x0704:    [w:GD62000] = 30007;
                break;

case 0x0705:    [w:GD62000] = 30007;
                break;

case 0x0706:    [w:GD62000] = 30009;
                break;

case 0x0707:    [w:GD62000] = 30009;
                break;

case 0x1000:    [w:GD62000] = 30010;
                break;

case 0x1050:    [w:GD62000] = 30010;
                break;

case 0x1200:    [w:GD62000] = 30011;
                break;

case 0x1250:    [w:GD62000] = 30011;
                break;

case 0x1400:    [w:GD62000] = 30012;
                break;

case 0x1450:    [w:GD62000] = 30012;
                break;

case 0x2000:    [w:GD62000] = 30013;
                break;

case 0x2300:    [w:GD62000] = 30014;
                break;

case 0x2301:    [w:GD62000] = 30014;
                break;
```

```

        case 0x2302:    [w:GD62000] = 30015;
                        break;

        case 0x2303:    [w:GD62000] = 30016;
                        break;

        case 0x2600:    [w:GD62000] = 30017;
                        break;

        case 0x2900:    [w:GD62000] = 30018;
                        break;

        case 0xA000:    [w:GD62000] = 30019;
                        break;

        case 0xA001:    [w:GD62000] = 30019;
                        break;

        case 0xA300:    [w:GD62000] = 30019;
                        break;

        case 0xA301:    [w:GD62000] = 30019;
                        break;

        case 0xA600:    [w:GD62000] = 30019;
                        break;

        case 0xA601:    [w:GD62000] = 30019;
                        break;

        default:        break;
    }
}

//フラグリセット
rst([b:GB30009]);
rst([b:GB30020]);
}

```

```
rst([b:GB30002]);
```

スクリプト No.	30012	スクリプト名	Script30012
コメント	座標計算(入力) *1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時

```
//タッチした座標から、カーソル位置を割り出します。
```

```

if((([w:TMP0120] != [w:GS654]) || ([w:TMP0121] != [w:GS655])) && (([w:GS654] > Input_X) && ([w:GS655] > Input_Y))
    && (([w:GS654] < Frame_X) && ([w:GS655] < Frame_Y)))
{
    [w:TMP0120] = [w:GS654];
    [w:TMP0121] = [w:GS655];

    if(([b:GD31562.b0] == OFF) && ([b:GB30001] == OFF))

```

```

{
//現在のカーソル位置を保存します。
[w:TMP0122] = [w:GD31522];

//X 座標
//入力か出力で減算する値を変えます。
//入力
[w:TMP0123] = [w:TMP0120] - Input_X;
[w:TMP0124] = [w:TMP0123] / Object_X;
[w:GD31520] = (16 - ([w:TMP0124] + 1)) + 256;

//Y 座標
[w:TMP0125] = [w:TMP0121] - Input_Y;
[w:TMP0126] = [w:TMP0125] / Object_Y;
[w:GD31521] = [w:TMP0126] * 16;

//オフセット
[w:GD31522] = [w:GD31520] + [w:GD31521];

//オフセットの位置が変わらなければ、部品の表示は変化しません。
if([w:TMP0122] != [w:GD31522])
{
//カーソル表示
if([w:GD31000[w:GD31522]] < 4)
{
[w:GD31000[w:GD31522]] = [w:GD31000[w:GD31522]] + 4;
}

//カーソル消去
if([w:GD31000[w:TMP0122]] < 4)
{
[w:GD31000[w:TMP0122]] = 0;
}else{
[w:GD31000[w:TMP0122]] = [w:GD31000[w:TMP0122]] - 4;
}
}
}

[w:GD32008] = [w:GD31522] - 256; //カーソル位置表示
}

```

スクリプト No.	30013	スクリプト名	Script30013
コメント	カーソル表示(左移動)(入力)		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB30010

```

//部品表示の制御をします。

//カーソル位置を計算します。
[w:TMP0020] = [w:GD31522]; //前回のカーソル位置を退避します。

if([w:GD31520] == 271)
{
[w:GD31520] = 256;
}else{
[w:GD31520] = [w:GD31520] + 1;
}

```

```

}

[w:TMP0000] = [w:GD31520];

[w:GD31522] = [w:TMP0000] + [w:GD31521]; //オフセット

if([w:GD31000[w:TMP0020]] >= 4)
{
    [w:GD31000[w:TMP0020]] = [w:GD31000[w:TMP0020]] - 4;
}else{
    [w:GD31000[w:TMP0020]] = 0;
}
[w:GD31000[w:GD31522]] = [w:GD31000[w:GD31522]] + 4;

[w:GD32008] = [w:GD31522] - 256; //カーソル位置表示

```

スクリプト No.	30018	スクリプト名	Script30018
コメント	カーソル表示(右移動)(入力)		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB30011

```

//部品表示の制御をします。

//カーソル位置を計算します。
[w:TMP0020] = [w:GD31522]; //前回のカーソル位置を退避します。

if([w:GD31520] == 256)
{
    [w:GD31520] = 271;
}else{
    [w:GD31520] = [w:GD31520] -1;
}

[w:TMP0000] = [w:GD31520];

[w:GD31522] = [w:TMP0000] + [w:GD31521]; //オフセット

if([w:GD31000[w:TMP0020]] >= 4)
{
    [w:GD31000[w:TMP0020]] = [w:GD31000[w:TMP0020]] - 4;
}else{
    [w:GD31000[w:TMP0020]] = 0;
}
[w:GD31000[w:GD31522]] = [w:GD31000[w:GD31522]] + 4;

[w:GD32008] = [w:GD31522] - 256; //カーソル位置表示

```

スクリプト No.	30022	スクリプト名	Script30022
コメント	カーソル表示(下移動)(入力)		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB30012

```

//部品表示の制御をします。

//カーソル位置を計算します。
[w:TMP0020] = [w:GD31522]; //前回のカーソル位置を退避します。

if([w:GD31521] == 240)
{

```

```

[w:GD31521] = 0;
}else{
[w:GD31521] = [w:GD31521] + 16;
}

[w:GD31522] = [w:GD31520] + [w:GD31521]; //オフセット

if([w:GD31000[w:TMP0020]] >= 4)
{
[w:GD31000[w:TMP0020]] = [w:GD31000[w:TMP0020]] - 4;
}else{
[w:GD31000[w:TMP0020]] = 0;
}
[w:GD31000[w:GD31522]] = [w:GD31000[w:GD31522]] + 4;

[w:GD32008] = [w:GD31522] - 256; //カーソル位置表示

```

スクリプト No.	30036	スクリプト名	Script30036
コメント	カーソル表示(上移動)(入力)		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB30013

```

//部品表示の制御をします。

//カーソル位置を計算します。
[w:TMP0020] = [w:GD31522]; //前回のカーソル位置を退避します。

if([w:GD31521] == 0)
{
[w:GD31521] = 240;
}else{
[w:GD31521] = [w:GD31521] - 16;
}

[w:GD31522] = [w:GD31520] + [w:GD31521]; //オフセット

if([w:GD31000[w:TMP0020]] >= 4)
{
[w:GD31000[w:TMP0020]] = [w:GD31000[w:TMP0020]] - 4;
}else{
[w:GD31000[w:TMP0020]] = 0;
}
[w:GD31000[w:GD31522]] = [w:GD31000[w:GD31522]] + 4;

[w:GD32008] = [w:GD31522] - 256; //カーソル位置表示数を減らします。

```

*1:[スクリプトシンボル]を使用しています。[スクリプトシンボル]については、「5.9.4 スクリプトシンボル」を参照してください。

ベース画面 30004

スクリプト No.	30004	スクリプト名	Script30004
コメント	B-30003 画面初期化		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB40

```

if([b:GB30003] == OFF)
{

```

<pre> fmov([w:TMP0000],[w:GD31600],10); [w:TMP0110] = 0; //比較用のテンポラリエリアを初期化します。 [w:TMP0111] = 0; //比較用のテンポラリエリアを初期化します。 set([b:GD31562.b0]); //各種パラメータを取得し、部品表示をします。 set([b:GB30003]); //2回目以降の画面表示時には動作しないようにフラグを立てます。 } </pre>			
スクリプト No.	30008	スクリプト名	Script30008
コメント	スクリプト No.30003 起動		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	OFF 中 GD31563.b0
<pre> //ステータス読み出し後、スクリプト No.30003 を起動します。 if([b:GB30016] == OFF) { set([b:GB30001]); set([b:GB30016]); } </pre>			
スクリプト No.	30003	スクリプト名	Script30003
コメント	B-30003 部品表示		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	ON 中 GB30001
<pre> //部品の表示をします。 [w:TMP0020] = 0; while(([w:TMP0020] < [w:GD40289]) && ([w:GD40289] > 0)) { //接続 ID 取得 [w:GD31600] = [w:GD40291[w:TMP0020]]; [w:TMP0020] = [w:TMP0020] + 1; if(([w:GD31600] & 0x0200) == 0) { set([b:GB30600]); //出力ビット }else{ set([b:GB30601]); //入力ビット } //アラーム情報 if([w:GD40547] != 0) { [w:TMP0004] = 0; while([w:TMP0004] < [w:GD40547]) { if([w:GD40548[w:TMP0004]] == [w:GD31600]) { [w:GD31602] = 1; //アラーム発生 break; } [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1; } } //エラー情報 if([w:GD40032] != 0) { [w:TMP0004] = 0; } } </pre>			

```

while([w:TMP0004] < [w:GD40032])
{
    if([w:GD40033[w:TMP0004]] == [w:GD31600])
    {
        [w:GD31603] = 1; //エラー発生
        break;
    }
    [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
}
}

//機器パラメータ
[w:TMP0004] = [w:GD31600] & 0x00FF; //機器パラメータを取得するためのオフセット

if([b:GB30600] == ON)
{
    //出力
    [w:TMP0005] = [w:GD40804[w:TMP0004]];
    [w:TMP0012] = [w:TMP0004];
}
else{
    //入力
    [w:TMP0005] = [w:GD41060[w:TMP0004]];
    [w:TMP0012] = [w:TMP0004] + 0x0100;
}
[w:GD31604] = [w:TMP0005] - 0x3000;

//I/O 点数パターン
[w:TMP0006] = [w:GD31604] + 43; //パラメータのオフセット
[w:TMP0007] = [w:GD41316[w:TMP0006]];
[w:GD31605] = ([w:TMP0007] & 0x00C0) >> 6; //0:入力、1:出力、2:複合
[w:GD31606] = ([w:TMP0007] & 0x003F) + 1; //点数

//ユニット形名ナンバー
[w:TMP0006] = [w:GD31604] + 44;
[w:GD35130[w:TMP0012]] = [w:GD41316[w:TMP0006]];

//ON/OFF 情報
[w:TMP0008] = [w:GD31600] & 0x00FF;
if([w:GD31605] == 0) //入力の場合
{
    [w:TMP0004] = 0;

    while([w:TMP0004] < [w:GD31606])
    {
        [w:TMP0009] = [w:TMP0008] / 16;
        [w:TMP0010] = [w:TMP0008] % 16;

        [w:GD33020] = 0x0001;
        [w:GD33020] = [w:GD33020] << [w:TMP0010];

        if([w:GD31603] == 1) //異常は発生しているかをチェックします。
        {
            [w:GD31256[w:TMP0008]] = 3; //異常発生&入力 ON
        }
    }
}
else{

```

```

        if([w:GD31602] == 1)          //アラームは発生しているかをチェックし
ます。
        {
            [w:GD31256[w:TMP0008]] = 2;      //アラーム発生&入力
ON
        }else{
            [w:GD31256[w:TMP0008]] = 1;      //正常
        }
    }
    [w:TMP0008] = [w:TMP0008] + 1;
    [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
}
}else{
    if([w:GD31605] == 1)          //出力の場合
    {
        [w:TMP0004] = 0;

        while([w:TMP0004] < [w:GD31606])
        {
            [w:TMP0009] = [w:TMP0008] / 16;
            [w:TMP0010] = [w:TMP0008] % 16;

            [w:GD33020] = 0x0001;
            [w:GD33020] = [w:GD33020] << [w:TMP0010];

            if([w:GD31603] == 1)      //異常は発生しているかをチェックしま
す。
            {
                [w:GD31000[w:TMP0008]] = 3;      //異常発生&出力 ON
            }else{
                if([w:GD31602] == 1)      //アラームは発生しているかを
チェックします。
                {
                    [w:GD31000[w:TMP0008]] = 2;      //アラーム
発生&出力 ON
                }else{
                    [w:GD31000[w:TMP0008]] = 1;      //正常
                }
            }

            [w:TMP0008] = [w:TMP0008] + 1;
            [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
        }
    }else{
        if([w:GD31605] == 2)          //複合の場合
        {
            [w:TMP0004] = 0;
            [w:TMP0011] = [w:GD31606] / 2;      //複合は、点数が半分になりま
す。

            while([w:TMP0004] < [w:TMP0011])
            {
                [w:TMP0009] = [w:TMP0008] / 16;
                [w:TMP0010] = [w:TMP0008] % 16;
            }
        }
    }
}

```

```

[w:GD33020] = 0x0001;
[w:GD33020] = [w:GD33020] << [w:TMP0010];

//出力
if([w:GD31603] == 1) //異常は発生しているかをチェ
ックします。
{
    [w:GD31000[w:TMP0008]] = 3; //異常発生
&出力 ON
}
else{
    if([w:GD31602] == 1) //アラームは発生して
いるかをチェックします。
{
        [w:GD31000[w:TMP0008]] = 2; //
アラーム発生&出力 ON
    }
    else{
        [w:GD31000[w:TMP0008]] = 1; //
正常
    }
}

//入力
if([w:GD31603] == 1) //異常は発生しているかをチェ
ックします。
{
    [w:GD31256[w:TMP0008]] = 3; //異常発生
&入力 ON
}
else{
    if([w:GD31602] == 1) //アラームは発生して
いるかをチェックします。
{
        [w:GD31256[w:TMP0008]] = 2; //
アラーム発生&入力 ON
    }
    else{
        [w:GD31256[w:TMP0008]] = 1; //
正常
    }
}

[w:TMP0008] = [w:TMP0008] + 1;
[w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
}
}
}
}
}
rst([b:GB30600]);
rst([b:GB30601]);

//ワークエリアクリア
[w:TMP0004] = 0;
fmov([w:TMP0004],[w:GD31600],5);
}

```

```

//カーソルを表示します。
if([w:GD62000] == 30004)
{
    //出力
    [w:GD31520] = 0; //左右
    [w:GD31521] = 0; //上下
    [w:GD31522] = [w:GD31520] + [w:GD31521];
    [w:GD32008] = [w:GD31522]; //カーソル位置表示

    if([w:GD31000[w:GD31522]] < 4)
    {
        [w:GD31000[w:GD31522]] = [w:GD31000[w:GD31522]] + 4;
    }
}
else{
    //入力
    [w:GD31520] = 256; //左右
    [w:GD31521] = 0; //上下
    [w:GD31522] = [w:GD31520] + [w:GD31521];
    [w:GD32008] = [w:GD31522] - 256; //カーソル位置表示

    if([w:GD31000[w:GD31522]] < 4)
    {
        [w:GD31000[w:GD31522]] = [w:GD31000[w:GD31522]] + 4;
    }
}

```

rst([b:GB30001]);

スクリプト No.	30001	スクリプト名	Script30001
コメント	カーソル表示(左移動)		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB30010

```

//部品表示の制御をします。

//カーソル位置の計算をします。
[w:TMP0020] = [w:GD31522]; //前回のカーソル位置を退避します。

if([w:GD31520] == 15)
{
    [w:GD31520] = 0;
}
else{
    [w:GD31520] = [w:GD31520] + 1;
}

[w:TMP0000] = [w:GD31520];

[w:GD31522] = [w:TMP0000] + [w:GD31521]; //オフセット

if([w:GD31000[w:TMP0020]] >= 4)
{
    [w:GD31000[w:TMP0020]] = [w:GD31000[w:TMP0020]] - 4;
}
else{
    [w:GD31000[w:TMP0020]] = 0;
}

[w:GD31000[w:GD31522]] = [w:GD31000[w:GD31522]] + 4;

```

[w:GD32008] = [w:GD31522]; //カーソル位置表示			
スクリプト No.	30030	スクリプト名	Script30030
コメント	カーソル表示(右移動)		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB30011
<pre>//部品表示の制御をします。 //カーソル位置を計算します。 [w:TMP0020] = [w:GD31522]; //前回のカーソル位置を退避します。 if([w:GD31520] == 0) { [w:GD31520] = 15; }else{ [w:GD31520] = [w:GD31520] -1; } [w:TMP0000] = [w:GD31520]; [w:GD31522] = [w:TMP0000] + [w:GD31521]; //オフセット if([w:GD31000[w:TMP0020]] >= 4) { [w:GD31000[w:TMP0020]] = [w:GD31000[w:TMP0020]] - 4; }else{ [w:GD31000[w:TMP0020]] = 0; } [w:GD31000[w:GD31522]] = [w:GD31000[w:GD31522]] + 4;</pre>			
スクリプト No.	30031	スクリプト名	Script30031
コメント	カーソル表示(下移動)		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB30012
<pre>//部品表示の制御をします。 //カーソル位置を計算します。 [w:TMP0020] = [w:GD31522]; //前回のカーソル位置を退避します。 if([w:GD31521] == 240) { [w:GD31521] = 0; }else{ [w:GD31521] = [w:GD31521] + 16; } [w:GD31522] = [w:GD31520] + [w:GD31521]; //オフセット if([w:GD31000[w:TMP0020]] >= 4) { [w:GD31000[w:TMP0020]] = [w:GD31000[w:TMP0020]] - 4; }else{ [w:GD31000[w:TMP0020]] = 0; } [w:GD31000[w:GD31522]] = [w:GD31000[w:GD31522]] + 4;</pre>			

[w:GD32008] = [w:GD31522]; //カーソル位置表示			
スクリプト No.	30032	スクリプト名	Script30032
コメント	カーソル表示(上移動)		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB30013
<pre>//部品表示の制御をします。 //カーソル位置を計算します。 [w:TMP0020] = [w:GD31522]; //前回のカーソル位置を退避します。 if([w:GD31521] == 0) { [w:GD31521] = 240; }else{ [w:GD31521] = [w:GD31521] - 16; } [w:GD31522] = [w:GD31520] + [w:GD31521]; //オフセット if([w:GD31000[w:TMP0020]] >= 4) { [w:GD31000[w:TMP0020]] = [w:GD31000[w:TMP0020]] - 4; }else{ [w:GD31000[w:TMP0020]] = 0; } [w:GD31000[w:GD31522]] = [w:GD31000[w:GD31522]] + 4;</pre>			
スクリプト No.	30021	スクリプト名	Script30021
コメント	各種フラグクリア		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	画面を閉じる時
<pre>//各種フラグをクリアします。 rst([b:GB30006]); rst([b:GB30007]); rst([b:GB30003]); [w:TMP0004] = 0; fmov([w:TMP0004],[w:GD31000],512); //各オブジェクトの値を初期化します。(B-30003,4) fmov([w:TMP0004],[w:GD31520],3); //カーソルの位置情報をクリアします。(B-30003,4) fmov([w:TMP0004],[w:GD31600],8); //ワークエリアをクリアします。 [w:GD32008] = 0; //カーソル位置情報クリア(B-30003,4) //オーバーラップウィンドウを閉じます。 [w:GD62001] = 0; [w:GD62004] = 0; [w:GD62007] = 0;</pre>			
スクリプト No.	30017	スクリプト名	Script30017
コメント	B-30003 詳細画面表示		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	ON 中 GB30002
<pre>//カーソル位置の詳細情報画面を表示します。 //仮の ID を求めます。 if([w:GD31522] < 256) { [w:TMP0000] = [w:GD31522]; //出力 ID</pre>			

```

}else{
    [w:TMP0000] = [w:GD31522] - 256; //入力 ID
}

if([w:GD31000[w:GD31522]] > 4) //カーソル位置にユニットが存在しているかどうかを判定します。
{
    if([w:GD31522] < 256)
    {
        //出力
        [w:TMP0002] = [w:TMP0000];
        while([w:TMP0002] >= 0)
        {
            if([w:GD31000[w:TMP0002]] != 0)
            {
                //出力
                [w:TMP0001] = 0;
                while([w:TMP0001] < [w:GD40290]) //接続 ID 回数分繰り返します。
                {
                    if([w:GD40291[w:TMP0001]] == [w:TMP0002]) //ID の判定
                    をします。
                    {
                        set([b:GB30009]); //ID 一致フラグ
                        break;
                    }else{
                        [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
                    }
                }

                //複合の出力側の場合
                if([b:GB30009] == OFF)
                {
                    [w:TMP0001] = 0;
                    while([w:TMP0001] < [w:GD40290]) //接続 ID 回数分繰り返
                    返します。
                    {
                        if([w:GD40291[w:TMP0001]] == ([w:TMP0002] +
                    0x0200)) //ID を判定します。
                        {
                            //一致した ID が複合ユニットかどうかを
                            判定します。
                            [w:TMP0010] =
                            [w:GD41060[w:TMP0002]]; //パラメータ先頭アドレス
                            [w:TMP0011] = [w:TMP0010] - 0x3000;
                            [w:TMP0012] =
                            [w:GD41359[w:TMP0011]];
                            if((([w:TMP0012] & 0x00C0) >> 6) == 2)
                            {
                                ラグ
                                フラグ
                                set([b:GB30009]); //ID 一致フ
                                set([b:GB30020]); //複合出力
                                break;
                            }
                        }
                    }
                }
            }
        }
    }
}

```

```

    }
    [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
    }else{
    [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
    }
    }
    }
    if([b:GB30009] == ON) //一致したら、ループを抜けます。
    {
        break;
    }
    }else{
    //接続機器がない場合
    break;
    }

    [w:TMP0002] = [w:TMP0002] - 1;
}

}else{
//入力
[w:TMP0002] = [w:TMP0000];
while([w:TMP0002] >= 0)
{
    [w:GD65535] = [w:TMP0002];
    [w:TMP0001] = 0;
    while([w:TMP0001] < [w:GD40290]) //接続 ID 回数分繰り返します。
    {
        if([w:GD40291[w:TMP0001]] == ([w:TMP0002] + 0x0200)) //ID を判定
        {
            set([b:GB30009]); //ID 一致フラグ
            break;
        }else{
            [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
        }
    }

    if([b:GB30009] == ON) //一致したら、ループを抜けます。
    {
        break;
    }

    [w:TMP0002] = [w:TMP0002] - 1;
}
}

//一致していた場合、画面表示します。
if([b:GB30009] == ON)
{

```

```

if([w:GD31522] < 256)
{
    if([b:GB30020] == OFF)
    {
        //出力
        [w:GD31567] = [w:GD40804[w:TMP0002]]; //オフセット
        [w:TMP0003] = [w:TMP0002];
        [w:TMP0004] = [w:TMP0002];
    }else{
        //複合の場合は、入力側を参照します。
        [w:GD31567] = [w:GD41060[w:TMP0002]]; //オフセット
        [w:TMP0003] = [w:TMP0002] + 0x0200;
        [w:TMP0004] = [w:TMP0002] + 0x0100;
    }
}else{
    //入力
    [w:GD31567] = [w:GD41060[w:TMP0002]]; //オフセット
    [w:TMP0003] = [w:TMP0002] + 0x0200;
    [w:TMP0004] = [w:TMP0002] + 0x0100;
}

[w:U03-G10320] = 0; //個別パラメータ読み込み
[w:U03-G10321] = [w:TMP0003]; //読み込み対象 ID

//表示するベース画面を選択します。
switch([w:GD35130[w:TMP0004]])
{
    case 0x0100: [w:GD62000] = 30006;
                break;

    case 0x0101: [w:GD62000] = 30006;
                break;

    case 0x0102: [w:GD62000] = 30008;
                break;

    case 0x0103: [w:GD62000] = 30008;
                break;

    case 0x0104: [w:GD62000] = 30007;
                break;

    case 0x0105: [w:GD62000] = 30007;
                break;

    case 0x0106: [w:GD62000] = 30009;
                break;

    case 0x0107: [w:GD62000] = 30009;
                break;

    case 0x0400: [w:GD62000] = 30006;
                break;
}

```

```
case 0x0401:    [w:GD62000] = 30006;
                break;

case 0x0402:    [w:GD62000] = 30008;
                break;

case 0x0403:    [w:GD62000] = 30008;
                break;

case 0x0404:    [w:GD62000] = 30007;
                break;

case 0x0405:    [w:GD62000] = 30007;
                break;

case 0x0406:    [w:GD62000] = 30009;
                break;

case 0x0407:    [w:GD62000] = 30009;
                break;

case 0x0700:    [w:GD62000] = 30006;
                break;

case 0x0701:    [w:GD62000] = 30006;
                break;

case 0x0702:    [w:GD62000] = 30008;
                break;

case 0x0703:    [w:GD62000] = 30008;
                break;

case 0x0704:    [w:GD62000] = 30007;
                break;

case 0x0705:    [w:GD62000] = 30007;
                break;

case 0x0706:    [w:GD62000] = 30009;
                break;

case 0x0707:    [w:GD62000] = 30009;
                break;

case 0x1000:    [w:GD62000] = 30010;
                break;

case 0x1050:    [w:GD62000] = 30010;
                break;

case 0x1200:    [w:GD62000] = 30011;
                break;
```

```

case 0x1250:    [w:GD62000] = 30011;
                break;

case 0x1400:    [w:GD62000] = 30012;
                break;

case 0x1450:    [w:GD62000] = 30012;
                break;

case 0x2000:    [w:GD62000] = 30013;
                break;

case 0x2300:    [w:GD62000] = 30014;
                break;

case 0x2301:    [w:GD62000] = 30014;
                break;

case 0x2302:    [w:GD62000] = 30015;
                break;

case 0x2303:    [w:GD62000] = 30016;
                break;

case 0x2600:    [w:GD62000] = 30017;
                break;

case 0x2900:    [w:GD62000] = 30018;
                break;

case 0xA000:    [w:GD62000] = 30019;
                break;

case 0xA001:    [w:GD62000] = 30019;
                break;

case 0xA300:    [w:GD62000] = 30019;
                break;

case 0xA301:    [w:GD62000] = 30019;
                break;

case 0xA600:    [w:GD62000] = 30019;
                break;

case 0xA601:    [w:GD62000] = 30019;
                break;

default:       break;
}
}

```

```

//フラグリセット
rst([b:GB30009]);

```

```
rst([b:GB30020]);  
}
```

```
rst([b:GB30002]);
```

スクリプト No.	30009	スクリプト名	Script30009
コメント	座標計算(出力) *1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時

```
//タッチした座標から、カーソル位置を割り出します。
```

```
if((([w:TMP0120] != [w:GS654]) || ([w:TMP0121] != [w:GS655])) && (([w:GS654] > Input_X) && ([w:GS655] > Input_Y))
```

```
&& (([w:GS654] < Frame_X) && ([w:GS655] < Frame_Y)))
```

```
{
```

```
    [w:TMP0120] = [w:GS654];
```

```
    [w:TMP0121] = [w:GS655];
```

```
    if([b:GD31562.b0] == OFF) && ([b:GB30001] == OFF)
```

```
    {
```

```
        //現在のカーソル位置を保存します。
```

```
        [w:TMP0122] = [w:GD31522];
```

```
        //X 座標
```

```
        //入力か出力で減算する値を変えます。
```

```
        //出力
```

```
        [w:TMP0123] = [w:TMP0120] - Input_X;
```

```
        [w:TMP0124] = [w:TMP0123] / Object_X;
```

```
        [w:GD31520] = 16 - ([w:TMP0124] + 1);
```

```
        //Y 座標
```

```
        [w:TMP0125] = [w:TMP0121] - Input_Y;
```

```
        [w:TMP0126] = [w:TMP0125] / Object_Y;
```

```
        [w:GD31521] = [w:TMP0126] * 16;
```

```
        //オフセット
```

```
        [w:GD31522] = [w:GD31520] + [w:GD31521];
```

```
        //オフセットの位置が変わらなければ、部品の表示は変化しません。
```

```
        if([w:TMP0122] != [w:GD31522])
```

```
        {
```

```
            //カーソル表示
```

```
            if([w:GD31000[w:GD31522]] < 4)
```

```
            {
```

```
                [w:GD31000[w:GD31522]] = [w:GD31000[w:GD31522]] + 4;
```

```
            }
```

```
            //カーソル消去
```

```
            if([w:GD31000[w:TMP0122]] < 4)
```

```
            {
```

```
                [w:GD31000[w:TMP0122]] = 0;
```

```
            }else{
```

```
                [w:GD31000[w:TMP0122]] = [w:GD31000[w:TMP0122]] - 4;
```

```
            }
```

```
        }
```

```

}

[w:GD32008] = [w:GD31522];          //カーソル位置表示
}

```

*1:[スクリプトシンボル]を使用しています。[スクリプトシンボル]については、「5.9.4 スクリプトシンボル」を参照してください。

ベース画面 30005

スクリプト No.	30023	スクリプト名	Script30023
コメント	B-30002,30005 画面起動時処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB40
<pre> //各種ステータス、またはパラメータを読み出します。 if([b:GB30007] == OFF) { if((([w:U03-G8192] != 0) ([w:U03-G9984] != 0)) { set([b:GD31568.b0]); }else{ set([b:GD31562.b0]); } set([b:GB30007]); } </pre>			
スクリプト No.	30016	スクリプト名	Script30016
コメント	スクリプト No.30015 起動		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	OFF 中 GD31563.b0
<pre> //ステータス読み込み後、スクリプト No.30015 を起動します。 if([b:GB30016] == OFF) { set([b:GB30008]); set([b:GB30016]); } </pre>			
スクリプト No.	30015	スクリプト名	Script30015
コメント	B-30005 形名等		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB30008
<pre> //各オブジェクトを表示します。 [w:GD31526] = 0; [w:TMP0004] = 0; [w:TMP0006] = 1; [w:TMP0100] = [w:GD31529]; while([w:GD31526] < 15) { //接続状況を確認します。 if((([w:GD40290] != 0) && ([w:TMP0100] < [w:GD40290])) { [w:GD31600] = [w:GD40291[w:TMP0100]]; //接続 ID [w:TMP0100] = [w:TMP0100] + 1; if((([w:GD31600] & 0x0200) == 0) { set([b:GB30600]); //出力ビット [w:GD31601] = ([w:GD31600] & 0x0200) >> 9; </pre>			

```

}else{
    set([b:GB30601]); //入力ビット
    [w:GD31601] = ([w:GD31600] & 0x0200) >> 9;
}

//オフセット
[w:TMP0000] = [w:GD31600] & 0x00FF;

if(([w:GD31600] & 0x0200) == 0)
{
    //出力
    [w:TMP0001] = [w:GD40804[w:TMP0000]];
}else{
    //入力
    [w:TMP0001] = [w:GD41060[w:TMP0000]];
}
[w:GD31604] = [w:TMP0001] - 12288;

//ユニットタイプ
[w:TMP0002] = [w:GD31604] + 43;
[w:GD31617[w:GD31526]] = ([w:GD41316[w:TMP0002]] & 0x00C0) >> 6;

//ユニット形名 No.
[w:TMP0005] = [w:GD31604] + 44;
[w:GD35096[w:GD31526]] = [w:GD41316[w:TMP0005]];

//アラーム情報
if([w:GD40547] != 0)
{
    [w:TMP0004] = 0;
    while([w:TMP0004] < [w:GD40547])
    {
        if([w:GD40548[w:TMP0004]] == [w:GD31600])
        {
            [w:GD31602] = 1; //アラーム発生
            if(([w:U03-G10256] != 304) && (([w:U03-G10256] < 200) ||
([w:U03-G10256] > 202)))
            {
                [w:GD31633[w:GD31526]] = [w:U03-G10256];
            }else{
                [w:TMP0003] = ([w:TMP0001] - 0x3000) + 39;
                [w:GD31633[w:GD31526]] =
[w:GD41316[w:TMP0003]];
            }
            break;
        }
        [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
    }
}

//エラー情報
if([w:GD40032] != 0)
{
    [w:TMP0004] = 0;

```

```

while([w:TMP0004] < [w:GD40032])
{
    if([w:GD40033[w:TMP0004]] == [w:GD31600])
    {
        [w:GD31603] = 1; //エラー発生
        if((([w:U03-G10256] == 304) || (([w:U03-G10256] >= 200) &&
([w:U03-G10256] <= 202)))
        {
            [w:GD31633[w:GD31526]] = [w:U03-G10256];
        }else{
            [w:TMP0003] = ([w:TMP0001] - 0x3000) + 39;
            [w:GD31633[w:GD31526]] =
        }
        break;
    }
    [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
}

//表示します。
if([w:GD31603] == 1)
{
    [w:GD31665[w:GD31526]] = 3; //エラー発生
    [w:GD35032[w:GD31526]] = [w:GD31601]; //入出力
    [w:GD35064[w:GD31526]] = [w:GD31600] & 0x00FF; //ID
    [w:GD31649[w:GD31526]] = [w:GD31600];
    [w:GD35643] = [w:GD35643] | ([w:TMP0006] << [w:GD31526]); //表示条件

}else{
    if([w:GD31602] == 1)
    {
        [w:GD31665[w:GD31526]] = 2; //アラーム発生
        [w:GD35032[w:GD31526]] = [w:GD31601]; //入出力
        [w:GD35064[w:GD31526]] = [w:GD31600] & 0x00FF; //ID
        [w:GD31649[w:GD31526]] = [w:GD31600];
        [w:GD35643] = [w:GD35643] | ([w:TMP0006] << [w:GD31526]); //
表示条件

    }else{
        [w:GD31665[w:GD31526]] = 1; //正常
        [w:GD35032[w:GD31526]] = [w:GD31601]; //入出力
        [w:GD35064[w:GD31526]] = [w:GD31600] & 0x00FF; //ID
        [w:GD31649[w:GD31526]] = [w:GD31600];
        [w:GD31633[w:GD31526]] = 0; //ステータス
        [w:GD35643] = [w:GD35643] | ([w:TMP0006] << [w:GD31526]); //
表示条件

    }
}

[w:GD31526] = [w:GD31526] + 1;
rst([b:GB30600]); //出力ビット
rst([b:GB30601]); //入力ビット

//ワークエリアクリア

```

```

[w:TMP0004] = 0;
fmov([w:TMP0004],[w:GD31600],5);

}elseif
    //データがない場合は非表示。
    [w:GD31665[w:GD31526]] = 0xFFFF;
    [w:GD35032[w:GD31526]] = 0xFFFF;
    [w:GD35064[w:GD31526]] = 0xFFFF;
    [w:GD35096[w:GD31526]] = 0xFFFF;
    [w:GD31617[w:GD31526]] = 0xFFFF;
    [w:GD31649[w:GD31526]] = 0x7FFE;
    [w:GD31633[w:GD31526]] = 24219;
    [w:GD35643] = [w:GD35643] ^ ([w:TMP0006] << [w:GD31526]); //表示条件
    [w:GD31526] = [w:GD31526] + 1;
    rst([b:GB30600]); //出力ビット
    rst([b:GB30601]); //入力ビット
}

//トリガリセット
rst([b:GB30008]);

```

スクリプト No.	30021	スクリプト名	Script30021
-----------	-------	--------	-------------

コメント	各種フラグクリア		
------	----------	--	--

データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	画面を閉じる時
-------	------------	-------	---------

```

//各種フラグをクリアします。
rst([b:GB30006]);
rst([b:GB30007]);
rst([b:GB30003]);

[w:TMP0004] = 0;
fmov([w:TMP0004],[w:GD31000],512); //各オブジェクトの値を初期化します。(B-30003,4)
fmov([w:TMP0004],[w:GD31520],3); //カーソルの位置情報をクリアします。(B-30003,4)
fmov([w:TMP0004],[w:GD31600],8); //ワークエリアをクリアします。
[w:GD32008] = 0; //カーソル位置情報クリア(B-30003,4)

//オーバーラップウィンドウを閉じます。
[w:GD62001] = 0;
[w:GD62004] = 0;
[w:GD62007] = 0;

```

スクリプト No.	30024	スクリプト名	Script30024
-----------	-------	--------	-------------

コメント	前ページ		
------	------	--	--

データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB30014
-------	------------	-------	-------------

```

//一覧を上方向にスクロールします。
if([w:GD31529] > 0)
{
    [w:GD31529] = [w:GD31529] - 15;
    set([b:GB30008]);
}

```

スクリプト No.	30025	スクリプト名	Script30025
-----------	-------	--------	-------------

コメント	次ページ		
------	------	--	--

データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB30015
-------	------------	-------	-------------

```

//一覧を下方向にスクロールします。
if(((w:GD31529] + 15) < [w:U03-G8960]) && ([w:U03-G8960] > 15))

```

```

{
    [w:GD31529] = [w:GD31529] + 15;
    set([b:GB30008]);
}

```

スクリプト No.	30034	スクリプト名	Script30034
コメント	B-30005 詳細画面表示		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	ON 中 GB30018

```

//表示する詳細画面を決定します
[w:TMP0000] = [w:GD31523] & 0x00FF;

if((([w:GD31523] & 0x0200) >> 8) == 0)
{
    //出力
    [w:GD31567] = [w:GD40804[w:TMP0000]]; //オフセット
}else{
    //入力
    [w:GD31567] = [w:GD41060[w:TMP0000]]; //オフセット
}

[w:U03-G10320] = 0; //個別パラメータ読み込み
[w:U03-G10321] = [w:GD31523]; //読み込み対象 ID

//表示するベース画面を選択します。
switch([w:GD35096[w:GD31528]])
{
    case 0x0100: [w:GD62000] = 30006;
                break;

    case 0x0101: [w:GD62000] = 30006;
                break;

    case 0x0102: [w:GD62000] = 30008;
                break;

    case 0x0103: [w:GD62000] = 30008;
                break;

    case 0x0104: [w:GD62000] = 30007;
                break;

    case 0x0105: [w:GD62000] = 30007;
                break;

    case 0x0106: [w:GD62000] = 30009;
                break;

    case 0x0107: [w:GD62000] = 30009;
                break;

    case 0x0400: [w:GD62000] = 30006;
                break;

    case 0x0401: [w:GD62000] = 30006;
                break;
}

```

```
case 0x0402:    [w:GD62000] = 30008;
                break;

case 0x0403:    [w:GD62000] = 30008;
                break;

case 0x0404:    [w:GD62000] = 30007;
                break;

case 0x0405:    [w:GD62000] = 30007;
                break;

case 0x0406:    [w:GD62000] = 30009;
                break;

case 0x0407:    [w:GD62000] = 30009;
                break;

case 0x0700:    [w:GD62000] = 30006;
                break;

case 0x0701:    [w:GD62000] = 30006;
                break;

case 0x0702:    [w:GD62000] = 30008;
                break;

case 0x0703:    [w:GD62000] = 30008;
                break;

case 0x0704:    [w:GD62000] = 30007;
                break;

case 0x0705:    [w:GD62000] = 30007;
                break;

case 0x0706:    [w:GD62000] = 30009;
                break;

case 0x0707:    [w:GD62000] = 30009;
                break;

case 0x1000:    [w:GD62000] = 30010;
                break;

case 0x1050:    [w:GD62000] = 30010;
                break;

case 0x1200:    [w:GD62000] = 30011;
                break;

case 0x1250:    [w:GD62000] = 30011;
                break;
```

```

case 0x1400:    [w:GD62000] = 30012;
                break;

case 0x1450:    [w:GD62000] = 30012;
                break;

case 0x2000:    [w:GD62000] = 30013;
                break;

case 0x2300:    [w:GD62000] = 30014;
                break;

case 0x2301:    [w:GD62000] = 30014;
                break;

case 0x2302:    [w:GD62000] = 30015;
                break;

case 0x2303:    [w:GD62000] = 30016;
                break;

case 0x2600:    [w:GD62000] = 30017;
                break;

case 0x2900:    [w:GD62000] = 30018;
                break;

case 0xA000:    [w:GD62000] = 30019;
                break;

case 0xA001:    [w:GD62000] = 30019;
                break;

case 0xA300:    [w:GD62000] = 30019;
                break;

case 0xA301:    [w:GD62000] = 30019;
                break;

case 0xA600:    [w:GD62000] = 30019;
                break;

case 0xA601:    [w:GD62000] = 30019;
                break;

default:        break;
}

rst([b:GB30018]);

```

ベース画面 30006~30019

スクリプト No.	30027	スクリプト名	Script30027
コメント	パラメータ表示		

データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB40
<pre> if([b:GB30017] == OFF) { //異常情報 if([w:GD40032] != 0) { [w:TMP0000] = 0; while([w:TMP0000] < [w:GD40032]) { if([w:GD40033[w:TMP0000]] == [w:U03-G10321]) { set([b:GB30028]); //異常発生フラグ break; } [w:TMP0000] = [w:TMP0000] + 1; } } if([b:GB30028] == ON) { //異常が発生している場合は、最後に読み出した設定を読み込みます。 set([b:GD31564.b0]); }else{ //異常が発生していない場合は、最新情報を読み込みます。 set([b:Y40]); } [w:GD31681] = 1; //処置方法の開始行を設定します。 set([b:GB30017]); } </pre>			
スクリプト No.	30014	スクリプト名	Script30014
コメント	パラメータアクセス要求指令 OFF		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 Y40
<pre> //パラメータの個別読み出し実施後の処理です。 if([w:U03-G10320] == 0) { set([b:GB30024]); //読み込みフラグ }else{ set([b:GB30025]); //書き込みフラグ } if([b:X42] == ON) { [w:GD62007] = 30004; rst([b:GB30024]); rst([b:GB30025]); rst([b:Y40]); }else{ if([b:X41] == ON) { rst([b:GB30024]); rst([b:GB30025]); set([b:GB30026]); rst([b:Y40]); } } </pre>			

}			
}			
スクリプト No.	30026	スクリプト名	Script30026
コメント	ユニット形名ナンバー修正		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	OFF 中 GD31565.b0
<pre> if([b:GB30021] == OFF) { //ユニット形名ナンバーを 10 進に変換します。 [w:TMP0000] = [w:GD53629] & 0x000F; //1 の位 [w:TMP0001] = (([w:GD53629] & 0x00F0) >> 4) * 10; //10 の位 [w:TMP0002] = (([w:GD53629] & 0x0F00) >> 8) * 100; //100 の位 [w:TMP0003] = (([w:GD53629] & 0xF000) >> 12) * 1000; //1000 の位 [w:GD31607] = [w:TMP0000] + [w:TMP0001] + [w:TMP0002] + [w:TMP0003]; set([b:GB30019]); set([b:GB30021]); } </pre>			
スクリプト No.	30037	スクリプト名	Script30037
コメント	各種フラグクリア(詳細画面)		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	画面を閉じる時
<pre> //各種フラグをクリアします。 rst([b:GB30006]); rst([b:GB30007]); rst([b:GB30003]); rst([b:GB30016]); rst([b:GB30017]); rst([b:GB30021]); rst([b:GB30028]); [w:TMP0004] = 0; fmov([w:TMP0004],[w:GD31000],512); //各オブジェクトの値を初期化します。(B-30002) fmov([w:TMP0004],[w:GD31600],17); //ワークエリアをクリアします。 //オーバーラップウィンドウを閉じます。 [w:GD62001] = 0; [w:GD62004] = 0; [w:GD62007] = 0; </pre>			
スクリプト No.	30038	スクリプト名	Script30038
コメント	ユニット詳細情報表示		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB30019
<pre> //詳細情報の表示をします。 //ワークエリアクリア [w:TMP0004] = 0; fmov([w:TMP0004],[w:GD31600],7); //アラーム情報 if([w:GD40547] != 0) { [w:TMP0004] = 0; } </pre>			

```

while([w:TMP0004] < [w:GD40547])
{
    if([w:GD40548[w:TMP0004]] == [w:GD53604])
    {
        [w:GD31602] = 1; //アラーム発生
        if((([w:U03-G10256] != 305) && (([w:U03-G10256] != 304) && (([w:U03-G10256] <
200) || ([w:U03-G10256] > 202))))))
        {
            [w:GD31608] = [w:U03-G10256];
        }else{
            [w:GD31608] = [w:GD53624];
        }
        break;
    }
    [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
}

//エラー情報
if([w:GD40032] != 0)
{
    [w:TMP0004] = 0;
    while([w:TMP0004] < [w:GD40032])
    {
        if([w:GD40033[w:TMP0004]] == [w:GD53604])
        {
            [w:GD31603] = 1; //エラー発生
            if((([w:U03-G10256] != 305) && (([w:U03-G10256] == 304) || (([w:U03-G10256] >=
200) && ([w:U03-G10256] <= 202))))))
            {
                [w:GD31608] = [w:U03-G10256];
            }else{
                [w:GD31608] = [w:GD53624];
            }
            break;
        }
        [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
    }
}

//機器パラメータ
//I/O 点数パターン
[w:GD31605] = ([w:GD53628] & 0x00C0) >> 6; //0:入力、1:出力、2:複合
[w:GD31606] = ([w:GD53628] & 0x003F) + 1; //点数

//ON/OFF 情報
[w:TMP0008] = 0;
[w:TMP0000] = [w:GD53604] & 0x00FF;
if([w:GD31605] == 0) //入力の場合
{
    [w:TMP0004] = 0;

    while([w:TMP0004] < [w:GD31606])
    {

```

```

[w:TMP0009] = [w:TMP0000] / 16;
[w:TMP0010] = [w:TMP0000] % 16;

[w:GD31682[w:TMP0008]] = [w:TMP0009];
[w:TMP0012] = 0x0001;
[w:GD31990[w:TMP0008]] = [w:TMP0012] << [w:TMP010];

if([w:GD31603] == 1)      //異常は発生しているかをチェックします。
{
    [w:GD31609[w:TMP0008]] = 3;      //異常発生
}else{
    if([w:GD31602] == 1)      //アラームは発生しているかをチェックします。
    {
        [w:GD31609[w:TMP0008]] = 2;      //アラーム発生
    }else{
        [w:GD31609[w:TMP0008]] = 1;      //正常
        [w:GD31608] = 0;
    }
}

[w:TMP0000] = [w:TMP0000] + 1;
[w:TMP0008] = [w:TMP0008] + 1;
[w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
}

}else{
if([w:GD31605] == 1)      //出力の場合
{
    [w:TMP0004] = 0;

    while([w:TMP0004] < [w:GD31606])
    {
        [w:TMP0009] = [w:TMP0000] / 16;
        [w:TMP0010] = [w:TMP0000] % 16;

        [w:GD31682[w:TMP0008]] = [w:TMP0009] + 4096;
        [w:TMP0012] = 0x0001;
        [w:GD31990[w:TMP0008]] = [w:TMP0012] << [w:TMP010];

        if([w:GD31603] == 1)      //異常は発生しているかをチェックします。
        {
            [w:GD31609[w:TMP0008]] = 3;      //異常発生
        }else{
            if([w:GD31602] == 1)      //アラームは発生しているかをチェックし
            {
                [w:GD31609[w:TMP0008]] = 2;      //アラーム発生
            }else{
                [w:GD31609[w:TMP0008]] = 1;      //正常
                [w:GD31608] = 0;
            }
        }
    }

    [w:TMP0000] = [w:TMP0000] + 1;

```

ます。

```

[w:TMP0008] = [w:TMP0008] + 1;
[w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
}
}else{
if([w:GD31605] == 2) //複合の場合
{
[w:TMP0004] = 0;
[w:TMP0011] = [w:GD31606] / 2; //複合は、点数が半分になります。
while([w:TMP0004] < [w:TMP0011])
{
[w:TMP0009] = [w:TMP0000] / 16;
[w:TMP0010] = [w:TMP0000] % 16;

//出力
[w:GD31682[w:TMP0008]] = [w:TMP0009] + 4096;
[w:TMP0012] = 0x0001;
[w:GD31990[w:TMP0008]] = [w:TMP0012] << [w:TMP010];

if([w:GD31603] == 1) //異常は発生しているかをチェックしま
す。
{
[w:GD31609[w:TMP0008]] = 3; //異常発生
}else{
if([w:GD31602] == 1) //異常は発生しているかをチェ
ックします。
{
[w:GD31609[w:TMP0008]] = 2; //アラーム
発生
}else{
[w:GD31609[w:TMP0008]] = 1; //正常
[w:GD31608] = 0;
}
}

//入力
[w:GD31683[w:TMP0008]] = [w:TMP0009];
[w:TMP0012] = 0x0001;
[w:GD31991[w:TMP0008]] = [w:TMP0012] << [w:TMP010];

if([w:GD31603] == 1) //異常は発生しているかをチェックしま
す。
{
[w:GD31610[w:TMP0008]] = 3; //異常発生
}else{
if([w:GD31602] == 1) //アラームは発生しているかを
チェックします。
{
[w:GD31610[w:TMP0008]] = 2; //アラーム
発生
}else{
[w:GD31610[w:TMP0008]] = 1; //正常
[w:GD31608] = 0;
}
}
}

```

<pre> } [w:TMP0000] = [w:TMP0000] + 1; [w:TMP0008] = [w:TMP0008] + 1; [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1; } } } } } rst([b:GB30019]); </pre>			
スクリプト No.	30039	スクリプト名	Script30039
コメント	パラメータ再読み込み		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	OFF 中 GD31563.b0
<pre> //パラメータを再読み込みします。 if([b:GB30016] == OFF) { set([b:GD31564.b0]); set([b:GB30016]); } </pre>			
スクリプト No.	30040	スクリプト名	Script30040
コメント	パラメータ個別読み込み		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB30026
<pre> //パラメータ読み込み後の処理です。 if([w:U03-G10320] == 0) { set([b:GD31564.b0]); }else{ [w:U03-G10320] = 0; set([b:Y40]); } rst([b:GB30026]); </pre>			
スクリプト No.	30068	スクリプト名	Script30068
コメント	機器パラメータ読み出し		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB30029
<pre> //スレーブユニットの詳細情報を読み出します。 //異常情報 if([w:GD40032] != 0) { [w:TMP0000] = 0; while([w:TMP0000] < [w:GD40032]) { if([w:GD40033[w:TMP0000]] == [w:U03-G10321]) { set([b:GB30028]); //異常発生フラグ break; } [w:TMP0000] = [w:TMP0000] + 1; } } </pre>			

```

if([b:GB30028] == ON)
{
    //異常が発生している場合は、エラーメッセージを表示します。
    [w:GD62007] = 30004;
    rst([b:GB30024]);
}else{
    //異常が発生していない場合は、最新情報を読み出します。
    [w:U03-G10320] = 0;
    [w:U03-G10321] = [w:GD53604];
    set([b:Y0040]);
}

```

```
rst([b:GB30029]);
```

スクリプト No.	30069	スクリプト名	Script30069
コメント	機器/パラメータ書き込み		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB30030

```
//スレーブユニットの詳細情報を書き込みます。
```

```

//異常情報
if([w:GD40032] != 0)
{
    [w:TMP0000] = 0;
    while([w:TMP0000] < [w:GD40032])
    {
        if([w:GD40033[w:TMP0000]] == [w:U03-G10321])
        {
            set([b:GB30028]); //異常発生フラグ
            break;
        }
        [w:TMP0000] = [w:TMP0000] + 1;
    }
}

```

```

if([b:GB30028] == ON)
{
    //異常が発生している場合は、エラーメッセージを表示します。
    [w:GD62007] = 30004;
    rst([b:GB30025]);
}else{
    //異常が発生していない場合は、最新情報を書き込みます。
    [w:U03-G10320] = 1;
    [w:U03-G10321] = [w:GD53604];
    set([b:GD31570.b0]);
}

```

```
rst([b:GB30030]);
```

ベース画面 30100

スクリプト No.	30062	スクリプト名	Script30062
コメント	B-30100 iQSS バックアップ設定一覧読み込み		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB54010

```
//プロジェクトスクリプトから、起動されます。
```

```
//iQSS バックアップ設定一覧、iQSS バックアップ履歴一覧をレシピから読み込みます。
```

```
//Aドライブがアクセス可能かどうかをチェックします。
if([b:GS251.b0] == ON)
{
    set([b:GB54016]); //レシピ No.30001 書き込みトリガ
    [w:GD54090] = 1; //レシピ No.30001 レコード No.

    [w:GD54004] = 1; //次データ取得フラグ
}
else{
    rst([b:GB54014]); //画面切換スイッチ動作条件 OFF
    [w:GD54006] = 32015;
    [w:GD62007] = 30101;
}
rst([b:GB54010]);
```

スクリプト No.	30063	スクリプト名	Script30063
コメント	B-30100 レシピ書き込みトリガ OFF		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GD54012.b4

```
//レシピの書き込みトリガを OFF します。

//フラグが立っていた場合は、次のデータを読み込みます。
if([w:GD54004] == 1)
{
    set([b:GB54011]);
}
else{
    rst([b:GB54014]); //画面切換スイッチ動作条件 OFF
}

if([w:GD54013] == 30001)
{
    rst([b:GB54016]); //レシピ No.30001 書き込みトリガ
}
else{
    rst([b:GB54018]); //レシピ No.30002 書き込みトリガ
}

rst([b:GD54012.b4]);
```

スクリプト No.	30064	スクリプト名	Script30064
コメント	B-30100 iQSS バックアップ履歴一覧読み込み		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB54011

```
//iQSS バックアップ履歴を読み込みます。

[w:GD54091] = 1; //レシピ No.30002 レコード No.
set([b:GB54018]); //レシピ No.30002 書き込みトリガ

[w:GD54004] = 0; //フラグクリア

rst([b:GB54011]);
```

ベース画面 30101

スクリプト No.	30046	スクリプト名	Script30046
コメント	B-30101 iQSS バックアップ設定転送		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB54000

```
//iQSS バックアップ設定一覧から、iQSS バックアップのパラメータを編集エリアへ転送します。
[w:TMP0000] = [w:GD54007] * 21;
```

```
[w:GD54100[w:TMP0000]] = [w:GD54007] + 1;
bmov([w:GD54100[w:TMP0000]], [w:GD54015], 20);
[w:GD54086] = [w:GD54120[w:TMP0000]];
```

//対象機種が指定されている場合は、対象機種、I/O No.を代入します。

```
if([w:GD54075] != 0)
```

```
{
```

```
    [w:GD54016] = [w:GD54075];          //対象機種
```

```
    [w:GD54030] = [w:GD54089];        //I/O No.
```

//対象機種が AnyWireASLINK の場合のみ、実行します。

```
if([w:GD54075] == 1)
```

```
{
```

```
    set([b:GD54086.b0]);              //出力、入力/混合を選択するためのフラグです。
```

```
}
```

```
}
```

//フォルダ番号は固定です。

```
[w:GD54029] = -2; //フォルダ番号自動取得
```

```
[w:GD62000] = 30102; //ベース画面切換
```

```
rst([b:GB54000]);
```

スクリプト No.	30057	スクリプト名	Script30057
-----------	-------	--------	-------------

コメント	B-30101 データ削除		
------	---------------	--	--

データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB54006
-------	------------	-------	--------------

//iQSS バックアップ設定一覧から、指定されたデータを削除します。

//データが選択されているかをチェックします。

```
if([w:GD54000] != 0)
```

```
{
```

```
    //オフセット
```

```
    [w:TMP0000] = [w:GD54007] * 21;
```

//選択箇所に、データが存在しない場合、削除しません。

```
if([w:GD54101[w:TMP0000]] != 0)
```

```
{
```

```
    //データをクリアします。
```

```
    [w:TMP0002] = 0;
```

```
    fmov([w:TMP0002], [w:GD54100[w:TMP0000]], 21);
```

```
    [w:GD54090] = 1; //レシピ No.30001 レコード No.
```

```
    set([b:GB54017]); //レシピ No.30001 読み出しトリガ
```

```
}else{
```

```
    [w:GD54006] = 32012;
```

```
    [w:GD62007] = 30101;
```

```
}
```

```
}else{
```

```
    [w:GD54006] = 32012;
```

```
    [w:GD62007] = 30101;
```

```
}
```

```
rst([b:GB54006]);
```

スクリプト No.	30051	スクリプト名	Script30051
コメント	iQSS バックアップ/リストア使用権取得情報チェック		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	周期 1 秒
<pre>//定期的に使用権取得状況をチェックします。 if([w:SD1435] == [w:SD1436]) { set([b:GB54004]); //iQSS バックアップ許可ビット ON }else{ rst([b:GB54004]); //iQSS バックアップ許可ビット OFF }</pre>			
スクリプト No.	30048	スクリプト名	Script30048
コメント	レシピトリガ OFF		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GD54012.b5
<pre>//レシピの読み出しトリガを OFF します。 if([w:GD54013] == 30001) { rst([b:GB54017]); //レシピ No.30001 読み出しトリガ }else{ rst([b:GB54019]); //レシピ No.30002 読み出しトリガ } rst([b:GD54012.b5]);</pre>			
スクリプト No.	30050	スクリプト名	Script30050
コメント	B-30101 iQSS バックアップ前処理 1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB54013
<pre>//iQSS バックアップの前処理です。 //オフセット [w:TMP0000] = [w:GD54007] * 21; //A ドライブにアクセス可能かをチェックします。 if([b:GS251.b0] == ON) { //ユニット種別が 0 の場合は、設定が入っていないのでバックアップしません。 if([w:GD54101[w:TMP0000]] != 0) { //バックアップした件数をチェックします。 //100 件を超えていた場合は、バックアップをする前にメッセージを表示します。 if([w:GD54101[w:TMP0000]] == 1) { //AnyWireASLINK if([w:GD54087] == 100) { [w:GD54006] = 280; }else{ [w:GD54006] = 268; } } }else{ //CC-Link if([w:GD54088] == 100)</pre>			

<pre> [w:GD54006] = 32006; [w:GD62007] = 30101; } rst([b:GB54002]); </pre>			
スクリプト No.	30059	スクリプト名	Script30059
コメント	画面切替時処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	画面を閉じる時
<pre> //各種フラグのクリアをします。 rst([b:GB54008]); rst([b:GB54009]); //オーバーラップウィンドウを閉じます。 [w:GD62001] = 0; [w:GD62004] = 0; [w:GD62007] = 0; </pre>			

ベース画面 30102

スクリプト No.	30047	スクリプト名	Script30047
コメント	B-30102 iQSS バックアップ設定保存		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB54001
<pre> //機器の iQSS バックアップ設定をレシピに保存します。 //Aドライブにアクセス可能かをチェックします。 if([b:GS251.b0] == ON) { //対象機種が設定されているかをチェックします。 if([w:GD54016] != 0) { //実行単位を設定しているかチェックします。 if([w:GD54031] != 0) { //局番、局サブに正しい値が入っているかをチェックします。 if([w:GD54031] == 1) ([w:GD54031] == 2) && ([w:GD54032] >= 0) ([w:GD54031] >= 3) && ([w:GD54032] >= 0) && ([w:GD54033] >= 0)) { //全てのチェックが OK なら、レシピに保存します。 [w:TMP0000] = ([w:GD54015] - 1) * 21; bmov([w:GD54015],[w:GD54100[w:TMP0000]],20); [w:GD54120[w:TMP0000]] = [w:GD54086]; [w:GD54090] = 1; //レシピ No.30001 レコード No. set([b:GB54017]); //レシピ No.30001 読み出しトリガ } }else{ [w:GD54006] = 32011; [w:GD62007] = 30101; } }else{ [w:GD54006] = 32011; [w:GD62007] = 30101; } }else{ </pre>			

<pre> [w:GD54006] = 32009; [w:GD62007] = 30101; } }else{ [w:GD54006] = 32017; [w:GD62007] = 30101; } rst([b:GB54001]); </pre>			
スクリプト No.	30067	スクリプト名	Script30067
コメント	B-30102 レシピトリガ OFF		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GD54012.b5
<pre> //レシピの読み出しトリガを OFF します。 rst([b:GB54017]); //レシピ No.30001 読み出しトリガ [w:GD54006] = 32016; [w:GD62007] = 30101; rst([b:GD54012.b5]); </pre>			
スクリプト No.	30054	スクリプト名	Script30054
コメント	B-30102 コメント表示制御		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre> //CC-Link と ASLINK でコメントを切り換えます。 switch([w:GD54016]) { //ASLINK case 1: [w:GD54035] = 226; //ID or 局 [w:GD54036] = 232; //全 ID or 全局 [w:GD54037] = 233; //ID 指定 or 局指定 [w:GD54038] = 285; //なし or 局サブ [w:GD54039] = 0; //なし or 局サブ指定 break; //CC-Link case 2: [w:GD54035] = 225; //ID or 局 [w:GD54036] = 242; //全 ID or 全局 [w:GD54037] = 243; //ID 指定 or 局指定 [w:GD54038] = 227; //なし or 局サブ [w:GD54039] = 244; //なし or 局サブ指定 break; //その他 default: [w:GD54035] = 0; //ID or 局 [w:GD54036] = 0; //全 ID or 全局 [w:GD54037] = 0; //ID 指定 or 局指定 [w:GD54038] = 0; //なし or 局サブ [w:GD54039] = 0; //なし or 局サブ指定 break; } </pre>			
スクリプト No.	30053	スクリプト名	Script30053
コメント	B-30102 入出力判定		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り/立下り GD54086.b2

```
//AnyWireASLINK 時に、ユニットタイプによって 9 ビット目を OFF/ON します。
```

```
if([b:GD54086.b2] == ON)
{
    [w:GD54032] = [w:GD54032] | 0x0200; //入力/混合
}else{
    [w:GD54032] = [w:GD54032] & 0x00FF; //出力
}
```

ベース画面 30103

スクリプト No.	30055	スクリプト名	Script30055
コメント	B-30103,30106 画面起動時動作		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB40

```
//画面起動時に各種設定を行います。
```

```
//画面表示時のみ起動します。
```

```
if([b:GB54008] == OFF)
{
    //バックアップ実施日時
    [w:GD54040] = [w:GS650];
    [w:GD54041] = [w:GS651];
    [w:GD54042] = [w:GS652];

    set([b:GB54008]);
}
```

スクリプト No.	30060	スクリプト名	Script30060
コメント	B-30103 正常終了		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り SM1437

```
//iQSS バックアップ完了後、結果をレシピに保存します。
```

```
//ASLINK または CC-Link のどちらかが 100 件を超えていた場合、一番古いバックアップ履歴を削除します。
```

```
//ただし、専用画面として作成していた場合は動作しません。
```

```
if([w:GD54075] == 0)
{
    if(([w:GD54087] == 100) && (([w:SD1437] & 0x00FF) == 1))
    {
        [w:TMP0001] = 0;
        [w:TMP0003] = 0;
        //全履歴から ASLINK の履歴を検索します。
        while([w:TMP0001] <= 199)
        {
            [w:TMP0002] = [w:TMP0001] * 27; //オフセット
            if([w:GD56201[w:TMP0002]] == 1)
            {
                [w:TMP0003] = [w:TMP0003] + 1;
                if([w:TMP0003] == 100)
                {
                    //履歴が 100 件目に来たらループを抜ける
                    break;
                }
            }
            [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
        }
    }
}
```

```

[w:TMP0004] = 0;
fmov([w:TMP0004],[w:GD56200[w:TMP0002]],27);

//削除した箇所より後ろのデータを前詰めにします。
while([w:TMP0001] < 199)
{
    [w:TMP0002] = [w:TMP0001] * 27;    //オフセット
    [w:TMP0005] = ([w:TMP0001] + 1) * 27;//コピー先オフセット

    bmov([w:GD56200[w:TMP0005]], [w:GD56200[w:TMP0002]],27);

    [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
}
}

}else{
if(([w:GD54088] == 100) && (([w:SD1437] & 0x00FF) == 2))
{
    [w:TMP0001] = 0;
    [w:TMP0003] = 0;
    //全履歴から CC-Link の履歴を検索します。
    while([w:TMP0001] <= 199)
    {
        [w:TMP0002] = [w:TMP0001] * 27;    //オフセット
        if([w:GD56201[w:TMP0002]] == 2)
        {
            [w:TMP0003] = [w:TMP0003] + 1;
            if([w:TMP0003] == 100)
            {
                //履歴が 100 件目に来たらループを抜けます。
                break;
            }
        }
        [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
    }

    [w:TMP0004] = 0;
    fmov([w:TMP0004],[w:GD56200[w:TMP0002]],27);

    //削除した箇所より後ろのデータを前詰めにします。
    while([w:TMP0001] < 199)
    {
        [w:TMP0002] = [w:TMP0001] * 27;    //オフセット
        [w:TMP0005] = ([w:TMP0001] + 1) * 27;//コピー先オフセット

        bmov([w:GD56200[w:TMP0005]], [w:GD56200[w:TMP0002]],27);

        [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
    }
}
}

//オフセット

```

```

if(([w:GD54075] == 1) || ([w:GD54075] == 2))
{
    //ASLINK or CC-Link 専用画面
    [w:TMP0001] = 99;
}else{
    //汎用画面
    [w:TMP0001] = 199;
}

//iQSS バックアップの結果を降順に格納します。
while([w:TMP0001] > 0)
{
    [w:TMP0000] = [w:TMP0001] * 27;
    [w:TMP0002] = ([w:TMP0001] - 1) * 27;

    bmov([w:GD56200[w:TMP0002]], [w:GD56200[w:TMP0000]], 27);
    [w:GD56200[w:TMP0000]] = [w:TMP0001] + 1;

    [w:TMP0001] = [w:TMP0001] - 1;
}

//No.
[w:GD56200] = 1;

//SD1437:iQSS バックアップ/リストア対象機種/実行単位設定
[w:GD56201] = [w:SD1437] & 0x00FF;
[w:GD56216] = ([w:SD1437] & 0xFF00) >> 8;

//設定名称
bmov([w:GD54017], [w:GD56202], 12);

//SD1451:iQSS:バックアップフォルダ番号
[w:GD56214] = [w:SD1451];

//SD1439:iQSS バックアップ/リストア対象設定(対象ユニット I/O 番号)
[w:GD56215] = [w:SD1439];

//SD1440:iQSS バックアップ/リストア対象設定(対象機器 1 ASLINK:ID 番号、CC-Link:局番)
[w:GD56217] = [w:SD1440];

//SD1441:iQSS バックアップ/リストア対象設定(対象機器 2 ASLINK:未使用、CC-Link:サブ局番)
[w:GD56218] = [w:SD1441];

//SD1444:iQSS バックアップ/リストア動作設定
[w:GD56219] = [w:SD1444];

//iQSS バックアップ実施日時
[w:GD56220] = [w:GD54040];
[w:GD56221] = [w:GD54041];
[w:GD56222] = [w:GD54042];

//SD1447:iQSS バックアップ/リストア対象機器数
[w:GD56223] = [w:SD1447];

```

```
//SD1448:iQSS バックアップ/リストア正常完了機器数
```

```
[w:GD56224] = [w:SD1448];
```

```
//SD1449:iQSS バックアップ/リストア異常完了機器数
```

```
[w:GD56225] = [w:SD1449];
```

```
//iQSS バックアップ件数
```

```
if([w:GD56201] == 1)
```

```
{
```

```
    //AnyWireASLINK
```

```
    if([w:GD54087] >= 100)
```

```
    {
```

```
        [w:GD54087] = 100;
```

```
    }else{
```

```
        [w:GD54087] = [w:GD54087] + 1;
```

```
    }
```

```
}else{
```

```
    //CC-LINK
```

```
    if([w:GD54088] >= 100)
```

```
    {
```

```
        [w:GD54088] = 100;
```

```
    }else{
```

```
        [w:GD54088] = [w:GD54088] + 1;
```

```
    }
```

```
}
```

```
//レシピへ保存します
```

```
[w:GD54091] = 1; //レシピ No.30002 レコード No.
```

```
set([b:GB54019]); //レシピ No.30002 読み出しトリガ
```

```
//中断したかどうかで、メッセージを変えます。
```

```
if([b:SM1442] == ON)
```

```
{
```

```
    [w:GD54006] = 32002; //バックアップ中断メッセージ
```

```
}else{
```

```
    [w:GD54006] = 32000; //バックアップ成功メッセージ
```

```
}
```

```
[w:GD62007] = 30101; //通知ダイアログ
```

スクリプト No.	30043	スクリプト名	Script30043
コメント	B-30103 異常終了		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 SM1438

```
//iQSS バックアップ完了後、結果をレシピに保存します。
```

```
if([b:GB54009] == OFF)
```

```
{
```

```
    //フォルダが作成されない場合は、履歴に残しません。
```

```
    if((([w:SD1447] != 0) && ([w:SD1448] != 0))
```

```
    {
```

```
        //ASLINK または CC-Link のどちらかが 100 件を超えていた場合、一番古いバックアップ履歴を削除します。
```

```
        //ただし、専用画面として作成していた場合は動作しません。
```

```
        if([w:GD54075] == 0)
```

```
        {
```

```
            if((([w:GD54087] == 100) && (([w:SD1437] & 0x00FF) == 1))
```

ます。

ープを抜けます。

```
{
    [w:TMP0001] = 0;
    [w:TMP0003] = 0;
    //全履歴から ASLINK の履歴を検索します。
    while([w:TMP0001] <= 199)
    {
        [w:TMP0002] = [w:TMP0001] * 27;    //オフセット
        if([w:GD56201[w:TMP0002]] == 1)
        {
            [w:TMP0003] = [w:TMP0003] + 1;
            if([w:TMP0003] == 100)
            {
                //履歴が 100 件目に来たらループを抜け
                break;
            }
        }
        [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
    }

    [w:TMP0004] = 0;
    fmov([w:TMP0004],[w:GD56200[w:TMP0002]],27);

    //削除した箇所より後ろのデータを前詰めにします。
    while([w:TMP0001] < 199)
    {
        [w:TMP0002] = [w:TMP0001] * 27;    //オフセット
        [w:TMP0005] = ([w:TMP0001] + 1) * 27;//コピー先オフセット

        bmov([w:GD56200[w:TMP0005]], [w:GD56200[w:TMP0002]], 27);

        [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
    }

}

}else{
    if(([w:GD54088] == 100) && (([w:SD1437] & 0x00FF) == 2))
    {
        [w:TMP0001] = 0;
        [w:TMP0003] = 0;
        //全履歴から CC-Link の履歴を検索します。
        while([w:TMP0001] <= 199)
        {
            [w:TMP0002] = [w:TMP0001] * 27;    //オフセット
            if([w:GD56201[w:TMP0002]] == 2)
            {
                [w:TMP0003] = [w:TMP0003] + 1;
                if([w:TMP0003] == 100)
                {
                    //履歴が 100 件目に来たらル
                    break;
                }
            }
        }
    }
}
```

オフセット

```
[w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
}

[w:TMP0004] = 0;
fmov([w:TMP0004],[w:GD56200[w:TMP0002]],27);

//削除した箇所より後ろのデータを前詰めにします。
while([w:TMP0001] < 199)
{
    [w:TMP0002] = [w:TMP0001] * 27; //オフセット
    [w:TMP0005] = ([w:TMP0001] + 1) * 27;//コピー先

    bmov([w:GD56200[w:TMP0005]], [w:GD56200[w:TMP0002]], 27);

    [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
}
}
}

//オフセット算出
if(([w:GD54075] == 1) || ([w:GD54075] == 2))
{
    //ASLINK or CC-Link 専用画面
    [w:TMP0001] = 99;
}
else{
    //汎用画面
    [w:TMP0001] = 199;
}

//iQSS バックアップの結果を降順に格納します。
while([w:TMP0001] > 0)
{
    [w:TMP0000] = [w:TMP0001] * 27;
    [w:TMP0002] = ([w:TMP0001] - 1) * 27;

    bmov([w:GD56200[w:TMP0002]], [w:GD56200[w:TMP0000]], 27);
    [w:GD56200[w:TMP0000]] = [w:TMP0001] + 1;

    [w:TMP0001] = [w:TMP0001] - 1;
}

//No.
[w:GD56200] = 1;

//SD1437:iQSS バックアップ/リストア対象機種/実行単位設定
[w:GD56201] = [w:SD1437] & 0x00FF;
[w:GD56216] = ([w:SD1437] & 0xFF00) >> 8;

//設定名称
bmov([w:GD54017], [w:GD56202], 12);
```

局番)

サブ局番)

```
//SD1451:iQSS バックアップフォルダ番号
[w:GD56214] = [w:SD1451];

//SD1439:iQSS バックアップ/リストア対象設定(対象ユニット I/O 番号)
[w:GD56215] = [w:SD1439];

//SD1440:iQSS バックアップ/リストア対象設定(対象機器 1 ASLINK:ID 番号、CC-Link:
[w:GD56217] = [w:SD1440];

//SD1441:iQSS バックアップ/リストア対象設定(対象機器 2 ASLINK:未使用、CC-Link:
[w:GD56218] = [w:SD1441];

//SD1444:iQSS バックアップ/リストア動作設定
[w:GD56219] = [w:SD1444];

//iQSS バックアップ実施日時
[w:GD56220] = [w:GD54040];
[w:GD56221] = [w:GD54041];
[w:GD56222] = [w:GD54042];

//SD1447:iQSS バックアップ/リストア対象機器数
[w:GD56223] = [w:SD1447];

//SD1448:iQSS バックアップ/リストア正常完了機器数
[w:GD56224] = [w:SD1448];

//SD1449:iQSS バックアップ/リストア異常完了機器数
[w:GD56225] = [w:SD1449];

//iQSS バックアップ件数
if([w:GD56201] == 1)
{
    //AnyWireASLINK
    if([w:GD54087] >= 100)
    {
        [w:GD54087] = 100;
    }else{
        [w:GD54087] = [w:GD54087] + 1;
    }
}else{
    //CC-Link
    if([w:GD54088] >= 100)
    {
        [w:GD54088] = 100;
    }else{
        [w:GD54088] = [w:GD54088] + 1;
    }
}

//レシピへ保存します。
[w:GD54091] = 1; //レシピ No.30002 レコード No.
set([b:GB54019]); //レシピ No.30002 読み出しトリガ
```

```

}

if([w:SD1452] != 0)
{
    if([w:SD1452] == 16894)
    {
        [w:GD54006] = 32001; //バックアップ失敗メッセージ
        [w:GD62007] = 30101; //通知ダイアログ
    }else{
        [w:GD54006] = [w:SD1452]; //バックアップ失敗メッセージ
        [w:GD62007] = 30101; //通知ダイアログ
    }
}
}

if([w:SD1453] != 0)
{
    [w:GD54006] = [w:SD1453]; //バックアップ失敗メッセージ
    [w:GD62007] = 30101; //通知ダイアログ
}
}

set([b:GB54009]);
}

```

スクリプト No.	30048	スクリプト名	Script30048
コメント	レシピトリガ OFF		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GD54012.b5

```

//レシピの読み出しトリガを OFF します。

if([w:GD54013] == 30001)
{
    rst([b:GB54017]); //レシピ No.30001 読み出しトリガ
}else{
    rst([b:GB54019]); //レシピ No.30002 読み出しトリガ
}

rst([b:GD54012.b5]);

```

スクリプト No.	30059	スクリプト名	Script30059
コメント	画面切替時処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	画面を閉じる時

```

//各種フラグのクリアをします。

rst([b:GB54008]);
rst([b:GB54009]);

//オーバーラップウィンドウを閉じます。
[w:GD62001] = 0;
[w:GD62004] = 0;
[w:GD62007] = 0;

```

スクリプト No.	30065	スクリプト名	Script30065
コメント	B-30103、30106 iQSS バックアップ/リストア中止		

データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB54002
<pre>//iQSS バックアップ、または、iQSS リストアを中断します。 set([b:SM1442]); //iQSS バックアップ/リストア中止要求 rst([b:GB54002]);</pre>			

ベース画面 30104

スクリプト No.	30056	スクリプト名	Script30056
コメント	B-30104 iQSS リストア設定確認		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB54005
<pre>//iQSS バックアップの内容を確認します。 [w:TMP0000] = ([w:GD54008] * 27) + [w:GD54003]; bmov([w:GD56200[w:TMP0000]], [w:GD54043], 20); [w:GD62000] = 30105; rst([b:GB54005]);</pre>			
スクリプト No.	30058	スクリプト名	Script30058
コメント	B-30104 データ削除		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB54006
<pre>//iQSS バックアップ履歴一覧から、指定されたデータを削除後、一覧を前詰めにします。 //全件削除、または指定範囲の削除かをチェックします。 if([b:GB54012] == OFF) { //データが選択されているかをチェックします。 if([w:GD54002] != 0) { //オフセット [w:TMP0000] = ([w:GD54008] * 27) + [w:GD54003]; //コピー元のオフセット [w:TMP0001] = (([w:GD54008] + 1) * 27) + [w:GD54003]; //選択した箇所にバックアップデータがない場合は、処理しません。 if([w:GD56201[w:TMP0000]] != 0) { //バックアップ件数を減らします。 if((([w:GD56223[w:TMP0000]] != 0) && ([w:GD56223[w:TMP0000]] == [w:GD56224[w:TMP0000]])) { if([w:GD56201[w:TMP0000]] == 1) { //AnyWireASLINK if([w:GD54087] > 0) { [w:GD54087] = [w:GD54087] - 1; }else{ [w:GD54087] = 0; } } }else{ //CC-LINK if([w:GD54088] > 0) {</pre>			

```

[w:GD54088] = [w:GD54088] - 1;
    }else{
        [w:GD54088] = 0;
    }
}

//処理を繰り返す回数を算出します。
[w:TMP0003] = [w:TMP0000] / 27;
if([w:GD54075] == 1) || ([w:GD54075] == 2)
{
    //ASLINK or CC-Link 専用画面
    [w:TMP0002] = 99;
}else{
    //汎用画面
    [w:TMP0002] = 199;
}

while([w:TMP0003] <= [w:TMP0002])
{
    if([w:TMP0003] != [w:TMP0002])
    {
        //データを上書きします。

        bmov([w:GD56200[w:TMP0001]], [w:GD56200[w:TMP0000]], 27);
        //No.は現在のNo.に合わせます。ただし、No.が0以下のとき
        //は0で固定とします。

        if([w:GD56200[w:TMP0000]] > 0)
        {
            [w:GD56200[w:TMP0000]] =
[w:GD56200[w:TMP0000]] - 1;
        }else{
            [w:GD56200[w:TMP0000]] = 0;
        }

        //オフセットを加算します。
        [w:TMP0000] = [w:TMP0000] + 27;
        [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 27;

        //カウントを加算します。
        [w:TMP0003] = [w:TMP0003] + 1;
    }else{
        //最後のデータは0にします。
        [w:TMP0004] = 0;

        if([w:GD54075] == 1) || ([w:GD54075] == 2)
        {
            //ASLINK or CC-Link 専用画面
            fmov([w:TMP0004], [w:GD58873], 27);
        }else{
            //汎用画面
            fmov([w:TMP0004], [w:GD61573], 27);
        }
        [w:TMP0000] = [w:TMP0000] + 27;
    }
}

```

```

//カウントを加算します。
[w:TMP0003] = [w:TMP0003] + 1;
}
}

//レシピへ保存します。
[w:GD54091] = 1; //レシピ No.30002 レコード No.
set([b:GB54019]); //レシピ No.30002 読み出しトリガ

}else{
[w:GD54006] = 32012;
[w:GD62007] = 30101;
}

}else{
[w:GD54006] = 32012;
[w:GD62007] = 30101;
}

}

//全件削除
[w:TMP0000] = 0;
fmov([w:TMP0000],[w:GD56200],5400);

//バックアップ件数クリア
//AnyWireASLINK
[w:GD54087] = 0;
//CC-Link
[w:GD54088] = 0;

//レシピへ保存します。
[w:GD54091] = 1; //レシピ No.30002 レコード No.
set([b:GB54019]); //レシピ No.30002 読み出しトリガ
}
rst([b:GB54006]);

```

スクリプト No.	30048	スクリプト名	Script30048
コメント	レシピトリガ OFF		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GD54012.b5

```

//レシピの読み出しトリガを OFF します。

if([w:GD54013] == 30001)
{
rst([b:GB54017]); //レシピ No.30001 読み出しトリガ
}else{
rst([b:GB54019]); //レシピ No.30002 読み出しトリガ
}

rst([b:GD54012.b5]);

```

スクリプト No.	30061	スクリプト名	Script30061
コメント	B-30104 リストア前処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB54002

```

//設定された内容をシーケンサのデバイスへ転送します。

```

```

//オフセット
[w:TMP0000] = ([w:GD54008] * 27) + [w:GD54003];

//対象機種が 0 の場合は、設定が入っていないのでリストアしません。
if([w:GD56201[w:TMP0000]] != 0)
{
    //正常終了していないバックアップからのリストアは不可とします。
    if((([w:GD56223[w:TMP0000]] != 0) && ([w:GD56223[w:TMP0000]] == [w:GD56224[w:TMP0000]])))
    {
        //設定名称
        bmov([w:GD56202[w:TMP0000]], [w:GD54045], 24);

        //対象機器コメント表示
        [w:GD54016] = [w:GD56201[w:TMP0000]];

        //SD1437:iQSS バックアップ/リストア対象機種/実行単位設定
        [w:SD1437] = (([w:GD56216[w:TMP0000]] & 0x00FF) << 8) + ([w:GD56201[w:TMP0000]] &
0x00FF);

        //SD1438:iQSS バックアップ/リストア対象フォルダ番号
        [w:SD1438] = [w:GD56214[w:TMP0000]];

        //SD1439:iQSS バックアップ/リストア対象設定(対象ユニット I/O 番号)
        [w:SD1439] = [w:GD56215[w:TMP0000]];

        //SD1440:iQSS バックアップ/リストア対象設定(対象機器 1 ASLINK:ID 番号、CC-Link:
局番)
        [w:SD1440] = [w:GD56217[w:TMP0000]];

        //SD1441:iQSS バックアップ/リストア対象設定(対象機器 2 ASLINK:未使用、CC-Link:
サブ局番)
        [w:SD1441] = [w:GD56218[w:TMP0000]];

        //SD1444:iQSS バックアップ/リストア動作設定
        [w:SD1444] = [w:GD56219[w:TMP0000]];

        //iQSS バックアップ使用権が取得されていれば、バックアップを開始します。
        if(([b:GB54004] == ON) && ([w:SD1446] == 0x0001))
        {
            set([b:SM1439]);
            [w:GD62000] = 30106;
        }else{
            [w:GD54006] = 32006;
            [w:GD62007] = 30101;
        }
    }else{
        [w:GD54006] = 32013;
        [w:GD62007] = 30101;
    }
}else{
    [w:GD54006] = 32008;
    [w:GD62007] = 30101;
}

```

rst([b:GB54002]);			
スクリプト No.	30051	スクリプト名	Script30051
コメント	iQSS バックアップ/リストア使用権取得情報チェック		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	周期 1 秒
<pre>//定期的に使用権取得状況をチェックします。 if([w:SD1435] == [w:SD1436]) { set([b:GB54004]); //iQSS バックアップ許可ビット ON }else{ rst([b:GB54004]); //iQSS バックアップ許可ビット OFF }</pre>			
スクリプト No.	30059	スクリプト名	Script30059
コメント	画面切替時処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	画面を閉じる時
<pre>//各種フラグのクリアをします。 rst([b:GB54008]); rst([b:GB54009]); //オーバーラップウィンドウを閉じます。 [w:GD62001] = 0; [w:GD62004] = 0; [w:GD62007] = 0;</pre>			

ベース画面 30105

スクリプト No.	30066	スクリプト名	Script30066
コメント	B-30105 コメント表示制御		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre>//CC-Link と ASLINK でコメントを切り換えます。 switch([w:GD54044]) { //ASLINK case 1: [w:GD54070] = 226; //ID or 局 [w:GD54071] = 232; //全 ID or 全局 [w:GD54072] = 233; //ID 指定 or 局指定 [w:GD54073] = 285; //なし or 局サブ [w:GD54074] = 0; //なし or 局サブ指定 break; //CC-Link case 2: [w:GD54070] = 225; //ID or 局 [w:GD54071] = 242; //全 ID or 全局 [w:GD54072] = 243; //ID 指定 or 局指定 [w:GD54073] = 227; //なし or 局サブ [w:GD54074] = 244; //なし or 局サブ指定 break; }</pre>			

ベース画面 30106

スクリプト No.	30055	スクリプト名	Script30055
コメント	B-30103,30106 画面起動時動作		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB40
<pre>//画面起動時に各種設定を行います。 //画面表示時のみ起動します。 if([b:GB54008] == OFF) { //バックアップ実施日時 [w:GD54040] = [w:GS650]; [w:GD54041] = [w:GS651]; [w:GD54042] = [w:GS652]; set([b:GB54008]); } </pre>			
スクリプト No.	30044	スクリプト名	Script30044
コメント	B-30106 正常終了		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り SM1440
<pre>//iQSS リストアの正常終了時の処理です。 if([b:SM1442] == ON) { [w:GD54006] = 32005; //iQSS リストア中断 } else{ [w:GD54006] = 32003; //iQSS リストア正常完了 } [w:GD62007]=30101; //通知ダイアログ表示 </pre>			
スクリプト No.	30045	スクリプト名	Script30045
コメント	B-30106 異常終了		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 SM1441
<pre>//iQSS リストアの異常終了時の処理です。 if([b:GB54009] == OFF) { if([w:SD1452] != 0) { if([w:SD1452] == 16894) { [w:GD54006] = 32004; //リストア失敗メッセージ [w:GD62007] = 30101; //通知ダイアログ } else{ [w:GD54006] = [w:SD1452]; //バックアップ失敗メッセージ [w:GD62007] = 30101; //通知ダイアログ } } else{ if([w:SD1453] != 0) { [w:GD54006] = [w:SD1453]; //リストア失敗メッセージ [w:GD62007] = 30101; //通知ダイアログ } else{ [w:GD54006] = 32004; //リストア失敗メッセージ [w:GD62007] = 30101; //通知ダイアログ } } } </pre>			

<pre> } } set([b:GB54009]); } </pre>			
スクリプト No.	30065	スクリプト名	Script30065
コメント	B-30103、30106 iQSS バックアップ/リストア中止		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB54002
<pre> //iQSS バックアップ、または、iQSS リストアを中断します。 set([b:SM1442]); //iQSS バックアップ/リストア中止要求 rst([b:GB54002]); </pre>			
スクリプト No.	30059	スクリプト名	Script30059
コメント	画面切替時処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	画面を閉じる時
<pre> //各種フラグのクリアをします。 rst([b:GB54008]); rst([b:GB54009]); //オーバーラップウィンドウを閉じます。 [w:GD62001] = 0; [w:GD62004] = 0; [w:GD62007] = 0; </pre>			

5.9.3 オブジェクトスクリプト

ベース画面 30006～30019

オブジェクト	ワードランプ *1		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
<pre> //ON/OFF 状態を表示します。 [w:GD32000] = \$\$ & [w:GD31990]; </pre>			

*1:I/O の ON/OFF のワードランプに設定しています。I/O の点数によりデバイスが変わります。

ベース画面 30013、ベース画面 30018

オブジェクト	レベル *1		
スクリプトユーザ ID	2		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre> //ON/OFF のしきい値を表示します。 screen_draw(0); redraw_object(); [w:TMP0200] = (object_width / 100) * [w:GD53605]; [w:TMP0201] = (object_width / 100) * [w:GD53606]; d_line([w:TMP0200],0,[w:TMP0200],object_height,0,1,224); //OFF→ON のしきい値 d_line([w:TMP0201],0,[w:TMP0201],object_height,0,1,3); //ON→OFF のしきい値 </pre>			

*1:[オブジェクトスクリプトシンボル]を使用しています。[オブジェクトスクリプトシンボル]については、「5.9.5 オブジェクトスクリプトシンボル」を参照してください。

ベース画面 30010~30012、ベース画面 30014、ベース画面 30015、ベース画面 30017

オブジェクト	レベル *1		
スクリプトユーザ ID	2		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre>//しきい値、アラーム判定(Hi)、(Lo)を表示します。 screen_draw(0); redraw_object(); [w:TMP0200] = (object_width / 100) * [w:GD53605]; [w:TMP0201] = (object_width / 100) * [w:GD53607]; [w:TMP0202] = (object_width / 100) * [w:GD53608]; d_line([w:TMP0200],0,[w:TMP0200],object_height,0,1,131); //しきい値 d_line([w:TMP0201],0,[w:TMP0201],object_height,0,1,224); //アラーム判定(Hi) d_line([w:TMP0202],0,[w:TMP0202],object_height,0,1,3); //アラーム判定(Lo)</pre>			

*1:[オブジェクトスクリプトシンボル]を使用しています。[オブジェクトスクリプトシンボル]については、「5.9.5 オブジェクトスクリプトシンボル」を参照してください。

ベース画面 30010~30015、ベース画面 30017、ベース画面 30018

オブジェクト	数値入力 *1		
スクリプトユーザ ID	3		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	入力確定時
<pre>//入力確定時、画面を再描画します。 redraw_screen();</pre>			

*1:しきい値、アラーム判定(Hi)、アラーム判定(Lo)、OFF→ON のしきい値、ON→OFF のしきい値に設定していません。

ベース画面 30101

オブジェクト	ワードランプ		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre>//コメントを表示するためのスクリプトです if([w:GD54101][w:GD54001] != 0) { [w:GD54076] = (([w:GD54101][w:GD54001] * 10) + \$\$) + 221; }else{ [w:GD54076] = 0; }</pre>			

上記のスクリプトが、「実行単位」の全てのワードランプに設定しています。ただし、デバイスは各オブジェクトで異なります。

ウィンドウ画面 30001

オブジェクト	数値表示		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	立上り GB40
<pre>//時計データより本日の年月を取得 [w:TMP950] = [w:GS650] & 0xF000;//設定用時計データより年の下 2 桁の 10 の位を取得 [w:TMP960] = [w:TMP950] >> 12;//桁合せ [w:TMP968] = [w:TMP960] * 10;//BCD→BIN [w:TMP951] = [w:GS650] & 0x0F00;//設定用時計データより年の下 2 桁の 1 の位を取得 [w:TMP961] = [w:TMP951] >> 8;//BCD→BIN [w:TMP973] = 2000 + [w:TMP968] + [w:TMP961];//TMP973 に年を BIN でセット</pre>			

[w:GD63990] = [w:TMP973]; // 年をセット

[w:TMP952] = [w:GS650] & 0x00F0; // 設定用時計データより月の 10 の位を取得

[w:TMP962] = [w:TMP952] >> 4; // 桁合せ

[w:TMP969] = [w:TMP962] * 10; // BCD→BIN

[w:TMP953] = [w:GS650] & 0x000F; // 設定用時計データより月の 1 の位を取得

[w:TMP974] = [w:TMP969] + [w:TMP953]; // TMP974 に月を BIN でセット

[w:GD63991] = [w:TMP974]; // 月をセット

[w:TMP954] = [w:GS651] & 0xF000; // 設定用時計データより日の下 2 桁の 10 の位を取得

[w:TMP963] = [w:TMP954] >> 12; // 桁合せ

[w:TMP970] = [w:TMP963] * 10; // BCD→BIN

[w:TMP955] = [w:GS651] & 0x0F00; // 設定用時計データより日の下 2 桁の 1 の位を取得

[w:TMP964] = [w:TMP955] >> 8; // BCD→BIN

[w:TMP975] = [w:TMP970] + [w:TMP964]; // TMP975 に日を BIN でセット

[w:GD63992] = [w:TMP975]; // 日をセット

[w:TMP956] = [w:GS651] & 0x00F0; // 設定用時計データより時の 10 の位を取得

[w:TMP965] = [w:TMP956] >> 4; // 桁合せ

[w:TMP971] = [w:TMP965] * 10; // BCD→BIN

[w:TMP957] = [w:GS651] & 0x000F; // 設定用時計データより時の 1 の位を取得

[w:TMP976] = [w:TMP971] + [w:TMP957]; // TMP976 に時を BIN でセット

[w:GD63993] = [w:TMP976]; // 時をセット

[w:TMP958] = [w:GS652] & 0xF000; // 設定用時計データより分の下 2 桁の 10 の位を取得

[w:TMP966] = [w:TMP958] >> 12; // 桁合せ

[w:TMP972] = [w:TMP966] * 10; // BCD→BIN

[w:TMP959] = [w:GS652] & 0x0F00; // 設定用時計データより分の下 2 桁の 1 の位を取得

[w:TMP967] = [w:TMP959] >> 8; // BCD→BIN

[w:TMP977] = [w:TMP972] + [w:TMP967]; // TMP977 に分を BIN でセット

[w:GD63994] = [w:TMP977]; // 分をセット

[w:TMP993] = [w:GS652] & 0x00F0; // 設定用時計データより秒の 10 の位を取得

[w:TMP995] = [w:TMP993] >> 4; // 桁合せ

[w:TMP996] = [w:TMP995] * 10; // BCD→BIN

[w:TMP994] = [w:GS652] & 0x000F; // 設定用時計データより秒の 1 の位を取得

[w:TMP978] = [w:TMP996] + [w:TMP994]; // TMP978 に秒を BIN でセット

[w:GD63995] = [w:TMP978]; // 秒をセット

オブジェクト	数値表示
--------	------

スクリプトユーザ ID	2
-------------	---

データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
-------	------------	-------	----

// BIN → BCD 変換

[w:TMP979] = [w:GD63990] - 2000; // 年の下 2 桁

[w:TMP980] = (([w:TMP979] / 10) << 4) + ([w:TMP979] % 10); // 年 BIN → BCD

[w:TMP981] = (([w:GD63991] / 10) << 4) + ([w:GD63991] % 10); // 月 BIN → BCD

[w:TMP982] = (([w:GD63992] / 10) << 4) + ([w:GD63992] % 10); // 日 BIN → BCD

[w:TMP983] = (([w:GD63993] / 10) << 4) + ([w:GD63993] % 10); // 時 BIN → BCD

[w:TMP984] = (([w:GD63994] / 10) << 4) + ([w:GD63994] % 10); // 分 BIN → BCD

[w:TMP985] = (([w:GD63995] / 10) << 4) + ([w:GD63995] % 10); // 秒 BIN → BCD

オブジェクト	数値表示		
スクリプトユーザ ID	3		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
//年月設定			
[w:GS513] = ([w:TMP980] << 8) + [w:TMP981]; //変更時刻デバイスに年月セット			
オブジェクト	数値表示		
スクリプトユーザ ID	4		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
//日時設定			
[w:GS514] = ([w:TMP982] << 8) + [w:TMP983]; //変更時刻デバイスに日時セット			
オブジェクト	数値表示		
スクリプトユーザ ID	5		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
//分秒設定			
[w:GS515] = ([w:TMP984] << 8) + [w:TMP985]; //変更時刻デバイスに分秒セット			
オブジェクト	数値表示		
スクリプトユーザ ID	6		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
//曜日設定			
[w:TMP986] = [w:GD63990]; //年(BIN)			
[w:TMP987] = [w:GD63991]; //月(BIN)			
[w:TMP988] = [w:GD63992]; //日(BIN)			
if((([w:TMP987] == 1) ([w:TMP987] == 2))){//1・2月の場合のみ前年の13・14月として計算するための補正処理			
[w:TMP986] = [w:TMP986] - 1; //年から1を減算			
[w:TMP987] = [w:TMP987] + 12; //月に12を加算			
}			
[w:TMP989] = [w:TMP986]/4; //ツェラーの公式に必要な項を作成			
[w:TMP990] = [w:TMP986]/100; //ツェラーの公式に必要な項を作成			
[w:TMP991] = [w:TMP986]/400; //ツェラーの公式に必要な項を作成			
[w:TMP992] = (13*[w:TMP987]+8)/5; //ツェラーの公式に必要な項を作成			
//ツェラーの公式で曜日算出して変更時刻デバイスに曜日をセット			
[w:GS516] = ([w:TMP986]+[w:TMP989]-[w:TMP990]+[w:TMP991]+[w:TMP992]+[w:TMP988])%7;			

5.9.4 スクリプトシンボル

シンボル名	デバイスおよび定数	備考
Input_X	42	入力表示エリアの一番左上の X 座標
Input_Y	155	入力表示エリアの一番左上の Y 座標
Frame_X	618	I/O 表示エリアの一番右下の X 座標
Frame_Y	427	I/O 表示エリアの一番右下の Y 座標
Object_X	36	ワードランプの幅
Object_Y	17	ワードランプの高さ

5.9.5 オブジェクトスクリプトシンボル

シンボル名	デバイスおよび定数	備考
object_width	124	レベルの幅
object_height	25	レベルの高さ

6. テンプレート

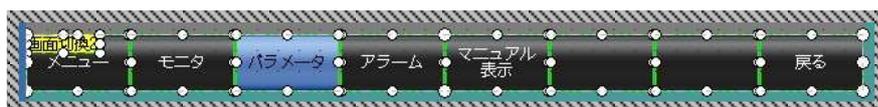
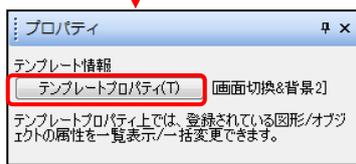
テンプレートとは、図形やオブジェクトの集合体です。関連のある設定をテンプレート属性としてまとめて登録しているためデバイスや色などを簡単に一括変更できます。属性の設定値を変更する詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。



テンプレート情報は作画ソフトウェアの編集画面上にのみ表示され、GOT の表示画面上には表示されません。

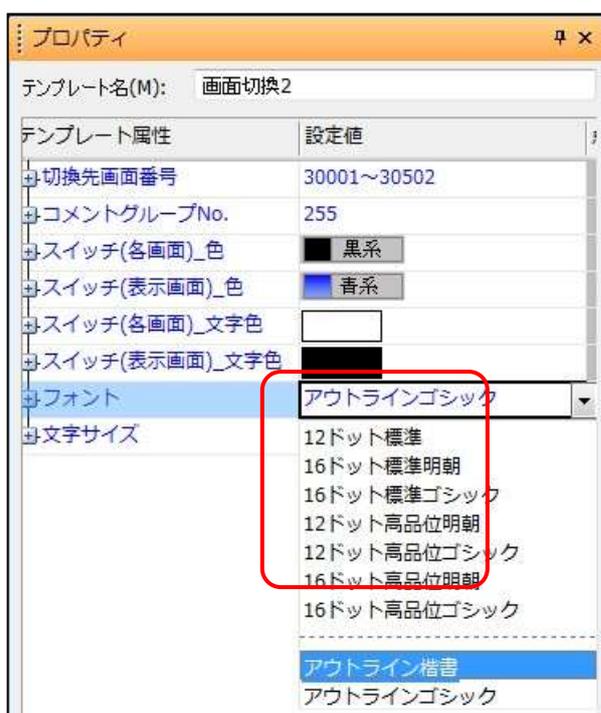
例: フォントを変更する場合

- (1) [テンプレート情報]を選択し[テンプレートプロパティ]をクリック(または[テンプレート情報]ダブルクリック)



テンプレートに登録されている図形やオブジェクトが選択状態になります。

- (2) [フォント]の設定値をクリックして、変更したいフォントを選択



7. その他

7.1 ユーザ定義名称の登録について

以下のように登録してください。

- 出力ユニット:コメント No.をユニットの ID+1 の番号にしてください。(コメント No.は 0 が指定できないため、ID に 1 を加算した値をコメント No.とします。)

15	出力ユニット ID:14	Output module ID: 14	輸出模块 ID:14	<input type="checkbox"/>	しない					<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
16	出力ユニット ID:15	Output module ID: 15	輸出模块 ID:15	<input type="checkbox"/>	しない					<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
17	出力ユニット ID:16	Output module ID: 16	輸出模块 ID:16	<input type="checkbox"/>	しない	なし	標準			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
18	出力ユニット ID:17	Output module ID: 17	輸出模块 ID:17	<input type="checkbox"/>	しない	なし	標準			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

出力ユニット ID14~17 のコメント No.

- 入力・入出力混合ユニット:コメント No.をユニットの ID+513 の番号にしてください。(入力・入出力混合ユニットの ID は、バッファメモリ内(接続 ID 情報エリア)では、0x0200~0x02FF となるため、512(0x0200)を加算し、出力ユニットと同様、ID に 1 を加算します。)

527	入力ユニット ID:14	Input module ID: 14	輸入模块 ID:14	<input type="checkbox"/>	しない					<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
528	入力ユニット ID:15	Input module ID: 15	輸入模块 ID:15	<input type="checkbox"/>	しない	なし	標準			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
529	入力ユニット ID:16	Input module ID: 16	輸入模块 ID:16	<input type="checkbox"/>	しない	なし	標準			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
530	入力ユニット ID:17	Input module ID: 17	輸入模块 ID:17	<input type="checkbox"/>	しない	なし	標準			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

入力ユニット ID14~17 のコメント No.

7.2 システム構成の変更について

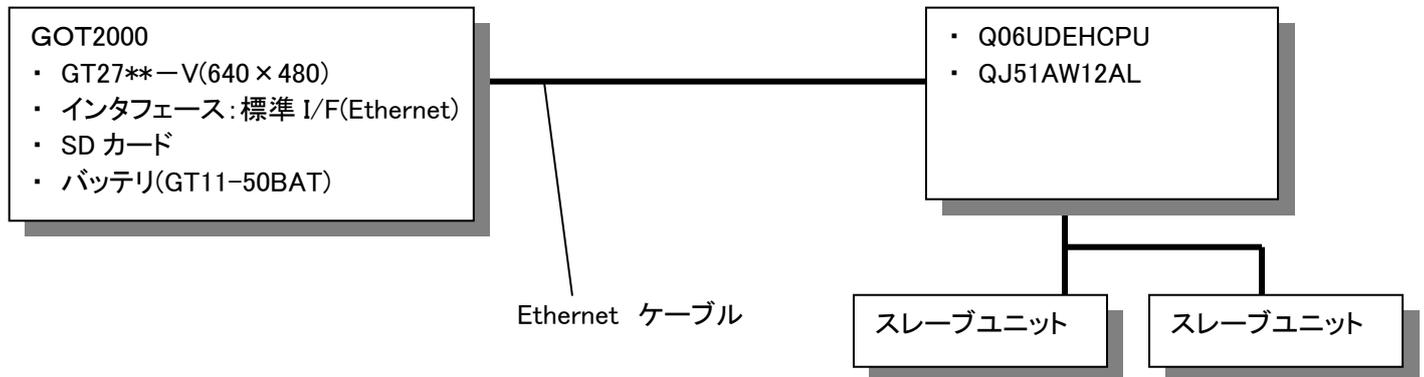
GOT を起動した状態で、スレーブユニットの追加、削除、ID の変更等をした場合、ベース画面 B-30001 へ戻り、画面右上にある「センサ自動認識」スイッチを 1 秒間タッチするか、GOT を再起動してください。



7.3 CPUの変更について

MELSEC-Q シリーズを使用する際には、システム構成と Ethernet 設定を変更してください。

7.3.1 システム構成



7.3.2 作画ソフトウェアの Ethernet 設定

	自局	Net No.	局番	機器	IP アドレス	ポート No.	通信方式
1	*	1	1	QnUD(P)V/QnUDEH	192.168.3.39	5006	UDP

7.4 先頭入出力番号の変更

ユニットの先頭入出力番号を 30H 以外に変更する場合は、以下の手順で変更してください。
(例: 先頭入出力番号を 30H から 50H に変更する場合)

7.4.1 画面に設定されているデバイスの変更

画面に設定されているデバイスを変更する場合は、デバイス一括変更の対象を[すべての画面]にします。
[すべての画面]を選択して変更するデバイスは U03-G0~U03-G10321、X0041、Y0030~Y0041 です。

(1) [検索/置換]-[一括変更]-[デバイス]メニューを選択します。



(2) 設定ダイアログが表示されるので、対象[すべての画面]を選択し、[検索]をクリックします。



(3) [変換後]のデバイス、[点数]を設定して、一括変更を実施します。

- ・バッファメモリの先頭入出力番号の変更

[変換前]U03-G0、[変換後]U05-G0、[点数]10322 を設定して[変更]をクリックします。U03-G0～U03-G10321 が U05-G0～U05-G10321 へ変更されます。



- ・入出力信号の先頭入出力番号の変更

入力信号(X デバイス)の変更は、[変換前]X0041、[変換後]X0061、[点数]1 に設定して[変更]をクリックします。X0041 が X0061 へ変更されます。出力信号(Y デバイス)の変更は、[変換前]Y0030、[変換後]、Y0050、[点数]18 に設定して[変更]をクリックします。Y0030～Y0041 が Y0050～Y0061 へ変更されます。



7.4.2 【共通の設定】に設定されているデバイスの変更

[GOT 環境設定]や、レシピ機能等の各種機能で設定されているデバイスを変更する場合は、デバイス一括変更の対象を【共通の設定】にします。7.4.1 と同様の手順で実施してください。

【共通の設定】を選択して変更するデバイスは U03-G0～U03-G12288、Y0040 です。

- ・バッファメモリの先頭入出力番号の変更

[変換前]U03-G0、[変換後]U05-G0、[点数]12289 を設定して[変更]をクリックしてください。U03-G0～U03-G12288 が U05-G0～U05-G12288 へ変更されます。



- ・入出力信号の先頭入出力番号の変更

[変換前]Y0040、[変換後]Y0060、[点数]1 を設定して[変更]をクリックしてください。Y0040 が Y0060 へ変更されます。



7.4.3 [スクリプトテキスト]に設定されているデバイスの変更

[スクリプトテキスト]に設定されているデバイスを変更する場合は、デバイス一括変更の対象を[スクリプトテキスト]にします。7.4.1と同様の手順で実施してください。

[スクリプトテキスト]を選択して変更するデバイスは U03-G8192~U03-G10321、X0041~X0042、Y0040~Y0041 です。

- ・バッファメモリの先頭入出力番号の変更

[変換前]U03-G8192、[変換後]U05-G8192、[点数]2130 を設定して[変更]をクリックしてください。U03-G8192~U03-G10321 が U05-G 8192~U05-G10321 へ変更されます。



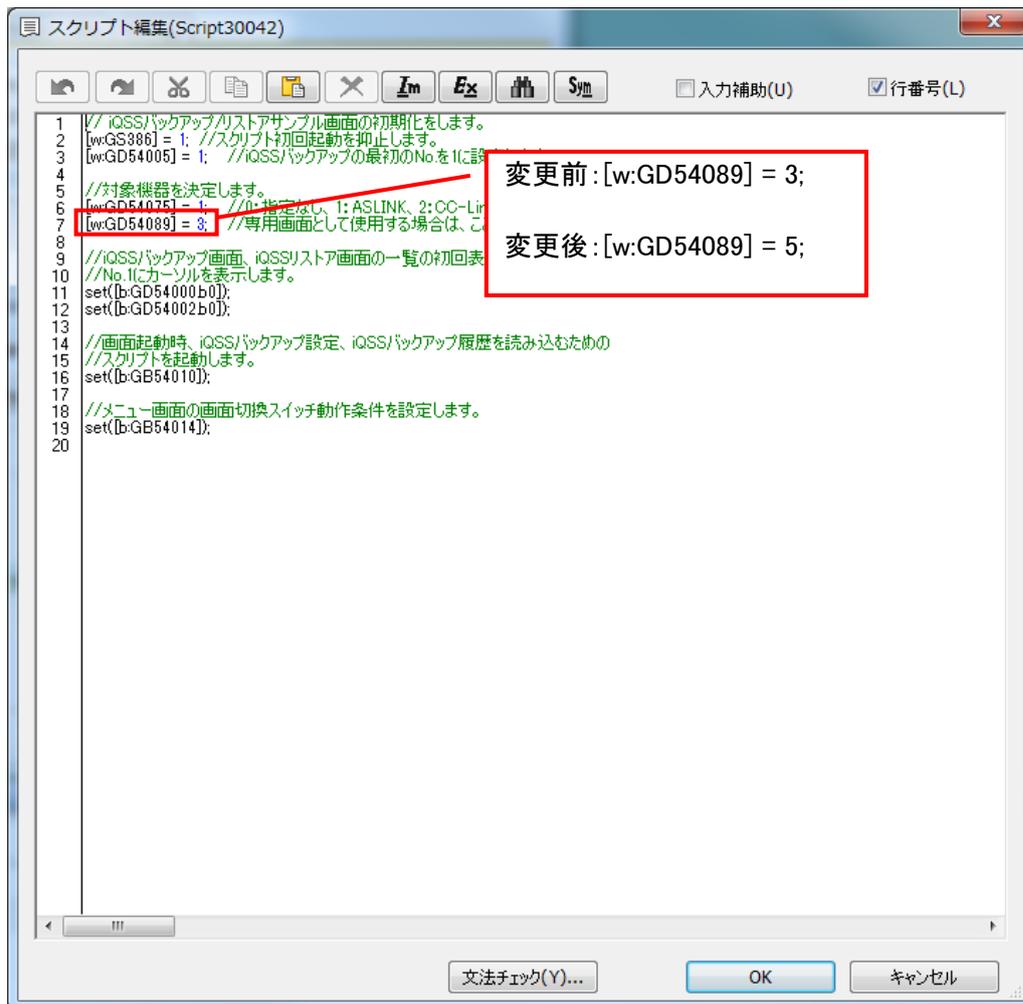
- ・入出力信号の先頭入出力番号の変更

入力信号(X デバイス)の変更は、[変換前]X0041、[変換後]X0061、[点数]2 を設定して[変更]をクリックしてください。X0041~X0042 が X0061~X0062 へ変更されます。出力信号(Y デバイス)の変更は、[変換前]Y0040、[変換後]Y0060、[点数]2 を設定して[変更]をクリックしてください。Y0040~Y0041 が Y0060~Y0061 へ変更されます。



7.4.4 プロジェクトスクリプトの変更

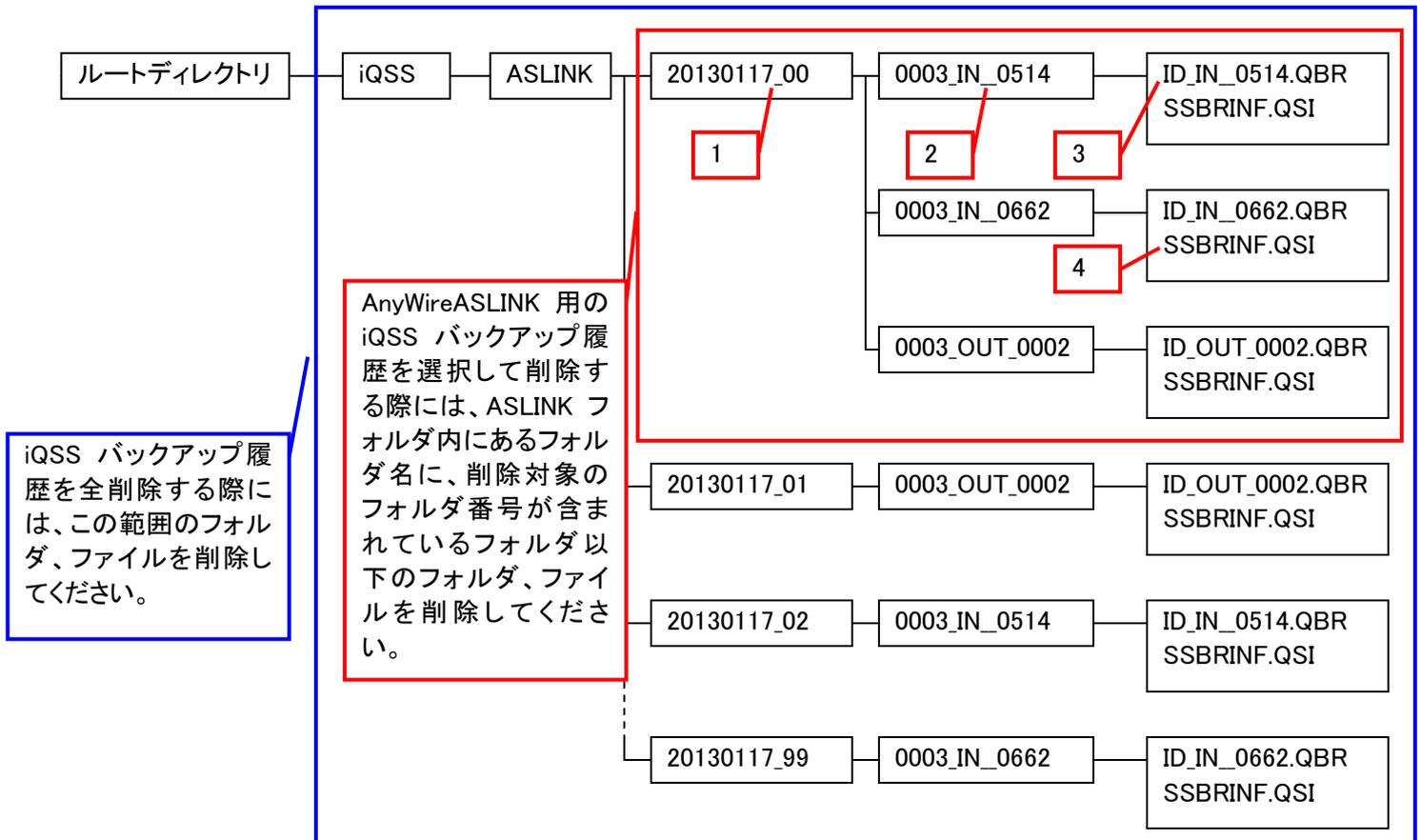
プロジェクトスクリプト No.30042 で、先頭入出力番号を指定しています。下記のように修正してください。



7.5 iQSS バックアップフォルダ構成

7.5.1 フォルダ構成

シーケンサへ装着したSDカード内のiQSSバックアップフォルダ構成は、下記のようになります。表中の1~4については、「7.5.2 フォルダ名、ファイル名詳細」を参照してください。



7.5.2 フォルダ名、ファイル名詳細

1. 20130117 _ 00 ... バックアップフォルダ名(日付、フォルダ番号)
 - バックアップした日付(YYYYMMDD)
 - 番号(2桁(00~99(10進)))
2. 0003 _ IN _ 0514 ... バックアップフォルダ名(I/O No.、ID)
 - I/O No.(4桁(16進))
 - IN: 入力/混合スレーブユニット
 - OUT: 出力スレーブユニット
 - ID 番号(4桁(10進)) *1
3. ID _ IN _ 0514.QBR ... バックアップファイル名
 - IN: 入力/混合スレーブユニット
 - OUT: 出力スレーブユニット
 - ID 番号(4桁(10進)) *1
4. SSBRINF.QSI ... システムファイル

*1: AnyWireASLINK の入力/混合スレーブユニットの ID 番号は、ユニット本体側に割付けられた ID 番号 +512 の番号で管理されます。そのため、入力/混合スレーブユニット用のバックアップフォルダ名の末尾には、管理番号 512~766 が付加されます。